

bag pipe に対して此の名を使つてゐる。とにかくよく分らない言葉としてある。

**Sammlung** [獨] (ザムルンク) 曲集。

**zampogna** [伊] (サムポーニャ) 1. 広合で用ゐる笛。2. bag pipe, 或は samponia と綴る。zampogna 同上。

**sanctus** [羅] (サンクトス) ミサの一樂部。

**sanft** [獨] (ザンフト) 柔かに、優しく、靜かに、やゝ, sanftig (ザンフティグ) 同上。sanftmütig (ザンフト・ミュウティグ) 同上。

**Sang** [獨] (ザンク) 歌, 歌唱, sangbar (ザンクバアル) 聲唱の, 聲樂の爲めの, Sänger (ゼンゲル) 男歌手, Sängerinn (ゼンゲリン) 女歌手, Sängerbund (ゼンゲルブント) Sängerverein (ゼンゲル・フェライン) 歌手の組合團體。

**sanglot** [佛] (サンロオ) 音の一種の portamento で、滑音法の一である。

**sans** [佛] (サン) ……なしに, ……せずに, sans sourdine (サン・スウルディン) 弱音器なしに。

**saraband** [英] (サラバンド) スペイン人がムーア人種から取つた樂曲, 遅き 3-4, 3-2 拍子の曲にて castanets にてあしらふ。suite の一樂部となつてゐる。[獨] Sarabande (ザラバンデ), [伊] sarabanda (サラバンダ), [佛] sarabande (サラバンド)

**sardonico** [伊] (サルドニコ) 嘲笑的に。

**sarrusophone** [英] (サルソフォン) 眞鍮製の bassoon にて佛人 Sarrus の創製せしもの。

**sartarello** [伊] (サルタレロ) 早き 6-8 拍子のネエブルス風の樂曲, tarantella に似てゐる, sartarella (サルタレラ) もいふ。

**staccato** [伊] (スタッカ) attacca に同じ, 直ちに奏せ。

**Sattel** [獨] (ザッテル) 「鞍」violin 等の上駒 nut

**Satz** [獨] (ザッツ) 主題, 樂句, 樂章, 作曲。Vordersatz (フォルテザッツ) 前樂句, Nachsatz (ナッハザッツ) 後樂句。

**saut** [佛] (ソ) salto に同じ, 跳躍。

**sauterie** [英] (ソウテリイ) 古語にて, psaltery のこと。

**sautillé** [佛] (ソウティエ) saltato に同じ。

**saivement** [佛] (ソウヴァン) 解決。

**save** [英] (セヴ) 1. 不協和音を解決する。2. 犯則にならざる様の手段をさる。

**sax-horn** [英] (サックス・ホーン) Adolph Sax の創製 (1842) に係る有鍵のラッパ樂器。

1. Soprano Saxhorn (Soprano Cornet)
2. 2nd Soprano Saxhorn (Cornet ♯ B)
3. Alto Saxhorn (Tenor-horn)

4. Tenor Saxhorn (Baritone)

5. Bass Saxhorn (Euphonium)

6. Low Bass Saxhorn (Bombardon)

7. Contrabass Tuba (Contrabass Bombardon)

**saxophone** [英] (サキソフォン) Adolph Sax の創製 (1842) に係る筒形の眞鍮樂器。高低六種がある。

1. Sopranino 2. Soprano

3. Contralto 4. Tenor

5. Baritone 6. Bass

今日の Jazz 音樂や小オーケストラには不可缺ものとされてゐる。

**saxotromba** [英] (サキソトロンバ) 1842 年に Sax の創製した樂器, trumpet と sax-horn との間の音色を持つてゐる, 高低七種あり。

**sbalzo** [伊] (スバルツォ) 飛躍。sbalzato (スバルツァト) 弾力を以て。

**sbarra** [伊] (スバアラ) 縦線。sbarra doppia (—・ドッビア) 二縦線。複線。

**scagnello** [伊] (スカニエロ) 絃樂器の駒。

**scala** [伊] (スカアラ) 音階。

**scale** [英] (スケール) 音階, 規則的な音程を持つてゐる多くの音の連続。

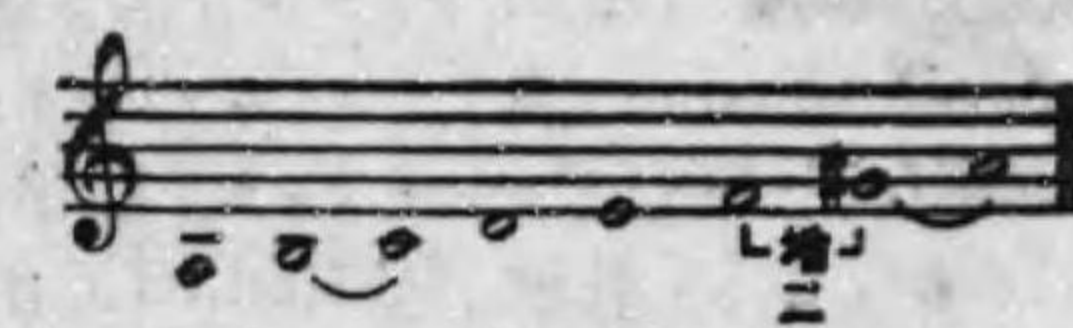
[獨] Tonleiter, [佛] echell, gamme, [伊] [羅] scala

長音階 major



短音階 (自然的) minor

同 (和聲的)



同 (旋律的)

上行

下行

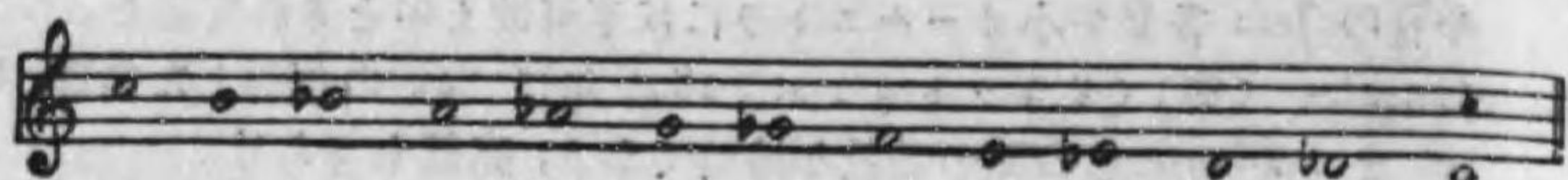


音階は歌曲の旋律の構造の骨子となるもので、いかなる原始の歌謠にもその素子を認め得るが、比較的高級な音階は七音から成つてゐる。西洋音樂もまたそのうちの一で、その七音のうちに半音程の個所を二ヶ所もつてゐるが、その半音の場所によつて長音階短音階の二種の區別がある。而して短音階はまた用ゐる方によつて三種ある。

西洋音樂以外の國民音樂にはそれぞれ特徴のある音階があつて、その爲め

に楽曲に特徴を來たしてゐる。

半音階 (chromatic —) は全部の音程が同一の半音であるので、西洋東洋の區別なく同一のものである。然しこれは嚴密な意味に於て音階と稱す可きものではないが、西洋楽曲の中には、此の半音階の一部が屢々現れてゐる。



音階が嚴密な意味で、歌曲の骨子となるとき、之を特に旋法 mode といふ。長音階、旋律的短音階は即ち西洋音樂の mode である。

**scampanare** [伊] (スカンパナレ) 鐘を鳴らす, scampanio (スカンパニョ) 鐘音。

**scannello** [伊] (スカンネロ) scagnello に同じ。或は scanneto

**scelta** [伊] (シエルタ) 撰擇, a scelta 撰擇にまかす。

**scemando** (伊) (シエマンド) diminuendo

**scena** [伊] (シエーナ)

**scene** [英] (シーン) } 1. 場 (歌劇の), 幕より小さき場割。 2. recitative  
**scène** [佛] (セーン) } の多き劇的部分 (歌劇の)。

**scenario** [伊] (シエナリオ) 場割, 筋書。

**scenarium** [英] (シナリアム) 臺帳 (演劇の)

**scenic music** [英] (シニク・ミュージック) 劇場音樂, 合方。

**Schäfer** [獨] (シェーフェル) 牧羊者, 羊飼, Schäfergedicht (シエーフェルゲディヒト) 牧歌, Schäferlied (シエーフェルリド) 同上, Schäferpfeife (シエーフェルパイフェ) 牧笛, Schäferstücken (シエーフェルステュッケン) 俚談 Schäfertanz (シエーフェルタンツ) 牧羊者の舞曲, 俚舞。

**schalkhaft** [獨] (シャルクハフト) 冗談の様に, 面白おかしく。

**Schall** [獨] (シャル) 響音, Schallbecher (シャルベッヘル) 管樂器の鉢, Schallbecken (シャルベッケン) cymbal; Schallboden (シャルボデン) 響箱, 胴体, Schallloch (シャルロッホ) 響孔, f 孔。

**Schalmei** [獨] (シャルマイ) chalumeau に同じ, 或は Schalmay さ綴る。

**scharf** [獨] (シャルフ) 高音の, 鋭く。

**Schauspiel** [獨] (シャウスピル) 演劇, Schauspielhaus (—ハウス) 劇場。

**Schelle** [獨] (シェルレ) 鈴, schellen (シェルレン) 鈴を鳴らす。

**Scherz** [獨] (シェルツ) 戯れ, scherzend (シェルツェント) scherzhaft (シェルツハフト) 遊戯的の氣分で, scherzando に同じ。

**scherzo** [伊] (スケルツォ) 1. 諧謔曲。 2. 明るき愉快な氣分の爲めの楽曲にて, sonata 或は symphony の一部を爲す, scherzino (スケルツィノ) 小規模の scherzo; scherzando (スケルツァンド) scherzante (スケルツァンテ) scherzevole (スケルツェヴォレ) scherzoso (スケルツォソ) 諧謔的に scherzo の心持にて。

**schiettamente** [伊] (スキエッタメンテ) 單純に, 純摺に, 飾り氣なく, schietto (スキエット) schiettezza (スキエッタツァ) 同上。

**schisma** [英] (スキスマ) 音程の名稱, 半音の五十分の一の小音程にて, 完全五度と平均率五度との差異。

**Schlacht** [獨] (シュラハト) 戦争, Schlachtlied (—リド) Schlachtgesang (—ゲザンク) 軍歌, Schlachtstück (—ステュツク) 戦争にちなめる曲。

**Schlag** [獨] (シュラック) 拍子を打つこと, Schlaginstrument (—インストルメント) 打樂器。

**schleifen** [獨] (シュライフェン) 滑る。 Schleifzeichen (シュライフツァイヘン) Schleifungszeichen (シュライフンクツァイヘン) slur のこと。

**Scheifer** [獨] (シュライフェル) 1. slur のかゝりたる音符, 2. ドイツの舞曲の名。 3. slide

**schleppend** [獨] (シュレppet) 引きづる, 拍子を引きづる。

**Schlummerlied** [獨] (シュルンメルリド) 眠り歌, 子守唄。

**Schluss** [獨] (シュルウス) 結尾, 終曲, —chor (シュルウスコール) 終局の合唱, —fall (—ファル) —kadenz (—カデンツ) 静止, 静止法, cadence; —note (—ノオテ) 最後の音, —satz (—ザラツ) 最終樂部, —stück (—ステュツク) finale, —striche (—ストリイヘ) 二縱線, —zeichen (—ツァイヘン) 同上。

**schmachtend** [獨] (シュマハテント) 長たらしく, ゆつくりと。

**schmeichelnd** [獨] (シュマイヘルント) 媚びる様に。

**schmelzend** [獨] (シュメルツェント) 溶ける様に, 消える様に, calando

**schmerzlich** [獨] (シュメルツリッヒ) 苦惱を以て, schmerzhaft (シュメルツハフト) 同上, schmerzvoll (シュメルツヴォール) 同上。

**Schnabel** [獨] (シュナアベル) 嘴口, 木管樂器の笛口, Schnabelflöte (—フレテ) 辨笛ある笛。

**Schnarrbass** [獨] (シュナアルバス) drone bass; Schnarrpfeife (—パイフェ) 簧笛, Schnarrwerk (—ウエルク) 同上。

**schneidig** [獨] (シュナイディツヒ) 鋭く。

**schnell** [獨] (シュネル) 早く, presto; schneller (シュチレル) より早く, Schnellwitzer (シュネルワルツェル) 急速の waltz; Schnelligkeit (シュネリッヒカイト) 急速。

**schnurren** [獨] (シュヌルレン) 口の中でうたふ。

**schön** [獨] (シェーン) 美しき, 美しく。

- school** [英] (スクウル) 1. 樂派。2. 學校。3. 教則本。
- Schotisch** [獨] (シヨティツシュ) 2-4 拍子のやゝ遅き速度の舞曲, スコットランド風の曲なれども, 田舎舞曲ではない。
- schräg** [獨] (シュレエグ) 斜の, schräge Bewegung (シュレエグ・ベウエーグ) 斜行進行。
- Schreibart** [獨] (シュライバアルト) 記譜法, 作曲の様式。
- schrittmässig** [獨] (シュリットメッシヒ) 歩く様に, 即ち andante
- Schule** [獨] (シュウレン) school に同じ, 樂派, 教則本, 學校。
- schwach** [獨] (シュワッハ) 弱く, 柔かく, schwächen (シュワエツヘン) 次第に弱く, calando; schwächer (シュワエツヘル) より弱く, より柔かく。
- Schwebung** [獨] (シュウェーブング) 顫音。
- Schweige** [獨] (シュワイゲ) 休止, — zeichen (—— ツアイヘン) 休止符, schweigt (シュワイクト) 休止して, tacet に同じ。
- Schweizerflöte** [獨] (シュワイツェルフレテ) スキスの牧笛。stop の名。
- schwellen** [獨] (シュウエレン) swell する, 増音する, 音を強くする, Schwellen (シュウエレル) organ の増音器, Schwellton (シュウエルトーン) messa di voce
- schwer** [獨] (シュウエル) 重く, 重くるしく, Schwermütig (——・ミウエティツヒ) 陰鬱に。
- schwindelnd** [獨] (シュウインデルント) 消ぬ去る様に, diminuendo
- Schwingung** [獨] (シュウイングング) 振動。
- Schwungsvoll** [獨] (シュウングスフォル) 崇高に。
- scialumo** [伊] (シヤルモウ) chalumeau に同じ。
- scioltamente** [伊] (シヨルダメンテ) 自由に, 輕妙に, con scioltezza (コン・シヨルテツツァ) 同上, sciolto (シヨルト) 自由なる, nota sciolta 鈎にて連られられざる八分音符, 即ち自由な音符。
- scoop** [英] (スクウプ) 滑音, 但し portamento に似て非なもので, 不確定な音律で次の音に探りを入れる様なのをいふ。
- scordato** [伊] (スコルダト) 調子外れ, scordatura (スコルダトゥラ) 普通の場合と違ふ特別の調子の合せ方。
- score** [英] (スコア) 樂譜, 譜本。各聲部を別々の譜表に書入れた譜 (Partitura; open score), 二聲部を一譜表に書き入れた譜 (short score), 管絃樂その他の大規模の樂曲を二個の大譜表に書き入れたもの (compressed score), 聲樂とピアノ伴奏の樂譜 (vocal score), piano の爲めの樂譜 (piano score), scoring (スコアリング) 管絃樂に編曲すること。
- scorrendo** [伊] (スコレンド) glissando 滑奏, scorrevole (スコレヴォレ) 滑かに, 流暢に。
- scotch snap** [英] (スコッチ・スナップ) スコットランド民謡に特有なリズム

で下の如きもの。



- SCOZZESE** [伊] (スコツツエセ) スコットランドの, alla scozzese (アラ・スコツツエセ) スコットランド風に。
- scriva** [伊] (スクリヴァ) 書かれたる, si scriva 譜の通りに。
- scroll** [英] (スクロール) violin の糸巻の先の曲つた部分。
- scucito** [伊] (スクチット) 連鎖なき, 連続せざる。
- sdegno** [伊] (ズデニョ) 怒, 叱責, sdegnante (ズデニヤンテ), con sdegno (コン・ズデニョ), sdegnosamente (ズデニョサメンテ), sdegnoso (ズデニョウゾ) いらいらして, 怒つた様に。
- sdruciolando** [伊] (スドルッチオランドオ) 滑奏する, sdruciolamento (スドルッチオラメントウ), sdruciolato (スドルッチオラットオ) 同上, glissando.
- se** [伊] (セ) ……ならば, ……の如く (si に同じ), se bisogno (セ・ビゾニョ) 必要ある時は。
- se** [英] (シー) tonic solfa の soh の半音高。
- secco** [伊] (セッコ) 乾きたる, 裝飾なき, 短かき, 伴奏なき。
- seccarara** [伊] (セッカララ) ネーブルスの舞曲。
- Sechs** [獨] (セックス) 六 Sechsstimmig (セックス・アハテル・ダクト) (6-8 拍子, Sechste (セックス・ステ) 六度, sechsstimmig (セックス・スティンミッシ) 六聲部の。Sechzehntel (セックツェーンテル) 十六分音符。
- second** [英] (セコンド) 二度, 第二の。secondi [伊] (セコンダ)
- secondando** [伊] (セコンダンドオ) ……を助けて, ……に伴つて, secondando la voce (colla voce に同じ)。
- secondary** [英] (セコンダリイ) 第二の, 第二義的の, 次席の, secondary chord (——・コード) 短和絃を指す (長調の)
- seconde fois** [佛] (セゴーン・フオア) 第二回目。
- second inversion** [英] (セコンド・インヴァジョン) 第二轉回, 六四の和絃, 第五音 (三和音の) が低音にあること。
- secondo** [伊] (セコンドオ) 第二の, second の, 二度。
- section** [英] (セクション) 樂句, 樂節。phrase を區分したもの。
- secular music** [英] (シキユラア・ミュウジック) 世俗的音樂。聖樂に非ざる。
- Secunde** [獨] (セクンテ) second
- Seele** [獨] (ゼエレ) 靈魂, 精神, mit Seele (ミット・ゼエレ) 精神をこめて, 宗教的に, seelenvoll (ゼエレンフォル) 同上。
- Seelenamt** [獨] (ゼエレン・アムト) } requiem, 鎮魂樂, 追福を祈る missa
- Seelenmesse** [獨] (ゼエレン・メッセ) }

- segno** [伊] (セニヨ) 「記號」  $\text{S}$  al segno, Al S. (セニヨへ) dal segno (セニヨの所から) D. S.
- segue** [伊] (セエグ) 1. 續く。2. 以下同様に, segue il coro 合唱が後につく, pedal segue 同じ様に pedal を用ゐる, seguendo (セグンドォ) seguente (セグンテ) 次の, 次の此, 次にあるもの。
- sequenza** [伊] (セゲンツァ) sequence を見よ。
- seguidilla** [西] (セギディラ) 三拍子のスペイン舞曲, やゝ遅き速度のもの castanet の伴奏があることがある。
- seguito** [伊] (セギイト) 1. 次にある, 模倣したる 2. 組曲。
- sehnllich** [獨] (セエンリッヒ) 情味を以て, 慕ふ様に,
- Sehnsucht** [獨] (セエンズウフト) 憧れ, sehnsüchtig (セーンジュヒティツヒ) あこがれを以て, あこがれて。
- sehr** [獨] (セール) 頗る, 甚だ, 非常に, di molto, tanto
- sei** [伊] (セイ) 六
- Seitenbewegung** [獨] (ザイテンベウエーグンク) 斜行進行。
- Seitensatz** [獨] (ザイテンザッツ) 挿入曲, 對照曲, episode
- seizième** [佛] (セイジエム) 十六度, 第十六の。
- Sekunde** [獨] (セクンデ) second
- semi** [伊] [羅] (セミ) 「半分」, semicroma さいへい, croma (四分音符) の半分, 即ち八分音符のことである, semichorus (セミコオラス) 半人数の合唱, [英] semitone (セミトーン) 半音, [伊] semitono (セミトオノ) 同上。
- semi-vowel** [英] (セミヴォエル) 舌音, l, m, n, r
- semplice** [伊] (セムプリチエ) 單純に, 素朴に, semplicemente (セムプリチエメンテ) con semplicità (コン・センプリチタ) 同上, semplicissimo (センプリチッシモ) 極めて單純に。
- sempre** [伊] (セムプレ) 一曲を通じて, 總体に, 續いて同様に。 sempre ped. 同様に ped. を用ゐて, sempre forte 一体に forte に, sempre legato 一曲を通じて legato に。
- sennet** [英] (セネツト) 喇叭の吹奏。
- sensibile** [伊] (センシビレ) 感情を以て, 描寫するやうに, それらしく, 寫實的に, sensibilita (センシビリタ) sensibilmente (センシビルメンテ) 同上。 nota sensibile (ノオダ・センシビレ) 導音。
- sensible** [佛] (サンシブル) 1. sensible に同じ。 2. 導音。
- sentence** [英] (センテンス) 樂章, 樂句。 phrase を合せたもの。
- sentié** [佛] (サンティエ) 感じて, 感を以て。 能く現はして。
- sentimentale** [伊] (センチメンタレ) 情緒的に, 感傷的に, con sentime ン (コン・センチメント) 同上。
- sentito** [伊] (センチット) 感銘して, 感動して, 感じを以て。 能く表はして。
- senza** [伊] (センツァ) ……なしに, ……を取去つて, ……せぬ, senza sordini

- 弱音器なしに, senza fiori 裝飾なしに。
- se piace** [伊] (セ・ピアアチエ) 隨意の拍子で, ad lib.
- septadecima** [伊] (セプタデツィマ) 十七度, 第十七の。
- Septakkord** [獨] (セプトアッコルド) 七度の和絃。
- septave** [英] (セプテヴ) 七音音階, 即ち普通の音階。
- septet** [英] (セプテット), 七重奏, 七重唱, [獨] Septett (セプテット), [佛] septuor (セトオール), [伊] septetto (セプテット)。
- Septime** [獨] (セプティメ) 七度音程, [佛] septième (セッティエム) 同上。
- septuplet** [英] (セプテユプレット) 七連音符, [獨] Septimole (セプティモレ) Septole (セプトーレ), [英] septiole (セプティオール)
- sequence** [英] (シイクエンス) 一般に繼續, 續出の意味。 1. ロマ教會の聖樂上にては, 聖書朗讀の後に繰返し合唱するハレルヤ。 2. メロディ或は和絃の一連鎖を, 同型にて異りたる高度の所にて重複すること。



- seraphine** [英] (セラフィン) harmonium の前代樂器。
- serbano** [伊] (セルバノ) serpent を見よ。
- serena** [伊] (セレナ) troubadour (運歴樂人) の夕べの歌。
- serenade** [英] (セレネード) 1. 「夕の音楽」 目ざす人の窓下の庭に立ちて奏する音楽。 2. その心持を描きたる音楽。 3. 絃樂重奏曲にて suite の如く數部の組合はせになつてあるもの。 4. 田園的題材によれる小歌劇。 [伊] serenata (セレナタ), [佛] sérénade (セレナード), [獨] Serenade (セレナアデ), ドイツ語では, また Ständchen (スタンチェン) ともいふ, ただし 1, 2. の意味のみでいふのである。
- serenatella** [伊] (セレナテルラ) 小さき serenata
- sereno** [伊] (セレノ) 靜なる, 寂しき, con serenita (コン・セレニイタ) 寂しく, 痛かに。
- seria** [伊] (セリア) 眞面目の, 悲劇的の, opera seria (オペラ——) 大歌劇 (opera buffa に對していふ), con serietà (コン・セリエッタ) 嚴肅に, serio-

- samente (セリオールザメンテ) serio (セリオール) 同上。
- sérieux** [佛] (セリュウ) 眞面目, sérieusement (スリュウスマン) 眞面目に。
- serinette** [佛] (セリネット) 鳥に啼聲を教へる楽器。
- serio-comic** [英] (シリオ・コミック) 悲喜劇的の。
- serpeggiando** [伊] (セルペグヂャンド) 這ひ廻る様に。滑音的に。
- serpent** [英] (サーペント) 蛇の如く筒のれられた管楽器で、中世紀のものである。是は後に serpentcleide (サーペントクライド) 及び ophicleide (オフィククライド) に變化したが、兩楽器とも今はない。[伊] serpentono (セルペントノ), serpente (セルペンテ)
- serrando** [伊] (セルランド) 次第に早くなる serrato (セルラアト) [佛] en serrant (アン・セルラン) 同上。
- serrata** [伊] (セルラッタ) 終曲, finale
- serrez** [佛] (セレエ) accelerando
- service** [英] (サーヴィス) 英國教會の朝夕の禮拜。
- sesqui** [羅] (セスキ) 一つ半といふ意味で、1. に対する  $1\frac{1}{2}$  の比率を表はす言葉である。是は音律を表はす爲めに用ゐられる。3:2 の五度の比率は一種の sesqui で, sesquialtera (セスキアルテラ) と稱せられる。
- sesto** [伊] (セスト) 六度, 第六。
- sestetto** [伊] (セステット) 六重唱, 六重奏, sextet
- sestole** [英] (セストオル) 七連符, sestuplet, sestolet, settimola
- sette** [伊] (セッテ) 七, settimo (セッティモ) 七度音程。
- Setzkunst** [獨] (セツクンスト) 作曲法; Setzart (セツアルト) 作曲方式。
- seufzend** [獨] (ゾーフツェント) 嘆く様に。
- seul** [佛] (シュール) solo, 獨奏, 獨唱, pas seul (パ・シュール) 獨舞, 一人舞踏。
- seventeenth** [英] (セヴンティーン) 十七度。
- seventh** [英] (セヴンス) 七度, 第七の。七の和絃。
- severo** [伊] (セヴェロ) 嚴格, 嚴正, con severita (コン・セヴェリタ) 嚴格に, severamente (セヴェラメンテ) 同上。
- Sexte** [獨] (セックステ) } 第六の, 六度。
- sexta** [羅] (セクスタ) } 第六の, 六度。
- sextet** [英] (セクステット) } 六重唱, 六重奏。
- sextuor** [佛] (セストオール) } 六重唱, 六重奏。
- sestuplet** [英] (セクステュプレット) 七連音符。
- sextuple** [英] (セクストュブル) 六の數の, —measure (—メヂュア) 六拍子, 6-4 6-8 拍子。
- sextus** [羅] (セクストス) 第六聲部。
- sf** [略] sforzando
- sfp** [略] sforzando piano, 或は *sfp*

- sfogato** [伊] (スフォガト) 高音で且微聲の, soprano sfogato の如し。
- sfoggiando** [伊] (スフォグヂャンド) 壯大なる, 雄大なる。
- sforza** [伊] (スフォルツァ) 強調, sforzando (スフォルツァンド) 特にその符を強調して, sforzato (スフォルツァト) 同上, sforzando piano 強く直ちに弱く, sforzare la voce (スフォルツァレ・ラ・ヴォチェ) メロディを特に強く, sforzamente (スフォルツァメンテ) 強調して。
- sfuggito** [伊] (スフグヂット) 回避したる, 阻止されたる。
- sfumato** [伊] (スフマト) 極めて軽く, 煙の輪の如く柔かく。
- sgambato** [伊] (スガンバト) 疲れぼてて, 弱めて。
- shade** [英] (シェード) 濃淡, 抑揚。
- shake** [英] (シェーク) 顫音, trill (trillo) 裝飾法中の重要なもので, 本音と裝飾音の補助音とを交る代る頗る早く奏するのである。その兩者の音程は半音, 或は一音である。略號は *tr* と書く, 普通顫音の結尾は回音 (turn) を以てする。(圖解は trill の項参照)
- shalm** [英] (ショラム) shawm に同じ。
- shank** [英] (シャック) 眞鍮樂器の挿管。
- sharp** [英] (シャープ) 1. 鋭き, 高音の。2. 半音高記號 # 3. 古稱にて増音程を意味する, double sharp (ダブル・シャープ) ## 即ち × と略記する。[獨] Kreuz, [佛] dièse [伊] diesis # [日] 嬰音記號。
- sharper** [英] (シャアバ) 「よき鋭き」# の關係多き, 即ち C 調よりも G 調は # に關係多く, D 調は更に多い。B ## 調は最も甚しく是を sharpest key といふ (最嬰調)。
- shawm** [英] (ショウム) chalumeau に同じく, oboe の先代樂器。
- sheet music** [英] (シート・ミュージック) 書冊に製本してない放れ放れの樂譜。單行樂譜, 一枚樂譜。
- shift** [英] (シフト) 絃樂器演奏の手の位置の移位, 手移り, position; half shift (ハーフ・シフト) 第二 position; whole — (ホール —) 第三 pos.; double — (ダブル —) 第四 pos.
- shivaree** [英] (シヴァリー) scharivari より轉化せる言葉, 新婚者をからかふ雜音樂隊。臺所道具で編成した樂隊。
- shofar** [原] (ショファル) 或は shophar, ヘブルの吹奏樂器, ラッパ (古代樂器)。
- short** [英] (ショウト) 短かき, 短縮されたる, short metre (—・ミイタ) iambic の四行詩, short score (—・スコア) compressed score に同じ。(score 参照)。
- Si** [羅] (シ) 1. Guido の音階はもろ六音であつたが, 後に第七音を加へた, それが Si である。2. フランス, イタリアでは音名, B $\sharp$ 。
- si** [伊] (シ) 1. 若し, ……の如く, ……の時に, 2. 不指定代名詞. si deve (……する事を要す), si leva il sordino (弱音器を取り外すべし), si piace

(望む通りに, ad lib.), si tace (休止する), si segue (續く), si volta (頁を繰れ)

**sibilants** [英] (シビラント) 齒音, s, z の如き。

**sibilus** [羅] (シビルス) 鳥笛。

**sich verlierend** [獨] (ジッヒ・フェルリレント) 消失する, diminuendo, 次第に消えうせる。

**siciliana** [伊] (シチリアーナ) 6-8, 12-8 拍子のシシリア風の田舎舞曲, alla siciliana (アラ・シチリアーナ) siciliana 風に。[佛] Sicilienne (シシリアンヌ)

**side-drum** [英] (サイド・ドラム) 大太鼓。

**Sieben** [獨] (ツイベン) 七, siebenstimmig (ツイベン・スティンミッシ) 七聲部の, Siebente (ツイベント) 第七音。

**Siegeslied** [獨] (ジイグスリイド) 凱歌。Siebesgesang (ジイベスゲザンク) 同上, Siegesmarsch (ジイグスマルシュ) 凱旋行進曲。

**siffler** [佛] (シッフレッ) 口笛を吹く, 笛を吹く。

**sight reading** [英] (サイト・リィディング) 視唱。楽譜を見ただけで歌ふこと。視奏。

**Signalhorn** [獨] (ジィグナル・ホルン) 信號ラッパ。

**signature** [英] (シグネチュア) 記號, key signature (キィ・——) 調子記號, time —— (タイム——) 拍子記號。速度記號。

**sign** [英] (サイン) 略號, 符號, [佛] signe (シイニユ), [羅] signus (シグヌス), 楽譜にある諸種の符號はみな sign といふ。[巻尾の表を見よ]

**siguidilla** [伊] (シギティラ) seguidilla に同じ。

**Silberton** [獨] (ジルベルトーン) 美聲, 銀の様な聲。

**silence** [佛] (シランス) 休止, [伊] silenzio (シレンツィオ)。

**silhouette** [佛] (シルウエット) 「影繪」追想。

**sillet** [佛] (シイエ) 指板の末端, nut, 緒止め。

**silvery tone** [英] (シルヴァリィ・トーン) 美しき聲, 美聲。

**sim.** [略] simile

**similar motion** [英] (シミラァ・モーション) 平行進行。

**simile** [伊] (シミィレ) 同様に, 以下同之, simile mark 同様記號。

**simple** [英] (シンプル) 単一の, 單純の。

**simplement** [佛] (サンブルマン) 單純に。

**sin'** [伊] sino の略號, ……まで。

**sincoipa** [伊] (シンコオバ) syncopation; sincoipato (シンコバァトオ) syncopato したる。

**sinfonia** [伊] (シンフォニア) 1. 序曲。2. symphony を見よ。

**singen.** [獨] (ジנגエン) 歌ふ, singend (ジングェント) 歌ふ如くに, cantabile

**Singakademie** [獨] (ジング・アカデミィ) 聲楽団体, 聲楽學校, Singspiel

(ジング・シュペイール) (ドイツ風の) 歌劇。Singkunst (ジング・クンスト) 唱歌法, Singseite (ジング・ザイテ) violin の第一枝。

**singhiozzare** [伊] (シンギオッツァーレ) 嘔り泣く, singhiozzo (シンギオッツォ) すすり泣くやうに, singhiozzando (シンギオッツァンドオ) 同上, しやくりながら。

**singing** [英] (シンギンク) 唱歌, 聲樂。

**single chant** [英] (シングル・チャント) 中世の朗唱樂にて短かきもの。

**sinistra** [伊] (シニストラ) 左, mano sinistra (マアノ・——) 左手; colla sinistra (コラ・——) 左にて。

**sink-a-pace** [英] (シンカペース) galliard の古稱。

**sino** [伊] (シノ) ……まで, sino alla fine 曲尾まで, sino al segno セニヨまで。

**si piace** [伊] (シ・ピアチェ) ad lib.

**siren** [英] (サイレン) 音響學の實驗器にて, 音の振動數を測定するもの。

**si replica** [伊] (シ・レプリカ) 繰返す。

**si segue** [伊] (シ・セグエ) つゞく。

**sistema** [伊] (システマ) 譜表。

**sistro** [伊] (シストロ) 1. triangle 2. sistrum

**sistrum** [希] (シストロム) 鈴を澤山附けた輪の樂器, 古代エヂプトの樂器にて, 我國の神樂の巫女の鈴の如き性質のもの?

**sitar** [原] (シタル) 印度の樂器。

**sitole** [古] (シトール) ギタアの古稱, citole とも綴つた。

**Sitz** [獨] (ジッツ) position (violin 等の)。

**six-eight time** [英] (シックス・エイト・タイム) 6-8 拍子。

**six-four chord** [英] (シックス・フォア・コード) 六四の和絃。第二轉回の和絃。six-three cord (——スリィ——) 六の和絃。第一轉回の和絃。

**sixth** [英] (シキス) 六度, 第六音, 第六の。French sixth, German sixth, Italian sixth, (extreme sixth を見よ)。

**Skala** [獨] (スカアラ) scale, 音階。

**skip** [英] (スキップ) 1. 飛躍, 音程の三度以上飛離れてゐるこゝ。2. 飛躍する, メロディが階行的に上下せず, 三度以上に飛ぶこゝ。

**skisma** [英] (スキスマ) schisma を見よ。

**Skizze** [獨] (スキツェ) sketch, スケッチ, 小曲, 自由な形式の描寫的音樂。

**Skolien** [原] (スコリィン) スエーデンの酒宴歌。

**slancio** [伊] (スランチャオ) 熱狂, con slancio (コン・スランチャオ) 熱狂して, 力強く, slanciante (スランチャンテ) slanciato (スランチャアット) 同上。

**slargando** [伊] (スラルガンダオ) rallentando, slargandosi (スラルガンダオ) 同上, 次第に遅く, slargato (スラルガアット) 更に遅く, より遅く。

**slegato** [伊] (スレガアット) 音を断切して, legato に非ざるこゝ。

slentando [伊] (スレンタンドォ) } 次第に遅く, 速度をゆるめて。  
slentanto [伊] (スレンタントォ) }

slide [英] (スライド) 1. trombone の U 字形の滑走管。2. 滑音, portamento (聲樂上の技巧) 3. 裝飾音の一種, [獨] Schleifer, 即ち本音の前にある二個以上の補助音で, 本音の中に「滑り入る」もの



slissato [伊] (スリッサット) slur をかけて, 滑音帯をかけて, 滑かに。

slogan [英] (スローガン) 喚聲。

slow movement [英] (スロウ・ムーヴメント) 緩徐な樂部の總稱, sonata 或は symphony 中の andante, adagio, largo 等の樂部を指していふ。

slur [英] (スラァ) 1. 半月形の記號  $\frown$ , 二音以上を滑かに奏する指定, 或は同音高の二音を接続して一音として奏する, 即ち legato の記號である。2. slur の長いものは, 樂句の句切 phrasing を表示する。3. 或音より他の音に橋の如くかけたものは滑聲法 portamento を示す。

small octave [英] (スモール・オクターヴ) c より c' 迄の八音 (テノルの C より中央の C まで)

smania [伊] (スマニア) 狂熱, smaniante (スマニアンテ), smaniare (スマニアーレ), smaniato (スマニアート), smanioso (スマニオーゾ) 狂熱的に。

smanicare [伊] (スマニカレ) 絃樂奏法上で手の位置をかへること, shift すること。

sminuendo [伊] (スミノエンドォ) diminuendo, 段々に弱く且遅くする。

sminuito [伊] (スミノイトォ) 更に柔かく, 柔かくする, より柔かく。

smorando [伊] (スモランドォ) 段々に弱く遂に消えるやうに, smorendo (スモレンドォ) 同上。

smorfioso [伊] (スモルフィオーゾ) 情味を以て, 媚びる様に。

smorzando [伊] (スモルツァンドォ) [略] smorz. 音をかすめる, 急に音を弱めて遂に消失する様に, smorzato (スモルツァートォ) 同上。

snare-drum [英] (スネヤァ・ドラム) 小太鼓, side drum の一種。

snello [伊] (スネロ) 早く, 敏捷に, snellamente (スネラメント) 同上。

so [獨] (ゾォ) ……だけ, ……ほど, so als möglich 出来るだけ, so……wie möglich 同上。

soave [伊] (ソアーヴェ) 柔かな, 静かな, con soavità (コン・ソアヴィタ) 柔か味を以て, soavemente (ソアヴェメント) 同上。

sodezza [伊] (ソデツァ) 確かに, 正確に: 確實。

soffocando [伊] (ソフォカンドォ) }

soffogando [伊] (ソフォガンドォ) } harp の絃を手で抑へて音をくもらす。

sofort [獨] (ゾォフォルト) 直ちに。

soft pedal [英] (ソフト・ペダル) piano の左の pedal, 弱音 pedal

soggetto [伊] (ソヂェットォ) 主題, subject, 主旋律。

sogleich [獨] (ゾォグライヒ) 直ちに。

sognando [伊] (ソニヤンドォ) 夢みる如く, 幻想的に, 柔かに。

Sol [羅] (ソル) 1. Guido の音階の第五音。2. フランス, イタリアにての G の音名。

sola [伊] (ソーラ) solo のこと, 獨奏, violino solo, viola sola の如く女性變化す。

solemnis [羅] (ソレムニス) 壯嚴。

solemnemente [伊] (ソレンネメント) 壯嚴に。

solennelle [佛] (ソランチュ) 壯嚴に。

solennis [羅] (ソレンニス) solemnis に同じ, missa solennis (ミサ・ソレンニス) 長篇のミサ。

solfa [伊] (ソルファ) 1. 音階。2. 指揮棒。3. 拍子, battere la solfa 指揮する。

solfa [英] (ソルファ) tonic solfa 唱法, d r m f s l t d の階名。

solfeggio [伊] (ソルフェツジョ) solfa 唱歌法, solfa 練習, [佛] solfège (ソルフェージュ)

solli [伊] (ソオリ) solo (獨奏) の複数。

solid chord [英] (ソリッド・コード) 一打にて弾く和音 (分弾的にあらざる和絃奏法)

solist [英] (ソリスト) soloist に同じ, 獨奏家, 獨唱家。

solito [伊] (ソリット) 普通の, al solito 普通の様に。

sollecito [伊] (ソレチット) 1. 注意深く, 綿密に。2. 急いで, sollecitando (ソレチタンドォ) 急いで。

solmisation [英] (ソルミゼーション) 階名或は音名により, 之を唱へつゝ樂譜を讀唱すること。

solo [伊] (ソロ) 1. 獨奏, 獨唱。2. 獨唱曲, 獨奏曲。

soltanto [伊] (ソルタントォ) ……のみにて, la tromba soltanto (tromba のみにて)

sombree [佛] (ソンプレエ) 曇りたる, 弱くしたる, voix sombrée (ヴォワ・ソンプレエ) 微吟, 弱くした聲にて, sombrer (ソンプレエ) 聲をかすめる事。

somma [伊] (ソマ) 非常に大きな, 最大の, 極度の。

sommeils [佛] (ソンメエル) 古風 grand opera の歌唱。

Sommerlied [獨] (ゾンメルリイド) 夏の歌。

sommerophone [英] (ソメロフォーン) Sommer の創製した眞鍮樂器。

sommesso [伊] (ソメツォ) 押し低めたる, 息を殺して。

sommolento [伊] (ソムノレントォ) 夢の如き, うつつ心の, 幽かなる。

son [佛] (ソン) 音響, 音, sound  
 sonabile [伊] (ソナビレ) } 音の豊かなる。  
 sonante [伊] (ソナント) }  
 sonagliare [伊] (ソナリアーレ) 鳴り渡る (bell などが)。  
 sonare [伊] (ソナレ) 1. 鳴る, 響く。2. 演奏する, 弾く, sonare alla mente 創作しつつ弾く。  
 sonata [英] [伊] (ソナタ) 元來の意味は suonare するもの, 即ち奏するものといふ事; cantare 歌ふもの cantata に對して「器楽曲」さういふ程度の言葉である。今日に於ては sonata form によりて作られた樂曲を指す様になつた。奏鳴曲。  
 Sonata Form (ソナタ・フォーム) ソナタの作曲形式である。sonata は元來 piano solo の爲めのものであるが, 絃樂器の爲めの sonata, 管絃樂の爲めの symphony, 及び trio, quartet 等の重奏樂, また多くの concerto もこの形式に随つてゐる。  
 sonata form は二つの方面から見る事が出来る。〔I〕sonata は 3 或は 4 の樂部から成立してゐる連合曲である。1. Allegro. 此の前に Introduction のある時もある。2. Slow Movement: 即ち Andante, Adagio, Largo 等が来る。小規模の sonata だと, 3 は Finale であるが, 普通進に此の部には Minuet, Trio 或は Scherzo がある。4. は Finale は Rondo の事もあり, また Variation の事もあり, Allegro の事もある。調子は各樂部相異ならねばならぬが, 1. と Finale とは同調であるを要する。〔II〕第一樂部の構造は最も肝要なもので, 此の形式を特に sonata form 或は sonata formula (—フォミュラ) といふ。その構成は 1. 序奏(なくてもよろし)。2. 第一主題。3. 第二主題。4. 短い Codetta 以上を (甲) 示現部 Exposition といふ。次で (乙) の自由幻想曲部 Free Fantasia 即ち開展部 Development が来る。是は主題を充分空想的に變化して自由な作曲を試みればならぬ處である。最後に (丙) 再現部 Recapitulation が来る。此處に第一主題第二主題が再び現はれ, Coda を以て樂部は終る。〔獨〕Sonate (ソナテ), [佛] sonate (ソナテ), 同上。〔伊〕sonatina (ソナティナ), [佛] sonatine (ソナティン), [獨] Sonatine (ソナティネ) 小形の sonata  
 sonevole [伊] (ソネヴォーレ) 音を豊かに。  
 song [英] (ソング) 1. 歌, 聲樂曲, 2. 規則正しき形式にて作られた器楽曲, 3. 聲樂曲の氣分の器楽曲 [獨] Gesang (ゲザング) Lied (ライド), [佛] chanson (シャンソン), song without song (ソング・ウィザウト・ソング) 「言葉なき歌」無言歌, plain song (プレエン・ソング) Gregorian chant の詠唱, folk-song (フォーク・ソング) 民謡, national song (ナショナル・ソング) 民謡, 國歌。  
 Song Form (ソング・フォーム) 歌謡或は小曲の作曲の骨子となる構造で第一主題, 第二主題及びそのいづれかの再現にて終るものを二次樂式

Binary form といひ, 更に第三部に, 全然新奇の對照的の旋律即ち episode を加へ, 第四部に於て第一或は第二の主題を再現させるものを三次樂式 Ternary Form といふ。  
 sonnante [佛] (ソナンテ) 鐵琴。  
 sonnet [英] (ソネット) 十四行詩, [伊] sonetto (ソネット) sonnet に作曲したるもの。  
 sono [伊] (ソノ) 音, 音響, tone, [羅] sonus (ソヌス) 同上。  
 sonorous [英] (ソノラス) 音の豊かなる, 朗々たる, 音の能くひびく, [伊] sonoro (ソノロ) sonoramente (ソノラメント) 同上。sonority (ソノリティ) sonorous なる事, 音の性質, 響性, [伊] sonorità (ソノリタ), [佛] sonorité (ソノリテ) 同上。  
 sopra [伊] (ソブラ) 上, 前, 高, come sopra (コメ・ソブラ) 上の如く, 前と同じく, di sopra (ディ・ソブラ) 同上, parte di sopra (パルテ・ディ・ソブラ) 高音部。  
 sopralto [伊] (ソプラルト) 高い alto 聲部。  
 Sopran [獨] (ソプラァン) soprano に同じ。  
 sopranino [伊] (ソプラニノ) 至高音部, high soprano, soprano 中の最高部。  
 soprano [伊] (ソプラノ) 1. 女聲の最高音部(或は子供の), 普通聲域は c' より a' 2. 樂器にて幾種もの聲部に分たれたものの最高部に冠せて用ゐられる言葉, soprano saxhorn の如し。soprano drammatico (—ドラマティコ) 劇的ソプラノ, その歌手, soprano leggiero (—レヂェロ) 軽く柔かき高音歌手, soprano corda (ソプラナ・コルダ) violin の E 線, [英] soprano clef (ソプラノ・クレフ) 第一線に C のある譜表, (今は用ゐられないもの) [復] soprani (ソプラニ)  
 sordellina [伊] (ソルディナ) bag pipe の一種。  
 sordino [伊] (ソルディノ) 弱音器, con sordino (コン・—) 弱音器をつけて, senza sordino (センツァ・—) sordino levato (—レヴァト) 弱音器を外して; [複數] sordini (ソルディニ)  
 sordo [伊] (ソルド) 柔かき, かすかの, sordamente (ソルダメント) 幽かに, tromba sorda (トロンバ・ソルダ) 弱音器をかけた trumpet  
 sorgfältig [獨] (ソルグフェルティツヒ) 注意して, 細心に。  
 sorriso [伊] (ソリゾ) 微笑。  
 sortita [伊] (ソルティタ) } opera の出入の際の aria, 曲尾の附加的樂句。  
 sortie [佛] (ソルティ) }  
 sospensione [伊] (ソスペンシオーネ) 懸留法, 遲滯, 凝滯, suspensionamente (ソスペンシオナメント) 遲滯して, おづおづさ。[英] suspension  
 sospirando [伊] (ソスピランド) 深い感情を表はす爲めに, 聲唱の際, 言葉と言葉との間に溜息のやうなかすかな息を入れてうたふこと, sospirato (ソ



スピロソ) sospirante (ソスピランテ) sospirevole (ソスピレヴォレ) 同上, 溜息をつく様に, 嘆く様に。

sospiro [伊] (ソスピロ) 「溜息」四分休止符。

sostenendo [伊] (ソステネンドオ) } 1. 音を保持して, 支持して, 2. ral.  
sostenente [伊] (ソステネンテ) } *lento* に。 3. ゆつくりと。 *andante sostenuto* (アンダンテ・——)

sostenuto [伊] (ソステヌウト) } 遅く各音を支持して, *sostenuto legato* (——・レガット) 音を支持しつつ滑らかに。

sotto [伊] (ソットオ) 低き, 下の, *sotto voce* (ソットオ・ヴォチェ) 低音部の旋律を以て。

soubasse [佛] (スウバッス) 最低の低音部, 低音部下の低音。

soubrette [佛] (スウブレット) 下女, 喜歌劇の軽き女役。

soudainement [佛] (スデェンマン) 突然に。

souffler [佛] (スウフレイ) 吹奏する, *soufflet* (スウフレイ) 増音  $\leftarrow$ , *cresc.*; *souffleur* (スウフリユール) *opera* の後見役, *prompter*, セリフ付け。 *soufflets* (スウフレイ) *organ* の風蓋。

sound [英] (サウンド) 音響, 音, *sound-board* (——・ボード) 響板, 反響板, *sound-body* (——・ボディ) *sound-box* (——・ボックス) 共鳴箱, 反響胴体, *violin* 等の胴体, *sound-hole* (——・ホール) 響穴, *f* 字孔, *sound post* (——・ポスト) 魂柱, *violin* の駒の下にある支柱, *sound waves* (——・ウェーブス) 音波。

soupape [佛] (スウパーブ) 送風楽器の辨。

soupir [佛] (スウピール) 「溜息」四分休止符, *demi-soupir* (デミ・スウピール) 八分休止符。

sourdelline [佛] (スウルデリオン) *sordellina*

sourdement [佛] (スウルドマン) 音を抑へて, 弱めて。

sourdine [佛] (スウルティン) 弱音器。

sous [佛] (スウ) 下; *sous-tonique* (スウ・トニック) 尋音。 [英] *sub* に同じ。

soutenu [佛] (スウトニユウ) *sostenuto* に同じ。

souvenir [佛] (スウヴニール) 追想, 追想曲。

Sp. [略] *Spitze* (シュピッツェ) [獨]

space [英] (スペース) 線間, 譜表の線間; 下より 1 2 3 4 5 上に数へる。

spagnolesco [伊] (スパニヨレスコオ) スペイン風に。

spagnoletta [伊] (スパニョレッタ) } 1. スペイン風の *minuet*, 2. *serenade*,

spagnuola [伊] (スパニョーラ) } 3. スペイン人, 或は *guitar* のこと。

spalla [伊] (スパアラ) 肩, *viola da spalla* (肩の *viol* 即ち *violin*)

spandendo [伊] (スパンデンドオ) 段々緊張して, 即ち *crescendo* に。

Spanish [英] (スパニッシュ) スペインの, スペイン風の音楽。

Spanish cross [英] (スパニッシュ・クロッス) *double sharp* のこと, 即ち X

[獨] *Spanischer Kreuz* (スパニッシュ・クロイツ) 或は *Spanischer Reiter* *Spanish guitar* [英] (スパニッシュ・ギタア) *guitar* は中世紀からの由緒多き楽器で, 種類も澤山あるが, 今日用ゐてゐるものは *Spanish guitar* と稱するものである。 (*guitar* 参照)

sparto [伊] (スパアルト) } 「離れてゐる」さいふ意味にて, 大譜表を指す。  
Sparte [獨] (シュバルテ) } [伊] *sparta* (スパアルタ) *spartita* (スパアルティタ) *spartito* (スパアルティト) もそれに同じ。

spassapensiero [伊] (スパッサ・ペンシエロ) *Jew's harp*, *harmonica* (mouth) に同じ, 玩具楽器。

spasshaft [獨] (シュパッスハフト) *scherzando*, 遊戯的に, たわむれて。

spatium [羅] (スパティウム) } 譜表の線間, *space*.

spazio [伊] (スパツィオ) }

spediendo [伊] (スペディエンドオ) 急いで, 速度をきざんで。

sperdendosi [伊] (スヘルデンドオシ) *perdendosi*, 音が次第に消ゆる, 段々に弱く。

spezzato [伊] (スペツァット) *broken* にて, 和絃を分弾的に。

spianata [伊] (スピアナタ) 滑かに, 平均に, 靜に, *spianato* (スピアナット)

spiccato [伊] (スピッカット) *violin* 奏法上の指定語にて, 手首の動作にて, 音を細かく *staccato* に且早く, 弓が絃上にて跳る様に弾くこと, *spiccato-mente* (スピッカタメンテ) 同上。

spiegando [伊] (スピェガンダ) *crescendo*, 次第に強く且廣く。

Spiegelkanon [獨] (シュビゲルカノーン) 逆行的走法曲, *retrograde canon*

Spiel [獨] (シュビール) 演奏, 演奏法, *Spielart* (——・アルト) 演奏法, *Spieler* (シュビイレル) 演奏者。

spigliatezza [伊] (スピリヤテツツァ) 快速, 快速に, *spigliatezze* (スピリヤテツツェ) 快速なる小曲。

spina [羅] (スピナ) *harpsichord* 等の爪, *quill*

spinet [英] (スピネット) *piano* の前代楽器, 方形の小形の *harpsichord*, *spina* によりて音を發する故に此の名がある。

spirante [伊] (スピランテ) 次第に弱く, 消失する様に。

spirito [伊] (スピリット) 精神, 生命, *con spirito* (コン・——) *spiritoso* (スピリトソ) *spirituoso* (スピリトウソ) *spiritosamente* (スピリトウザメンテ) 精神をこめて, 活氣を以て, 早く。

spirituale [伊] (スピリテュアーレ) 宗教的に, 敬虔に。

spirituelle [佛] (スピリチュエユ) 高雅に; 空想的に, 靈的に。

Spitze [獨] (シュピッツェ) 尖端 (弓の) *spitz* (シュピッツ) 鋭く。

spöttisch [獨] (シュベッティツシュ) 嘲る様に。

Spottlied [獨] (シュボットリッド) 嘲笑歌, 諷刺歌。

sprechend [獨] (シュプレッヘント) 言語にて, 言語調にて, *parlante*, *pralando*.

**spressione** [伊] (スプレッジョネ) 表情, 表現, 表情を以て, 情味を以て, espressivo

**spring** [英] (スプリング) 裝飾音の一にて, mordent に同じ, 但し mordent よりも一層明瞭に奏する。

**Sprung** [獨] (シュプリング) skip, 飛躍, メロディが三度以上に隔つて進行すること。

**square B** [英] (スクエア・ビー) B ♯

**square piano** [英] (スクエア・ピアノ) grand piano の四角形のもの。

**squilla** [伊] (スクィラ) 小さき鐘, 鈴, squillante (スクィランテ) 明らかに。

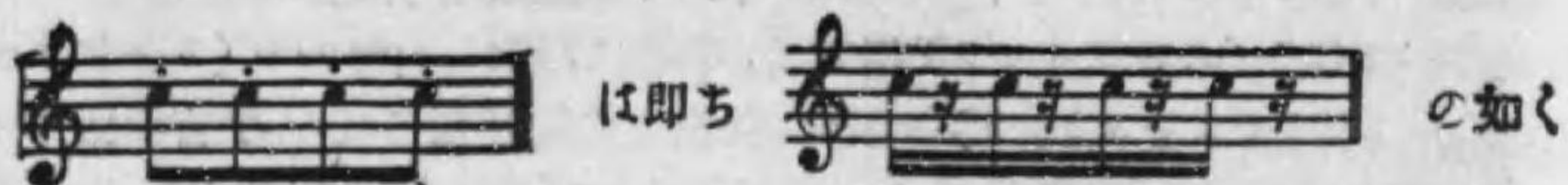
**sta** [伊] (スタ) 書いてある通り。

**Stabat Mater** [羅] (スタバット・マアテル) 「悲みの御母」聖樂曲名。

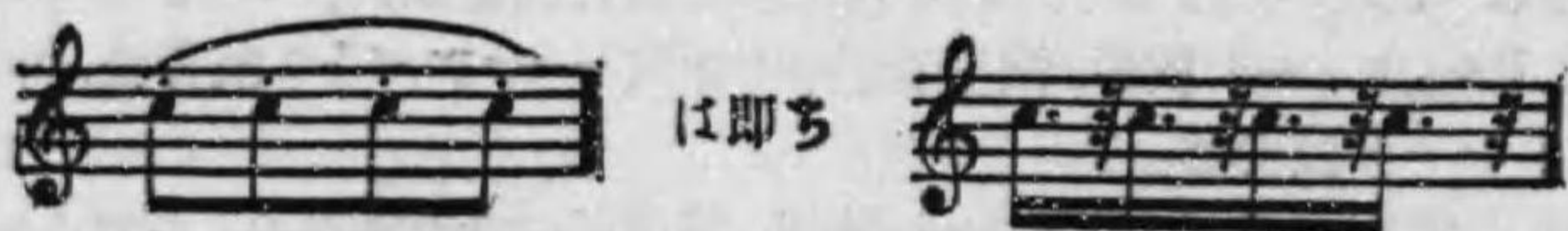
**stabile** [伊] (スタビレ) 確然と, 落着いて。

**stac. stacc.** [略] staccato

**staccato** [伊] (スタッカト) 断音, 音を截然と短かく奏す。stacca' の記號は音符の上に・を附し或は'を附する。



奏する。mezzo staccato (メゾ・スタッカト) 半断音は, staccato に slur のあるもの。



**staccatissimo** (スタッカティシモ) 大断音。



**staccare** (スタッカアレ) 断音にて弾け。

**staff** [英] (スタッフ) 譜表, 線を並べた記譜用の紙面をいふ。複数に stave (ステーヴ) である。冒頭の調子記號によつて, treble staff, bass staff の區別があり, 又別に tenor staff, alto staff, soprano staff 等がある。

**Stahlharmonica** [獨] (シュタール・ハルモニカ) 鐵琴。

**Stamm** [獨] (シュタム) 根, 幹, Stammakkord (—・アコード) 根音和法, — ton (—・トオン) 根音, — tonleiter (—・トオンライテル) C 調音階。

**stampita** [伊] (スタンピタ) 歌曲, 謠調。

**stanchezza** [伊] (スタンケツツァ) 仰るみて, stanco (スタンコオ) 同上。

**Ständchen** [獨] (シュテンチェン) serenade に同じ, 戀曲, Abendständchen (アーベント・—) 夜の serenade, Morgen— (モルゲン・—) 朝の歌。

**standhaft** [獨] (シュタント・ハフト) 確然と。

**stanghetta** [伊] (スタンゲッタ) 縦線。

**stanza** [伊] (スタンツァ) 歌詞の一章, 一節。

**stark** [獨] (シュタルク) 強く, stärker (シュテルケル) 更に強く。

**stave** [英] (ステヴ) 1. 譜表 (staff の古語) 2. 歌の章節, grand stave (グランド・—) 大譜表, 五線の staff を二つ連合したもの, great — (グレイト・—) 同前。

**stecca** [伊] (ステッカ) つまり摩, 壓しつけた。

**Steg** [獨] (シュテック) 駒, am Steg (アム・—) 駒の訓(を弾け)

**steigernd** [獨] (シュタイゲルント) 段々に力を入れて。

**Steinway piano** [英] (スタインウェイ・ピアノ) スタインウェイ會社製の piano. Steinway 會社は 1853 年創立にて世界最大の piano 製造者である。

**Stellung** [獨] (シュテルング) 位置, position

**stem** [英] (ステム) 符尾; 音符に附いてある線。[獨] Halo, [佛] queue, [伊] gambo

**stendendo** [伊] (ステンデンドォ) 速度を控へて, rallentando

**stentando** [伊] (ステンタンドォ) 遅くなる, 遅く, stentamente (ステンタメンテ) 同上, stentate (ステンタテ), stentato (ステンタト) 1. 力を入れて。2. 稍遅くしつかりさ。

**step** [英] (ステップ) 階行, 一音(或は半音)の進行をなすこと, whole step (ホール・—) 一音進行, half step (ハーフ・—) 半音進行。

**sterbend** [獨] (シュテルベント) 消ゆる様に, morendo

**Sterbelied** [獨] (シュテルベ・リィド) 埋葬歌, 哀悼歌, Sterbegesang (シュテルベ・ゲザング) 同上。

**steso** [伊] (ステゾ) 速度を遅く, 速度をひろく。

**stesso** [伊] (ステッソ) 同様に, istesso に同じ。lo stesso tempo (ロ・ステッソ・テンポ) 同様の速度にて。

**stets** [獨] (シュテツ) 常に, 全曲を通じて。

**sthénochire** [佛] (ステノシール) 指を丈夫に強くする器械。

**stibaechiato** [伊] (スティバッキアト) rallentando

**sticcado** [伊] (スティカド)}  
**sticcato** [伊] (スティカト)} 木琴, xylophone

**Stich** [獨] (シュテヒ) 附點, dot

**Stiel** [獨] (シュティール) stem, 或は棹。

**Stierhorn** [獨] (シュティールホルン) 牛角の笛にて只一音より發せぬもの。

- stile** [伊] (スティイル) 型, 様式, 曲風, 或は stilo (スティイロ), [羅] stilus (スティルス), [獨] Stil (シュティイル), [英] style (スタイル)
- still** [獨] (シュティール) 静かに, 弱く。
- Stimme** [獨] (シュティンメ) 1. 聲。2. 音。3. 聲部。4. 魂柱, 響柱。mit der Stimme (ミット・テル・——) colla voce; Stimmgabel (シュティンム・ガッペル) 音叉。Stimmenkreuzung (シュティンメンクローツング) 聲部の交錯, Stimmumfang (シュティム・ウムファンク) 音域, 聲域。
- Stimmung** [獨] (シュティンムンク) 1. 調。2. 調率。3. 音高。4. 気分, 情調。
- stinguendo** [伊] (スティンゲンド) 消失する様に, calando
- stiracchiando** [伊] (スティラッキアンド) 拍子をゆるめて, 間のびにして, stiracchiato (スティラッキアット), stirando (スティランド), stirato (スティラット) 同上。
- stiriana** [伊] (スティリアーナ) styrienne に同じ。
- stiva** [羅] (スティイラ) neuma に同じ。
- Stock** [獨] (シュトック) 指揮棒。
- stockend** [獨] (シュトッケント) 速度をゆるめて, rallentando
- stolz** [獨] (シュトルツ) 誇らしく, 揚々。
- stonante** [伊] (ストナント) 不協和音。
- stone harmonica** [英] (ストオン・ハアモニカ) 石を並べた打楽器, 石琴。
- stop** [英] (ストップ) 1. 音栓, organ 或は harmonium の音色或は音域を變化せしむる爲めに抽出す栓。2. 絃楽器の絃を抑へるこま。3. horn の鉢へ手を挿入すること。4. 木管楽器の穴を指にてふさぐこま。double stops (ダブル・ストップス) 二重おさへ, 絃楽器にて二絃以上を同時に抑へて重音を出すこと。
- stopfen** [獨] (シュトッペン) 詰める, (horn の鉢の中へ手を), Stopfton (シュトッパ・トーン) horn の手を詰めた音。
- storta** [伊] (ストルタ) serpent 楽器, 或は storto (ストルト)
- Stosszeichen** [獨] (シュトッス・ツァイヘン) staccato 記號。
- str.** [略] strings (絃楽器)
- stracantare** [伊] (ストラカントアレ) 美しく歌ふ。
- straccialando** [伊] (ストラッチカランド) 操へること。
- straccinato** [伊] (ストラッチナット) 遅くする。
- Strad.** [略] (ストラッド) Stradivarius さいふ, violin 製作の名匠が作つて残した絃楽器の愛稱。
- straff** [獨] (シュトラッフ) 厳格に。
- strain** [英] (ストレイン) 1. 旋律, 小唄, 歌謡。2. 二縦線間の樂章。
- strambotto** [伊] (ストランボット) 民謡, 俚調, strambottolo (ストランボット) 同上。

- strappando** [伊] (ストラッパンド) 奏法上手首を早く轉回して音を切り
- strappato** [伊] (ストラッパット) 放す事, 音を突き放す。
- strascicando** [伊] (ストラシカンド) 音を引ずる様に長たらしく弾く,
- strascinando** [伊] (ストラシナンド) strascinato (ストラシナット) strascino (ストラシノ) 同上。
- strathspey** [英] (ストラススハイ) 4/4 拍子のスコットランド舞曲。
- stravagante** [伊] (ストラヴァガント) 偏奇なる, 怪偉なる, 脱線して, 大々的に, 氣まぐれに, stravaganza (ストラヴァガンツァ) 怪偉, 尪大, 豪放, 磊奇。
- straw-fiddle** [英] (ストロオ・フィツドル) 木琴, xylophone, [獨] Strohfiedel
- straziante** [伊] (ストラツィアント) 嘲るやうに, ふざけて。
- streichen** [獨] (シュトライヘン) 1. 擦絃する, 絃を擦る。2. 樂曲の一部を削除する。
- Streich** [獨] (シュトライヒ) Streichinstrument (——・インストルメント) 絃楽器, —— orchester (——・オルケステル) 絃樂合奏, —— quartett (——・クワルテット) 絃樂四重奏。
- streng** [獨] (シュトレング) 嚴格なる, 烈しき, Strengfuge (シュトレング・フウゲ) 嚴格遁走曲。streng im Tempo (——イム・テンポ) 拍子正しく。
- strepito** [伊] (ストレピト) 騒音, strepitoso (ストレピトソ) 騒がしく, strepitosamente (ストレピトザメンテ) 同上。
- stretta** [伊] (ストレッタ) 1. 樂曲の結尾に附する一樂部或は coda にて,
- stretto** [伊] (ストレット) 樂曲の主要部よりも急速に奏する部分。2. fuga (遁走曲) の一樂部にて, 主題と應答部とが結合する部分, 積疊部。3. accelerando. alla stretta, alla stretto 急速に。piu stretto より急いで。
- strisciando** [伊] (ストリシヤンド) strascicando に同じ。
- Strich** [獨] (シュトリッヒ) 1. 衝動, 用弓の一衝動をいふ, stroke に同じ。2. 消線, 小線, Bogenstrich (ボージェン・——) 1. の意味, Strichart (——・アールト) 用弓法, bowing 法。Strichstaccato (——スタッカット) staccatissimo
- strict** [英] (ストリクト) 嚴格なる, 規則に拘泥せる。strict counterpoint 嚴格對位法。strict fugue 嚴格遁走曲法; strict style 嚴格作曲法。
- stridente** [伊] (ストリデンテ) 鋭い音の, 齒の浮く音の, stridevole (ストリイデヴォレ) 同上。
- striking reed** [英] (ストライキング・リイド) 打撃辨, 簧が通風の際に周圍の棒と衝突して音を發するもの, free reed に對していふ。
- strillo** [伊] (ストリロ) 聲高き叫聲。
- strimpellata** [伊] (ストリンペラッタ) 掻きむしる様な。
- string** [英] (ストリング) 1. 絃, 線。2. 絃楽器(strings), string orchestra (——・オーケストラ) string band (——・バンド) 絃樂合奏, string quartet (——・クワルテット) 絃樂四重奏, string instrument (——・インストルメ

- ント) 絃楽器。
- stringendo** [伊] (ストリンゲンドォ) 急いで, せきこんで, きざんで, 段々せまる様に, stringere (ストリンヂェネレ) 同上。
- stringy** [英] (ストリンヂイ) 絃の, 絃樂の, 絃樂らしき音色の。
- strisciando** [伊] (ストリシヤンドォ) 音から音へ滑かに, strisciato (ストリシヤアトォ) 同上。
- strofa** [伊] (ストロオファ) strophe に同じ, 或は strofe (ストロオフェ)
- Strohbas** [獨] (シュトロオオバス) 音の貧弱な低音。
- Strohfiel** [獨] (シュトロオフィイデル) straw-fiddle を見よ。
- strombazzata** [伊] (ストロンバツァアタ) } ラツバの音, ラツバの音色
- strombettata** [伊] (ストロンベッタアタ) } strombettare (ストロンベツァレ) ラツバを吹く。strombettiare (ストロンベツァイェーレ) ラツバ手。
- stromento** [伊] (ストロメントォ) instrument, 樂器, 或は strumento (ストロメントォ), [複] stromenti (ストロメンティ), stromenti da corda 絃樂器 — di vento 管樂器, — da tasto 有鍵樂器, — d'altone 眞鍮樂器。
- strophe** [英] (ストロフィイ) 韻語, 詩の各行。
- Stubenorgel** [獨] (シュトゥベン・オルゲル) cabinet organ.
- Stück** [獨] (シュテュツク) piece, 樂曲。Stückchen (シュテュツクヘン) 小曲。断片。
- study** [英] (スタディイ) 習作曲, 練習曲。[佛] étude
- Stufe** [獨] (シュトゥフェ) 階段, 段階, stufenweise (シュトゥフエンツァイゼ) 音階的。Stufengang (シュトゥフエンガング) 音階。
- stumm** [獨] (シュトゥムム) dumb, 無音の, Stummklavier (—クラフィール) 無音ピアノ。
- stunante** [伊] (ストゥナンテ) stonante に同じ。
- Sturm** [獨] (シュトゥルム) 暴風, 強打。
- Stuttgart pitch** [英] (ストットガルト・ピッチ) 一秒钟 400 振動の  $a^1$  の音の標準高度。
- Stutzflügel** [獨] (シュテュツフリュウゲル) baby grand, 小形 grand piano
- styrienne** [佛] (ステイリアンヌ) jodel の折返しある歌謡。
- su** [伊] (スウ) 上, arco in su (昇弓)
- suave** [伊] (スヴァヴェ) 柔かに, 甘く。[佛] suave (シュヴァヴ)
- sub** [英] (サブ) 接頭語にて「下」にいふ意味。
- subcantor** [英] (サブカンター) 合唱長の次席。
- subdominant** [英] (サブドミナント) 第四度, 次屬音, (下への五度といふ意味) subdominant chord (—コード) 次屬和絃, 四度の和絃。
- subito** [伊] (スビト) 早く, 直ちに, 息を入れずに subitamente (スビタメンテ) 同上。
- subject** [英] (サブヂェクト) 主題, 主旋律, 問題, counter subject 複主題。

- subjective** [英] (サブヂェクティヴ) 主観的, subjective music 主観的音樂, 個性的内省的音樂を指していふ。
- submediant** [英] (サブミディアント) 第六度, 下へ三度の意味, submediant chord (—コード) 六度の和絃。
- subordinate** [英] (サブオーディネート) 次の, 附屬の, 第二次の, 從屬の。
- subtonic** [英] (サブトニック) 導音, 第七度, 基音の下の意。
- successor** [英] (サクセンタ) 合唱長の次席。
- succession** [英] (サクセション) 續起, 續發, 續現, 繼續。
- sudden modulation** [英] (サドン・モデュレーション) 突然の轉調, 媒介和絃なき轉調。
- suffocato** [伊] (スッフオカト) 弱音して, 音をためて, 抑へて。
- suggetto** [伊] (スゲツトォ) 主題 subject
- suite** [佛] (シュイイト) 組曲, 同調の曲の連鎖したもの, 往時は舞曲の組合せであつて, allemande, courante, sarabande, gavotte, bourée, gigue 等が樂部を構成してゐたが, 近代の suite の接合は極めて自由である。
- suivez** [佛] (シュイヴェエ) つづく, 同じ様に, 次を奏す。
- sujet** [佛] (シュヂェエ) 主題, subject
- sul, sull', sulla, sulle** [伊] (スル, スル, スラ, スレ) 凡て前置詞的冠詞で……で, ……上にて, sul A (A絃にて), sulla mezza corda (中央の絃上にて), sul ponticello (駒の上にて, 即ち駒の近くを弾け)
- summend** [獨] (ズンメント) 口中にてうたふ。
- sunto** [伊] (スントォ) 抜摘, 抜萃。
- suo** [伊] (スオ) その, suo loco その場所 (即ち書いてある通り)
- suonare** [伊] (スオナアレ) suonare (奏する) に同じ, suonata (sonata), suono (sono) の如し。
- super** [英] (スウバア) 上の。
- superbamente** [伊] (スベルバメンテ) 高尚に, 誇りて。
- superdominant** [英] (スウバアドミナント) 第六度 (五度 dominant の上)
- superoctave** [英] (スウバアオクテヴ) 八音上。
- supertonic** [英] (スウバアトニック) 第二度 (即ち基音の上) 上主音。
- supplicando** [伊] (スプリカンドォ) 祈る様に, 願ふ様に, supplichevole (スプリケヴォレ) 同上, supplichevolemente (スプリケヴォルメンテ) 同上。
- supposed bass** [英] (サッポースト・バス) 根音に非ざる音が最低音に現はれてゐるとき, それを假りに低音と見做すこと, 假定低音。
- sur** [佛] (シュル) ……の上, [伊] sul に同じ。
- surabondant** [佛] (スラボンダン) 變拍子の, 變態の。
- suspended cadence** [英] (サスペンデット・ケデンヌ) 繫留靜止法, 靜止法に繫留法を加へたもの。
- suspension** [英] (サスペンション) 繫留法。和絃中の一音(主としてその外

聲部) 或は二音をそのまま、和絃の質を異にする次の和絃の中まで滞留せしめ、その間に不協和音を一時作らしめるが、直に次の和絃の中でその滞留した不協和音を變化せしめて協和絃とする法。



説明。前の小節中の高聲部の D は五度の和絃の第五音で即ち和音であるが、是が次の小節にある主和絃の中まで滞留し且つ侵入する時、D の音は根音 C に対しては九度の不協音である。所がこ

れがまたその和絃の中で、一音下つて C に變化するので、不協和音は協和的に解決されるのである。

süss [獨] (ジュウス) 甘く、柔かく。

sustain [英] (サステイン) 音を長く引く、即ち他の和絃の下或は上にいつまでも存して進行すること、sustained note (サステインド・ノオト) その延引音。

sustonique [佛] (シュトニック) supertonic; 或は sutonique とも綴る。

susurrando [伊] (ススランドォ) } 囁やく様に、口中にてうたふ。

susurrante [伊] (ススランテ) }

svelte [佛] (スヴェルト) } 軽く、爽かに。

svelto [伊] (ズヴェルトォ) }

svilupamento [伊] (ズヴィルッパメントォ) } 開展して、開展。

sviluppo [伊] (ズヴィルッポォ) }

svizzera [伊] (スヴィツツェラ) スイス風、alla— スイス風に。

Sw. [略] Swell organ の略。

swell [英] (スウェル) 1. organ の増音器。2. 一音符上に cresc. dim. を行ふこと、即ち messa di voce; swell organ (スウェル・オーガン) organ の最上位の鍵盤は強弱の表現を支配する音管と関連してゐるので、此の部分と謂ふ。

syllabic [英] (シラビック) 一音一語の、一 syllable に一音符の。

sympathetic vibration [英] (シンパセティック・ヴァイブレーション) 共鳴振動, resonance

symphonic [英] (シンフォニック) symphony の、和音的の、管絃樂のための symphonic poem (—••エム) 管絃樂詩, 詩的管絃樂曲。

symphonion [英] (シンフォニオン) 自動樂器の名。

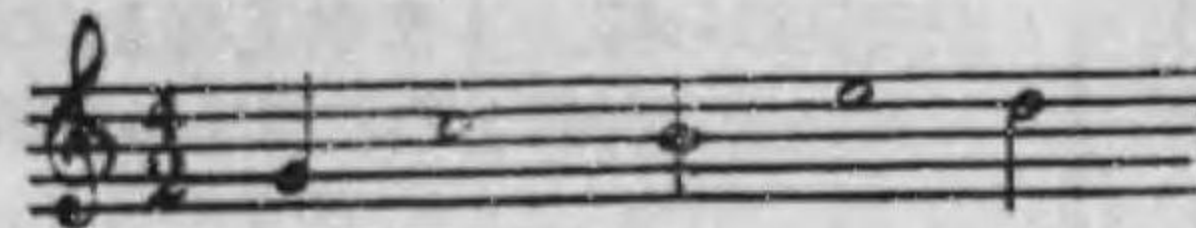
symphony [英] (シンフォニー) 1. 和音。2. 序曲。3. ritornello 4. sonata 形式の orchestra 樂曲、但し sonata より規模の大なるものである。symphony は中世では sifonia といい、歌劇の overture の事を意味してゐたそれが 1780 年以後今日の管絃樂的 sonata を指していふ様になつたのであるから是を「交響樂」と譯す事は語原に因はれたので、適當でない。

syncopation [英] (シンコペーション) 切分法。これはアクセントが小節の頭初にあるべき筈のものが、弱聲部に比較的長い樂譜があるために、力が

その方に自然に移つて、アクセントが全然逆に顛倒することないふ。



syncopation は多くの場合には、slur によつて小節の縦線を越えて音の連帶される時に起る。それで昔の記譜法には slur を用ゐずに



さ書いたので、切分法といふ譯詞が當はまるのである。

syncopate (シンコペイト) アクセントが倒錯すること。

syren [英] (サイレン) siren に同じ。

syrinx [希] (シリックス) Pan's pipe のこと。

syzygia [羅] (シジギア) 和絃, 和音。

szopelka [原] (ソペルカ) ロシアの oboe

## T

- T.** Talon, Tasto の略字。t. s. は Tasto solo Tempo の略字。a. t. は a tempo  
 Toe の略字。これはオルガン曲のみに使用される。  
 Tre の略字。T. C. は tre corde  
 又は Tutti の略字。
- tablatura** [伊] (タブラトゥラ) } 記譜法の一つ。1. 文字記譜法。2. 或  
**tablature** [佛] (タブラチュル) } は楽譜法、音楽上の記號等を總稱して  
**tiblature** [英] (タブラチュア) } 云ふ。それによつて直ちに奏し、或は  
**Tabulatur** [獨] (タブラトゥル) } 歌ひ得るやう理解を容易ならしむる  
 法式の lute 又はその同類樂器の譜書法を待てこの言葉に依つて他のもの  
 と區別して謂ふ。文字樂譜とは A B C の文字に番號やアクセントや  
 形容詞がついて種々のオクターヴに於ける音の pitch を表はすものであ  
 る。これは紀元 1000 年頃 Arezzo の Guido が最初使用してゐた。
- table d'harmonie** [佛] (タアブル・ダアルモニイ) } 樂器の響盤。  
**table d'instrument** [佛] (タアブル・ダンストリユマン) } 響胴。共鳴箱。  
**table songs** [英] (テーブル・ソングス) 1. 宴歌。2. かつて獨逸の Glee Club  
 で盛に歌はれた歌。
- tabor** [英] (テバブ) 小太鼓。常に舞踏曲の横笛の伴奏に用ふ。  
**taboret** [英] (タボレット) tabor の小さいもの。  
**tabourin** [佛] (タブウレン) tabor 又はタンボリン tambourine を見よ。  
**tabret** [英] (タブレット) 古代ヘブライ人の使用せし太鼓の一種。
- tacet** [羅] (タケツト) } 靜かに。ある樂器の演奏を休止させること。例へ  
**tace** [伊] (タァチェ) } ば violin tacet とある時は “ヴァイオリン休止”  
**taci** [伊] (タァチイ) } と云ふ意。  
**taciasi** [伊] (タチアジ)
- Tact** [獨] (タクト) 拍子。又は小節。普通 Takt を綴る。以下 Takt—と  
 綴じた言葉は、Takt—を綴るのが普通である。
- Tactart** [獨] (タクト・アルト) 拍子の種類。四拍子又は三拍子の如き。  
**Tactführer** [獨] (タクト・フュルル) 指揮者。指導者。  
**Tactlinie** [獨] (タクト・リニエ) } 小節なくぎる縦線。  
**Tactstrich** [獨] (タクト・ストリッヒ) }  
**tactmässig** [獨] (タクト・メッシヒ) 拍子に合った。  
**Tactmesser** [獨] (タクト・メッセル) metronome に同じ。  
**Tactpause** [獨] (タクト・パウゼ) 一小節休止。  
**Tactschläger** [獨] (タクト・シュレゲル) 拍子をさる人。  
**Tactstock** [獨] (タクト・ジュトック) タクト棒。指揮棒。バアトン。  
**tactus** [羅] (タクトス) 古代の音楽に於て拍子をさるためにしたる拍手。

- Tactzeichen** [獨] (タクト・ツァイヘン) 拍子速度を表す樂曲の初めの記號。  
**Tafelmusik** [獨] (タフェル・ムジク) 宴會歌。テーブルで歌ふ歌。  
**tagliato** [伊] (タリアアト) 中世の拍子記號。  
**taille** [佛] (テエイユ) テノール部。viola  
**tsille de violon** [佛] (タイユ・ド・ヴィオロン) viola 又は中音 viol  
**tail-piece** [英] (テイル・ピース) ヴァイオリンやヴィオラの如き弦樂器の弦を  
 定著せしむるための黒檀の緒止。
- Takt** [獨] (タクト) Tact を見よ。  
**talking machine** [英] (トオキング・マシン) 蓄音機。phonograph を見よ。  
**talon** [佛] (タロン) 弓の heel [附根] に近い所。下弓。  
**tambour** [佛] (タンブウル) 太鼓。大太鼓。同時に鼓手をも云ふ。  
**tambour de basque** [佛] (タンブウル・ド・バスク) tabor に同じ。タンボ  
 リン。  
**tambouret** [佛] (タンブウレ) } タンボリン。太鼓の様な小さい拍  
**tambourine** [英] (タンボウリン) } 撃樂器の一種でその廻りに小さい  
 鈴がついてゐるもの。  
**tambourin** [佛] (タンブウレン) タンボリン入りの舞踏曲。タンボリン。  
**tändelnd** [獨] (テンデルンド) 遊戯的な方法で。  
**tanto** [伊] (タント) 多く。非常に。allegro non tanto 餘り早くなく。  
**tantum ergo** [羅] (タントム・エルゴ) ローマ公教會で歌はれる賛美歌。  
**Tanz** [獨] (タンツ) dance に同じ。  
**Tanzkunst** [獨] (タンツ・クンスト) 舞踊藝術。  
**Tanzstück** [獨] (タンツ・シュツク) ダンス樂曲。  
**tap** [英] (タップ) 單音の太鼓の一撃。  
**tarantella** [伊] (タランテラ) 6-8 拍子の早いナボリの舞踏。又は舞曲。こ  
 の形式はリストやショパンの如き近代作曲家にもよく使用されてゐる。  
**tardamente** [伊] (タルダメンテ) 靜かに。ゆるやかに。  
**tardando** [伊] (タルダンド) 速度をゆるめて。  
**tardo** [伊] (タルド) ゆるやか。  
**tastame** [伊] (タスタメ) }  
**Tastatur** [獨] (タスタトゥル) } ピアノ、オルガン等の鍵盤。鍵盤。  
**Tastatura** [獨] (タスタトゥラ) }  
**tastiera** [伊] (タスティエラ) }  
**Taste** [獨] (タステ) } 1. 樂器の觸奏。2. 鍵又は彈する時手にふれる所。  
**tasto** [伊] (タスト) } 3. 指板。4. 指板の frett (桁)。  
**Tastenbrett** [獨] (タステンプレット) ピアノ等の鍵盤。  
**tasto solo** [伊] (タスト・ソロ) 單鍵。只一つの鍵のみにて。オルガンや  
 ピアノで低音のみにて和音をつけずに彈くと云ふ意味。  
**teatrino** [伊] (テアトリイノ) 小劇場。

teatro [伊] (テアートロ) 劇場。演奏場。

Technik [獨] (テヒニク) technique に同じ。

technique [英] (テクニク) 技術。演奏の技術。或は technic

tedesca [伊] (テデスカ) 獨逸の。alla tedesca 獨逸風に。或は tedesco

Te Deum Laudamus [羅] (テ・デウム・ラウダムス) 聖歌の名。「神よ我等は爾を崇む」。

Teil [獨] (タイル) 部。聲部。樂部。part に同じ。

tell-tale [英] (テルテイル) 表示機。オルガンの送風器より来る空氣の量を示す金屬又は象牙製の器具。

tema [伊] (テマ) theme に同じ。

temperament [英] (テムペラメント) 調率。整調。音階の各音を音響學の法則に基き和音的に整正すること、及び音階の各階を實際に演奏し易き平均音程を以て調率すること、前者を純正率 pure temp. といひ、後者を平均率 equal temp. といふ。well-tempered といふのは後者に調率したものを指していふのである。

純正率は各音程を正しき分枝法によつて測定したものであり、平均率は各半音を同等に調率したものであつて、八度以外は凡て純正率と違つてゐる、が但し五度だけは極めて接近してゐる。然るに長三度を正確に調率する事を主眼とした調率法が別にあつて、此の長三度を二分して一全音 (mean tone) を作るのである。是を mean temperament といふが、目下是は行はれないので、piano organ 等は Bach の唱導によつて equal temperament を用ゐる事になつた。Temperatur [獨] (テムペラトゥル)

tempered [英] (テムパード) 音の正確な。整調されたる。

tempestosamente [伊] (テムペストザメンテ) 狂暴に。急速に。

tempête [佛] (タンペット) 2-4 拍子の騒がしいダンス。

tempo [伊] (テムポ) 拍子。速度。time に同じ。中世紀の音樂には餘り使用されてゐなかつた。Jean de Muris が 1350 年頃音樂には速、緩、中庸の三種の速度があると書いた。この時代に tempo の速い云ふ意味の celeriter の略字の C、近代の ritenuto と同意味の teneatur の略字の T を用ひてゐた。tempo の記號はオペラの初まりに發生する。西暦 1600 年頃感情的な抒情的な作曲が初まつて tempo の記號は一時に現れた。先づ Frescobaldi の樂曲中に tempo の記號の初めとして adagio と云ふ字が用ひられた。十九世紀の初まりまでは速度記號は現在のやうな極端な分類をなれなかつたと云ふことは記憶すべきである。速いのも緩いのも現代のさそれ程極端でなかつた。主要なる記號を一番緩いものから急速へ順に列べると次の様なものである。左から右へ。

grave,	largo,	larghetto,
adagio,	lento,	andante,
andantino,	moderato	allegretto,

allegro, presto prestissimo

これらの伊太利語はその意味からよりも習慣に依つて上の如く排列される。tempo の記號は大體伊太利語を用ゐる風になつてゐるが Schumann や Wagner は獨語を、Berlioz は佛語を用ひた。然し伊太利語の方が便利である。

第一に 三百年間使用されてゐるから

第二に 世界的に廣い音樂を各作家が各自國語を使用することになるさ不便に違ひない

第三に 譜が世界語になつたやうにこれも世界語になければならぬ。

tempo alla breve [伊] (テムポ・アラ・ブレヴェ) 四拍子の速いもの。

tempo a piacere [伊] (テムポ・ア・ピアチェレ) 隨意の tempo で。

tempo di ballo [伊] (テムポ・ディ・バレ) 舞踏の拍子で。やゝ早く。

tempo di cappella [伊] (テムポ・ディ・カペラ) 教會式の拍子で。alla Breve

tempo di gavotta [伊] (テムポ・ディ・ガヴオッタ) gavot の速度で。

tempo di minuetto [伊] (テムポ・ディ・ミニユエット) minuet の速度で。

tempo di polacca [伊] (テムポ・ディ・ポラッカ) polacca の速度で。

tempo di valse [伊] (テムポ・ディ・ヴァルス) waltz の速度で。

tempo frettevole [伊] (テムポ・フレテヴォレ) } 早く。急速に。

tempo frettoloso [伊] (テムポ・フレットロソ) }

tempo giusto [伊] (テムポ・ヂュスト) 正確な拍子で。

tempo ordinario [伊] (テムポ・オルディナリオ) 普通の早からず緩からざる速度。

tempo perduto [伊] (テムポ・ペルドット) 正規則な拍子で。

tempo primo [伊] (テムポ・プリモ) 最初の速度で。

tempo reggiato [伊] (テムポ・レガアト) 獨唱家又は獨奏家に適應したる速度。

tempo rubato [伊] (テムポ・ルバート) 表情をつけるために一つの譜を拍子をばなれ長くし又他のものを短かくする事。然し一小節の長さは變更してはならない。rubato は「盜まれたる」の意。

tempo wie vorher [獨] (テンポ・ヴィ・フォレル) 従前の通りの速度で。

temps [佛] (タン) } time に同じ。又一小節中の各部及區分をも指すこと

tems [佛] (タン) } あり。

temps frappé [佛] (タン・フラッペ) アクセントのつく部。

temps levé [佛] (タン・ルヴェ) アクセントのつかない部。

tendre [佛] (タンドル) やわらかく。

tendrement [佛] (タンドルマン) やわらかに。感じ易く。

teneramente [伊] (テネラメンテ) やわらかに。感じ易く。美しく。

tenerezza [伊] (テネレッツア) やわらかさ。やさしさ。

tenero [伊] (テネロ) やわらかに。やさしく。

- tenir [佛] (トニール) ヴァイオリンの楽弓を握むこと等。音を支持する。
- tenor [英] (テナア) 男聲最高音部。バリトーンより高い男聲。低音部の C から高音部の G までの音域。原意「旋律を保持 tenere する聲部」
- tenor C. [英] (テナア・シイ) テナア聲部の最低音の C。ヴァイオリン又は中音ヴァイオリンの最低弦音。低音部譜表第二線間の C。
- tenor clef [英] (テナア・クレフ) 次中音記號。第四線に置かれる C 記號。
- tenore [伊] (テノレ) tenor 又は tenor 歌手。
- tenore buffo [伊] (テノレ・ブッフオ) オペラ團の喜劇向きのテナア歌手。
- tenore di grazia [伊] (テノレ・ディ・グラツィア) 美しい優しいテナア。
- tenore leggero [伊] (テノレ・レゲエロ) 音色の軽いテナア。
- tenore primo [伊] (テノレ・プリモ) 第一位テナア。オペラの主役。
- tenore ripieno [伊] (テノレ・リビエイノ) 大合唱のテナア。
- tenore robusto [伊] (テノレ・ロブゥスト) 強いテノルの聲。
- tenore viola [伊] (テノレ・ヴィオラ) 高音ヴァイオリン。ヴァイオリン。
- tenorino [伊] (テノリノ) 裏聲テナア, falsetto 歌手。
- Tenorist [獨] (テノリスト) } テノル歌手。
- tenorista [伊] (テノリスタ) }
- Tenorposaune [獨] (テノル・ボザウチ) tenor trombone に同じ。
- Tenorschlüssel [獨] (テノル・シュリュッセル) tenor clef に同じ。
- Tenorstimme [獨] (テノル・シュティンメ) tenor の聲。
- tenor trombone [英] (テナア・トロンボーン) 中音記號の譜で書かれる音域を有するトロンボーン。低音部の B $\flat$  から高音部の第二線の上の g まで。
- Tenorviole [獨] (テノル・ヴィオーレ) } viola に同じ。
- tenor violin [英] (テナア・ヴァイオリン) }
- Tenorzeichen [獨] (テノル・ツァイヘン) tenor clef に同じ。
- tenth [英] (テンス) 十度。一オクターヴと三度より成る音程。オルガンストップの一つの名稱。
- tenue [佛] (トニユ) tenuto を見よ。
- tenuto [伊] (テヌウト) 音を延持する。[略] *ten.*
- teorbe [佛] (テオルブ) theorbo に同じ。或は [伊] teorbo
- teoretico [伊] (テオレティコ) 理論的。teorico (テオリコ) 同上。
- teoria [伊] (テオリア) 理論。樂理。
- tepidamente [伊] (テピダメンテ) 冷かに。
- tepidità [伊] (テピディタ) 冷淡。
- ter [羅] (テル) 三倍。三回。
- tercet [佛] (テルセ) 三連符。
- ternario tempo [伊] (テルナリオ・テムポ) 三拍子。
- ternary form [英] (タアナリイ・フォーム) 三次形式。episode ある樂曲。
- ternary measure [英] (タアナリイ・ミヂャ) 三拍子。

- Terpsichore [英] (タプシコア) ギリシア神話の歌と舞踊の女神。
- tertia [羅] (テルティア) } 三度。又は根音の上三度又は十度の音を出す
- Tertzia [獨] (テルツィア) } オルガン音栓。
- Terz [獨] (テエルツ) } 三度。第三度。十五音の上の三度を出すオルガ
- terza [伊] (テルツァ) } ンのストップ。
- Terzo [獨] (テルツェ) }
- terzo [伊] (テルツォ)
- terza maggiore [伊] (テルツァ・マジオレ) 長三度。
- terza minore [伊] (テルツァ・ミノレ) 短三度。
- Terzen [獨] (テルツェン) 三度。
- terzetto [伊] (テルツェット) 三部合唱曲。
- Terzflöte [獨] (テルツフレテ) 短三度高く出る flute 又はオルガンストップの名。
- terzina [伊] (テイルツィナ) 三連符。trio
- tessitura [伊] (テシツァラ) 樂曲の音の大體の聲域。例へば高音の多い樂曲は tessitura の高い樂曲と云ふが如し。
- testa [伊] (テスタ) 頭。voce di testa 頭聲。
- tête [佛] (テト) 「頭」符頭。絃樂器の龍頭。
- tetrachord [希] (テトラコルド) } 四度。古代に於ける四絃の構成でその
- tetracorde [佛] (テトラコルド) } 兩端の音は一定され中の二音は mode
- tetracordo [伊] (テトラコルド) } によつて色々に變化されたもの。
- text [英] (テキスト) 歌詞。
- theatre [英] (シアタア) 劇場。
- Theil [獨] (タイル) 中部分及區分。聲部。樂曲の構成上の各部分。
- theme [英] (シイム) 樂想。主旋律。subject
- thema [希] (テマ) } 1. ソナタ形式の開展に於ける主題。
- thema [羅] (テマ) } 同上。 2. 對位法の行はれる cantus firmus,
- Thema [獨] (テイマ) } 3. fugue の主題。
- thème [佛] (テム) } 4. 編曲の基本となる單純な旋律。
- Theorbe [獨] (テオルベ) } 形も音も lute に似たる古代の絃樂器。二頭首
- theorbo [伊] (テオルボ) } があつて長い方に低音弦がついてゐる。聲樂の伴奏に用ひられ十七世紀に非常に流行したものである。bass lute
- theory of music [英] (シオリイ・オヴ・ミュージック) 音樂理論。音樂科學。音響學。聲樂又は器樂曲の作曲又は編曲上に於ける旋律、樂想、和聲對位器樂法等の法則。
- thesis [希] (テイジス) 小節中のアクセントのある部分。下拍部。
- third [英] (サアド) 三度。三度音程。第三の。
- third inversion [英] (サアド・インヴァーション) 第三轉回。
- third shift [英] (サアド・シフト) ヴァイオリン奏法の指の轉換法の第三位置。



**thirteenth** [英] (サアティーンズ) 十三度。一オクターヴと六度とより成る音程。即ち十三音を含む。

**thirty-second note** [英] (サアティ・セコンド・ノート) 三十二分音符。

**thirty-second rest** [英] (サアティ・セコンド・レスト) 三十二分休止符。

**thorough bass** [英] (サロウ・バス) figured bass を見よ。figured bass に依つて示されたる和聲の構造。低音部のメロデを示し、それに和絃数字 (figure) を附して低音に和音を暗示する和聲法。continued bass.

**threnodia** [羅] (トレノディア) } 挽歌。葬歌。  
**threnody** [英] (スレノディ) }

**thrice-marked octave** [英] (スライス・マアクト・オクテヴ) 高音部上の第二加線上の C から B までを包含して獨逸にて名づけしもの。これらは小文字で書かれそれに三點をつける c''' の如く。

**thumb-position** [英] (サム・ポジション) 拇指位置。cello 奏法にて拇指を用ゐる高位置。

**thumb-string** [英] (サム・ストリング) バンジョウの旋律絃。

**tie** [英] (タイ) 帶線。連結帶。同音高の二音譜又はそれ以上を連れる孤線。



bind とも呼ばれる。二つの異なつた音高の音符を結びつけたる時は slur (同所を見よ) と云はれる。音符の上に點の附いてゐる二つの音符を連られる曲線は tie ではなく同音の portamento (demi-marcato) の印である。(同所を見よ)



もし第二の音符のみに點がある時は演奏法は短かいスラーと同じやうにする



即ち初めの音にやゝアクセントをつけ第二の音は軽く書かれてゐるよりやゝ短かく奏するのである。

**tief** [獨] (ティフ) 低音の。低く。

**tiefer** [獨] (ライフェル) 低い、低音の、8 va tiefer オクターヴ低く。

**tieftönend** [獨] (ティフテネント) 低音に。

**tierce** [佛] (ティエルス) 三度。十五度より長三度高く調律されてゐるオルガンストツプ。

**tierce de Picardie** [佛] (ティエルス・ド・ピカルディ) Picardy の三度。短音階で構成された樂曲の最後の和絃に長三度が使用された時に用ふる語。

Picardy に初まつたと云ふ風習であるが後一般的になつた。Bach の作品中に多く見出される。

**tierce maxime** [佛] (ティエルス・マキシム) 増三度。即ち五半音よりな

る音程。例へば



**tiercet** [希] (ティエルセツト) 三連符。

**timbal** [西] (ティンバル)

**timbale** [佛] (タンバール) } 低音太鼓。timpani

**timballo** [伊] (ティンバロ)

**timbre** [佛] (タンブル) 音色。timbro [伊] (ティンブロ)

**timbrel** [英] (ティムブレル) 古代ヘブライ人の樂器でタンボリンの如きものであると想像される。

**time** [英] (タイム) 1. 音符の長さ。古代には音符は音高を表はす事しかなかったが、中世からは音符は音の長短を表はすものとなり、別に階表によつて高低を示す事になつた。随つて音符の種類別さいへば、即ち長短別になるのである。

音符	イギリス	ドイツ	フランス	イタリイ
	Breve	Brevis	Brève, Carrée	Breve
	Double note			
	Semibreve,	Ganznote	Semibrève,	Semibreve
	Whole note		Ronde	
	Minim,	Halbnote	Blanche	Minima
	Half-note			Bianca
	Crotchet,	Viertel	Noir	Nera
	Quarter note	Viertelnote		
	Quaver,	Achtel	Croche	Croma
	Eighth note	Achtelnote		
	Semiquaver,	Sechszehntel,	Double-croche	Semicroma
	16th note	Sechszehntelnote		
	Demisemi-quaver,	Zweiunddreiss-	Triple-croche	Semibiscroma
	32th note	igstel, -note		
	Hemidemi-semiquaver,	Vierundsech-	Quadruplecroche	Quattricroma
		zigstel		

2. 樂曲演奏進行の遲速、普通に tempo [伊] と稱するもの (moderato, Al-

legro, adagio 等の各種の遅速の指定語がある。

3. 拍子。楽曲を各小節に分つとすると、その一小節中には定期的の脈動がある、是を音楽の拍子といふ。〔獨〕Takt, Taktart; 〔佛〕mesure; 〔伊〕tempo; 拍子は拍子記號 time signature (タイム・シグネチュア) によつて楽曲の冒頭に明示する。その種類は下の通りである。

	二拍子	三拍子	四拍子
單 拍 子	$\frac{2}{2}$	$\frac{3}{2}$	$\frac{4}{2}$
	$\frac{2}{4}$	$\frac{3}{4}$	$\frac{4}{4}$
	$\frac{2}{8}$	$\frac{3}{8}$	$\frac{4}{8}$
複 拍 子	$\frac{6}{4}$	$\frac{9}{4}$	$\frac{12}{4}$
	$\frac{6}{8}$	$\frac{9}{8}$	$\frac{12}{8}$
	$\frac{6}{16}$	$\frac{9}{16}$	$\frac{12}{16}$

不規則拍子 irregular time には五拍子七拍子等があるが、是等は二拍子と三拍子の結合、或は三拍子と四拍子の結合に外ならぬ。

timorosamente 〔伊〕(ティモロザメンテ) こわごわと、恐れながら。

timoroso 〔伊〕(ティモロソ) 恐れて。ためらつて。

timpanetto 〔伊〕(ティムパネット) 小太鼓。timbrel

timpani 〔伊〕(ティムパニ) 太鼓。kettle-drum

timpani sordi 〔伊〕(ティムパニ・ソルディ) 停止器のついてゐる timpani

timpanista 〔伊〕(ティムパニスタ) ティムパニ奏手。

tintement 〔佛〕(タントマン) 鈴の鳴り音。反響。

tinter 〔佛〕(タンテ) 鈴をならす。

tintinnabulum 〔羅〕(ティンティナブールム)

tintinabolo 〔伊〕(ティンティナボロ)

tintinabulo 〔伊〕(ティンティナブウロ)

tintinamento 〔伊〕(ティンティナメント) 小形の鈴の鳴る音。

tintinnire 〔伊〕(ティンティニレ) 鈴の鳴る音を出す。反響させる。

tintino 〔伊〕(ティンティノ) 振動。鈴音。

tinto 〔伊〕(ティント) 濃淡、色調。con tinto 表現を以て。

tiorba 〔伊〕(四) (ティオルバ) theorbo に同じ。

tirant 〔佛〕(ティラン) 太鼓の革紐。

tirasse 〔佛〕(ティラス) 小さいオルガンの足踏のオクテヴ音栓。

tirato 〔伊〕(ティラット) 1. 引かれたる。2. tirasse に同じ。3. 降弓。

tira tutto 〔伊〕(ティラ・トゥット) オルガンに於ける足踏又は機械装置であつて音栓全部に作用して演奏者がその最大な音を出せるやうにしたもの。

tiré 〔佛〕(ティレ) 降弓。

tirolese 〔伊〕(ティロレエセ) ダンスの一種。tyrolienne を見よ。

toccata 〔伊〕(トッカタ) 現代の capriccio 又は fantasia に幾分か似たる古い形式のオルガン曲又はピアノ曲。この曲は非常にあざやかな演奏を必要とするもので toccata と云ふのは技術的作品と云ふのである。これを演奏することは仲々困難であつて大概その後には fugue が従つてゐる。

tocsin 〔英〕(トクシン) 警鈴。

Todesgesang 〔獨〕(トーデスゲザング)

Todeslied 〔獨〕(トーデスリート) 挽歌。葬歌。

Todtenglöckchen 〔獨〕(トーテンゲルツクヘン) 葬式の鐘。

Todtenlied 〔獨〕(トーテンリート) 葬歌又は葬式讚美歌。

Todtenmarsch 〔獨〕(トーテン・マルシュ) 葬禮進行曲 funeral march

Todtenmusik 〔獨〕(トーテン・ムジク) 葬禮曲。

tolling 〔英〕(トオリング) 教會の鐘を靜かに間を計つて鳴す方。

tome 〔佛〕(トム) 冊。部。

ton 〔佛〕(トン)

Ton 〔獨〕(トーン) } 音。響。聲。旋律又はアクセント。tone を見よ。

tone 〔伊〕(トーノ)

Tonabstand 〔獨〕(トーン・アブスタント) 音程。

tonality 〔英〕(トウナリテイ) 調性。樂句の調子。

Tonart 〔獨〕(トーン・アルト) 調性。音階。tonality

Tonausweichung 〔獨〕(トーン・アウスグワイフンク) modulation を見よ。

ton de voix 〔佛〕(トン・ド・ヴァ) 音聲。聲音。

Tondichter 〔獨〕(トーン・ディヒテル) 音の詩人即ち詩的な作曲家。

Tondichtung 〔獨〕(トーン・ディヒトウング) 詩的な樂曲。音詩。

tondo 〔伊〕(トンド) 音に關して丸く又は充分に云ふ意味。

ton doux 〔佛〕(トン・ドウ) やわらかな、美しい音。

tone 〔英〕(トーン) 一定の音高の音。二音の相異又は音程を表はすにも用ふ。例へば長音短音の如し。人聲又は樂器の音の特別な質。

tönen 〔獨〕(テネン) 響かず。音を出す。

- Tonfall** [獨] (トーンファール) cadence を見よ。
- Tonfarbe** [獨] (トーンファルベ) 音色。
- Tonfolge** [獨] (トーンフォルゲ) 音の連鎖。 melody
- Tonführung** [獨] (トーンフュールンク) modulation, 旋律又は和弦の連鎖。
- Tonfuss** [獨] (トーンフッス) 長短律。 脚律。
- Tongang** [獨] (トーンガング) 旋律。 節廻し。 轉調。 音の進行。
- Tongattung** [獨] (トーンガットウング) } 音の二形式の特性即ち major
- Tongeschlecht** [獨] (トーンゲシュレヒト) } と minor 旋法。
- ton-générateur** [佛] (トンジェネラトウル) 楽曲の中の主調。 根音。
- tongue** [英] (タンク) オルガンの reed pipe
- tonguing** [英] (タンギング) 速い音譜の演奏法の一つでフリユット又はコルネット奏者に使用される術語。
- tonic** [英] (トニック) 主階の主調音。 主要な根音。 音階の第一音。 基音。
- tonica** [伊] (トニカ) }
- Tonika** [獨] (トニカ) } tonic に同じ。
- tonique** [佛] (トニク) }
- tonic solfa** [英] (トニックソルファ) 1812年英國のノルウィッチの Sarah Ann Glover 嬢の發明せる聲樂教授法であつて彼女は是を tetrachordal system と呼んでゐる。その後 Rev. John Curwen が 1841年にその式を完成した。その階名發音法は
- |          |           |
|----------|-----------|
| doh [ドオ] | ray [レイ]  |
| me [ミイ]  | fah [ファー] |
| soh [ソー] | lah [ラア]  |
| te [テイ]  | である。      |
- この發音法の特徴は英國人には從來のよりこの方が發聲し易いことである。si と soh は略字を書くときちらも s であるから前者を te としたものである。高音オクタヴ又は低音オクタヴはその傍に記號する。高音は右上に低音は右下につける例へば  $d^1$   $d^2$   $d^3$  及  $s_1$   $m_2$   $d_3$  の如し。その曲の音調は楽曲の始めに key G 又は key E $\flat$  等が記入される。短音階はその關係の長短音階と連關して考へられその基音は lah である。最大の便利は音譜よりもこれの方が早く読み易いことである。大作にも使用されて成功を示した。
- Tonkunst** [獨] (トーンクンスト) 音樂。 音樂に関する技術と科學。
- Tonkünstler** [獨] (トーンキュンストレル) 音樂家。
- tonkünstlich** [獨] (トーンキュンストリッヒ) 音樂的。
- Tonleiter** [獨] (トーンライテル) 音階。 全音階。
- ton majeur** [佛] (トンマジュル) 長調。
- Tonmass** [獨] (トーンマース) measure 及 time に同じ。
- Tonmesser** [獨] (トーンメッセル) 一弦琴。

- ton mineur** [佛] (トンミニュール) 短調。
- Tonsatz** [獨] (トーンザッツ) 樂曲。
- Tonschluss** [獨] (トーンシュルウス) cadence に同じ。
- Tonschlüssel** [獨] (トーンシュルユツセル) key 及 key note に同じ。
- Tonschrift** [獨] (トーンシュリフト) 樂譜。
- ton de l'église** [佛] (トーンドングリズ) 教會的の音調及旋律。
- Tonsetzer** [獨] (トーンセツツエル) 作曲家。
- Tonsetzung** [獨] (トーンセツツウング) } 樂曲。
- Tonstück** [獨] (トーンステュック) }
- Tonstufe** [獨] (トーンストウフエ) 五線の線又は間。 五線上の位置。
- Tonsystem** [獨] (トーンシステム) 音階の組織。 音響學の規則に依つた組織的和弦の研究法。
- Tonveränderung** [獨] (トーンフェレンデルウング) modulation に同じ。
- Tonwerk** [獨] (トーンウェルク) 樂曲。
- Tonwissenschaft** [獨] (トンヴィスセンシヤフト) 音樂科學。
- tostamente** [伊] (トスタメント) 急速に。 早く。
- tostissimamente** [伊] (トスティシモメント) }
- tostissimo** [伊] (トスティシモ) } 極めて速く、非常な速度で。
- tosto** [伊] (トスト) 早く。
- touch** [英] (タッチ) 觸鍵法。 彈奏法。 オルガン又はピアノ等の鍵を叩いたり又は押したりする技術。 樂器の鍵を押すに困難を指が感じるその抵抗をも云ふ、即ちその抵抗の多い事を hard touch 又は heavy touch と云ふ。 その反對を soft 又は light touch と云ふ。
- touche** [佛] (トゥシュ) touch に同じ。 又ピアノ等の鍵。 fret
- touche d'orgue** [佛] (トゥシュエドルグ) オルガンの鍵。
- toucher** [佛] (トゥシエ) 彈奏する。
- toujours** [佛] (トゥジュール) 常に。 sempre と同じ。
- tour de force** [佛] (トゥールドフォルス) Bravura 譜。 急奏。 速奏。
- tout ensemble** [佛] (トゥタンサンブル) 全曲同じく。 全体的に。
- trabattere** [伊] (トラバッターレ) たたく。 拍子をこる。
- trachea** [羅] (トラキア) 送風管。
- tradolce** [伊] (トラドルチェ) 非常にやわらかに。 美しく。
- trait** [佛] (トレエ) 樂句。 經過句。 一節。
- trait de chant** [佛] (トレイドシヤン) 旋律的な樂句。
- trait d'harmonie** [佛] (トレイダルモニイ) 和弦の連鎖。 sequence
- trait d'octave** [佛] (トレイドクタヴ) Rule of octave; 音階和聲法。 一オクタヴの各音に適當の和弦を附けて、音階的に連鎖せしめる法。
- traité** [佛] (トレエテ) 音樂の規約又は樂理。 論文。
- trällern** [獨] (トレレルン) 節を口中で歌ふ。 顛音する。

- tranquillamente [伊] (トランキラメンテ) 静かに。落ついても
- tranquillezza [伊] (トランキレツアツ)
- tranquillita [伊] (トランキリイタ) } 静か。平靜。冷靜。
- tranquillo [伊] (トランキイロ) }
- transcription [英] (トランスクリプション) 移作。編曲。歌又は楽曲を  
その本来の目的でない他の楽器に演奏されるやうに編曲すること。
- transcient [英] (トランシエント) 臨時の、経過音的の、和絃音に非ざる。
- transitio [羅] (トランシシオ) } ある音から他のものへ突然に移ること。
- transition [英] (トランジション) } 又はある主題から他のものへ導く轉移。
- transposed [英] (トランスポズド) 移調されたる。
- transposer [佛] (トランスポーゼ)
- transponiren [獨] (トランスポニレン) } 移調する。
- transposing instruments [英] (トランスポージング・インストルウメンツ)  
移調した譜によつて奏する楽器。C 調音階に書かれた音階の演奏が實際  
の音は譜と違つて、他の調で音を發する楽器。
- transverse flute [英] (トランスグアス・フリュート) 横笛。flute の項の  
flauto traverso を見よ。German flute
- traquinard [佛] (トラキナール) フランスの快活な舞曲。
- trascinando [伊] (トラシナンド) 拍子を遅延せしむ。strascinando
- trascrizione [伊] (トラスクリツィオーネ) transcription
- trasposto [伊] (トラスポースト) transposed
- trattato [伊] (トラツタット) traité を見よ。
- trattenuto [伊] (トラツテヌット) 音を抑留して。
- Trauergesang [獨] (トラウエル・ゲザング) 挽歌。哀歌。
- Trauermarsch [獨] (トラウエル・マルシュ) 葬儀進行曲。
- Trauermusik [獨] (トラウエル・ムジック) 葬禮樂曲。
- traurig [獨] (トラウリツヒ) 沈重に。悲しく。あはれに。
- traversiere [佛] (トラヴェルシエル) 獨逸風の横笛。flute a bec と區別
- traverso [伊] (トラヴェルソ) } するに用ふる語。
- Travestie [獨] (トラヴェステイ) 變へ歌。
- travestiren [獨] (トラヴェステイレン) 變歌をつくる。
- tre [伊] (トレイ) 三。三部。a tre 三部合唱又は合奏にて。
- treble [英] (トレブル) 高音。高音部。ソプラノ。
- treble clef [英] (トレブル・クレフ) 高音部記號。G 記號。ト字記號。
- treble forte stop [英] (トレブル・フォルテ・ストップ) 高音強聲音栓。室内  
オルガンのストップの一種であつてそれを抽出すれば低音部はそのまゝで  
高音部のみが音量を増す。
- treble second [英] (トレブル・セコンド) 第二高音部。ソプラノに次ぐ音。
- treble staff [英] (トレブル・スタッフ) 高音部の譜表。G 記號の譜表。

- treble viol [英] (トレブル・ヴァイオル) 近世の viol の發明される前に發明  
された楽器で四度づゝに調律されてある六弦のあるもの。
- treble voice [英] (トレブル・ヴォイス) 女聲又は兒童聲の高いもの。
- tre corde [伊] (トレ・コオルテ) 「三弦」といふ意味。ピアノにて移鍵ペダ  
ル及弱音ペダルの作用を停止すること。
- tremando [伊] (トレマンド) tremolando を見よ。
- tremblant [佛] (トランブラン) 振動。tremulant を見よ。
- tremblement [佛] (トランブルマン) trill を見よ。
- trembler [佛] (トランブレエ) 振動する。
- tremendo [伊] (トレメンド) 恐怖に満てる、恐ろしき。
- tremolando [伊] (トレモランド)
- tremolate [伊] (トレモラーテ) } 震動。顫動音。
- tremolo [伊] (トレモロー)
- tremulo [伊] (トレムウロ) }
- tremolant [英] (トレモラント) } オルガンストップの名にして唱歌法の
- tremulant [英] (トレミュラント) } vibrato 及ヴァイオリン奏法の tremo-  
lando の如き顫音を出すに用ふるもの。
- tremore [伊] (トレモレー)
- tremoroso [伊] (トレモロソ) } 顫える。tremolando を見よ。
- trenchmore [英] (トレンチモア) 快活なる、英國の古き舞曲。
- trenodia [伊] (トレノディア) 葬歌。挽歌。
- très [佛] (トレエ) 非常に。極めて。
- très-animé [佛] (トレ・ザニメエ) 非常に急いで。極めて快速に。
- tresca [伊] (トレスカ) 田舎舞曲。
- très fort [佛] (トレ・フォル) 極めて強く。
- très lentement [佛] (トレ・ラントマン) 極めて緩かに。
- Treter [獨] (トレエテル) オルガンの踏板。
- tre volte [伊] (トレ・ヴォルテ) 三拍子。
- triad [英] (トリアド) 根音、三度及び五度よりなる和絃。三和音。
- triangle [英] (トリアングル) 小さい三角形の金屬製のもので、ある一定  
音を出す楽器。
- triangolo [伊] (トリアンゴロー)
- triangulo [西] (トリアングウロ) } triangle と同じ。
- triangulus [羅] (トリアングウルス) }
- trill [英] (トリル) } shake, 顫音、裝飾法中の重要なもので、本音と
- trille [佛] (トリユ) } 裝飾音的の補助音を交る代る頗る早く奏する
- Triller [獨] (トリレル) } ものである。その兩者の音程は半音或は一音で
- trillo [伊] (トリロ) } ある。略號は tr と書く；普通 trill の結尾は圓


音 (turn) で、而して本音に入る。

書法 

奏法 

或は

書法 

奏法 

準備音 (Schleifer) 

ある trill の場合。 



trill は最初を頗る緩く次第に早く stringendo にするときは、最も効果がある。

早き曲の trill は連音 note と同じ様に奏する。



Trillerkette [獨] (トリッレル・ケッテ) 顫音の連鎖及連。 [伊] catena di trilli

trillern [獨] (トリルレルン) 顫音又は顫聲を出す。震はす。

trillette [佛] (トリエット)

trilletta [伊] (トリルレッタ) } 短い顫音又は顫聲。

trillette [伊] (トリレット)

trilli [伊] (トリアリリ) trill の複数。

Trinkgesang [獨] (トリンク・ゲザンク) } 酒宴歌。

Trinklied [獨] (トリンク・リード)

trino [西] (トリノ) trill に同じ。

trinona [英] (トリノナ) オルガンストップの名。

trio [伊] (トリア) 三部合唱又は三部合奏。又は minuet 形式に於ける第二樂部をも謂ふ。一樂曲の中に於て對照的に二つの minuet を置くのが十七八世紀時代に行はれた樂風であつた。第二の minuet は三聲部にて奏されたので trio と云ふ名が出たのである。それが現代ではそれが三部の合奏であることも trio と呼ばれる所以である。trio は一般に cantabile の性質で march や waltz, gavot, minuet 等に現れる。

Triole [獨] (トリアーレ) } 三連譜。

triolet [佛] (トリアレユ)

trionphale [佛] (トリアンファル) } 凱旋の。

trionfale [伊] (トリアンファレ)

trionphant [佛] (トリアンファン) } 凱旋の。

trionfante [伊] (トリアンファンテ)

tripartite [英] (トリバアタイト) 三部に分けたる。三部に分けられたる樂曲を tripartite されたと云ふ。

triphony [英] (トリフォニイ) 三音が一和絃に關ゆるもの。

triple [英] (トリプル) 高音。三倍。

triple counterpoint [英] (トリプル・カウンタポイント) 三聲對位法。counterpoint を見よ。

triple croche [佛] (トリプル・クロージュ) 三十二分音符。

triple dotted note [英] (トリプル・ドット・ノート) 三重附點音符。三個の附點がついてその音符の長さが 7-8 増すもの。

triple dotted rest [英] (トリプル・ドット・レスト) 三重附點休止符。前項を見よ。

triple octave [英] (トリプル・オクテヴ) tridiapason; 三オクテヴ。

triolet [英] (トリプレット) 三連符。

triple time [英] (トリプル・タイム) 三拍子。

triplice [伊] (トリプライチェ) triple 及 treble に同じ。

triplum [獨] (トリプルム) 高音部又は最高聲部の古名。treble の語源。

trisemitonium [羅] (トリセミトニウム) 短三音。

tristezza [伊] (トリステツツア) 沈鬱。悲哀。[佛] tristesse (トリステス)

- triton [佛] (トリトン) } 長三音関係。増四度関係。和聲の各聲部の進  
 tritone [英] (トリトーン) } 行中増四度の関係を生ずることは嚴格なる  
 tritone [伊] (トリトーン) } 和聲學及嚴格對位法に於ては禁制せられて  
 tritonus [羅] (トリトヌス) } ある。往時は Diabolus in Musica と謂つた  
 triumphend [獨] (トリウムフイレント) 凱旋的の。  
 Triumphlied [獨] (トリウムフリード) 凱旋の歌。  
 trochee [英] (トロキエー) 詩の長短脚。 — )  
 trois [佛] (トルワ) 三。 a trois 三聲部の。  
 tromba [伊] (トロムバ) trumpet に同じ。 8 foot reed organ stop  
 tromba di basso [伊] (トロムバ・ディ・バツ) bass trumpet  
 trombare [伊] (トロムバール) トランペットを奏すること。  
 tromba sorde [伊] (トロムバ・ソルテ) 弱音器をつけた trumpet  
 trombetta [伊] (トロムベッタ) 小さい trumpet  
 trombone [英] [佛] (トロムボーン) [獨] Posaune [伊] trombono; 低音管  
 樂器、二種あり。鍵を以つて音階を出すものを valve trombone と云ひ音  
 管を縮伸するものを slide trombone と云ふ。 alto tenor bass の三種あり。  
 各音域は巻尾を見よ。  
 tromboni [伊] (トロムボニ) 同上。「複數」。  
 Trommel [獨] (トロムメル) 軍隊の大鼓。  
 Trommelboden [獨] (トロムメル・ボデー) 太鼓の面。  
 Trommler [獨] (トロムレル) 鼓手。  
 Trommelkasten [獨] (トロムメル・カステン) 太鼓の胴。  
 Trommelklopfel [獨] (トロムメルクロツフェル) } 太鼓の撥。  
 Trommelschlagel [獨] (トロムメルシュラゲル) }  
 Trommelschläger [獨] (トロムメル・シュラゲル) 鼓手。  
 trommeln [獨] (トロムメルン) 太鼓を叩く。  
 trompe [佛] (トロンプ) trumpet に同じ。  
 Trompette [獨] (トロムベエテ) trumpet に同じ。  
 Trompetenregister [獨] (トロムペーテンレジスタール) } trumpet 即ちオル  
 Trompetenzug [獨] (トロムペーテンツウグ) } ガンのフトップ。  
 Trompeter [獨] (トロムペーテル) } トロンベツト奏者。  
 trompetteur [佛] (トロムベートル) }  
 trompette [佛] (トロムベツト) trumpet 又は トロンベツト奏。オルガン  
 のフトップの名。  
 trompette à pistons [佛] (トロムベツト・ア・ピストン) valve-trumpet に同じ。  
 trompette harmonique [佛] (トロムベツト・アルモニク) オルガンフ  
 トップの名。  
 trompette marine [佛] (トロムベツト・マリヌ) trumpet-marine を見よ。  
 trompette parlante [佛] (トロムベツト・パルラント) 送話用 trumpet

- tronco [伊] (トロンコ) 音を断切する指示。  
 troop [英] (トループ) 速い拍子の進行曲。  
 troppo [伊] (トロッポ) 非常に。 non troppo 餘り甚しくなく。  
 troubadour [佛] (トルウバドウル) } 運歴樂人。二十世紀頃フランスのブ  
 trouvères [佛] (トルウヴェール) } ロヴァンス北フランスを歴巡せし樂人  
 trouveurs [佛] (トルウヴェール) }  
 trovatore [伊] (トロヴァトーレ) 同上。  
 trüb [獨] (トリープ) 悲哀に。 悲しみて。  
 Trugschluss [獨] (トルウグ・シュルウス) 中間靜止又は詐欺靜止。屬和絃  
 の變則の中途の解決。 deceptive cadence  
 Trugkadenz [獨] (トルウグ・カテンツ) 欺偽靜止。  
 trump [英] (トラムプ) trumpet 又はトラムベツト奏手。  
 trumpet [英] (トラムベツト) [伊] tromba [佛] trompette [獨] Trompette  
 長い細い管と淺い鉢のある眞鍮吹奏樂器。アメリカのオーケストラには  
 トラムベツトの代りにコルネットがよく使用される。然しコルネットとは  
 全然音色を異にするものである。音域は巻尾を見よ。  
 trumpet harmonical [英] (トラムベツト・ハアモニカル) 樂器の一種でト  
 ラムベツトと類似せる音を有す。  
 trumpet-marine [英] (トラムベツト・マリーン) トロムベツトと類似せる音  
 を發する樂弓を使用する一絃器種の古代樂器。trumpet と全然相違す。  
 trumpet stop [英] (トラムベツト・ストップ) トロムベツトと同類の音を發す  
 るオルガンストップ。  
 T. S. Tasto solo の略字。  
 tuba [羅] (テウバ) 1. 最低音サタスホーン。tuba には高低各種の音域の異類  
 ありりて最低音を contra bass (絃樂器ではない) と稱す。この樂器は有鍵  
 であつて、移調樂器ではない。これは獨逸のバンド指揮者の Wiprecht  
 氏の發明せるものである。2. 古代ローマで用ゐた眞直のラツペ。3.  
 ルガンストップ。低音の風壓頗る強きもの。  
 tuba clarion [羅] (テウバ・クラリオン) tuba 種の 4 foot ストップ。  
 tuba mirabilis [羅] (テウバ・ミラビリス) William Hill の發明せる 8 foot  
 organ stop であつて Birmingham Town Hall のオルガンに最初裝置した  
 tubular instruments [英] (テウブラ・インストルウメント) 木又は金屬  
 性の眞直又は彎曲せる管樂器の總稱。管樂器。  
 tuyau d'orgue [佛] (トイオー・ドルグ) Tuyau d'orgue に同じ。  
 tumultuoso [伊] (トゥムウルトウオゾ) 騒々しき。混亂せる。  
 tune [英] (テュン) 節。曲。旋律。  
 tuning fork [英] (テュニング・フォーク) 音叉。樂器の音を合せるに用ふる  
 金屬製の物でそれをばちくき一定の標準音を發する。  
 tuning hammer [英] (テュニング・ハンマー) ハアプシコードやピアノ調

律師の使用する眞鍮又は鐵の道具にて、絃線をしめるもの。

tuning key [英] (テュウニング・キー) 同上。

tuning slide [英] (テュウニング・スライド) 1. 基音を知る爲めの機械。C から C' までの間に十三半音を出す。2. trombone の挿管。

tuoni ecclesiastici [伊] (トゥニ・エクレジヤスティチ) 教會旋法、讚美歌。

tuono mezzo [伊] (メウノ・メツォ) 半音。

turbæ [羅] (トゥルベ) 受難歌劇中の合唱。「群集」といふ意味。

turca [伊] (トゥルカ)

turchesco [伊] (トゥルケスコ) } トルコの。トルコ風の。alla turca トル

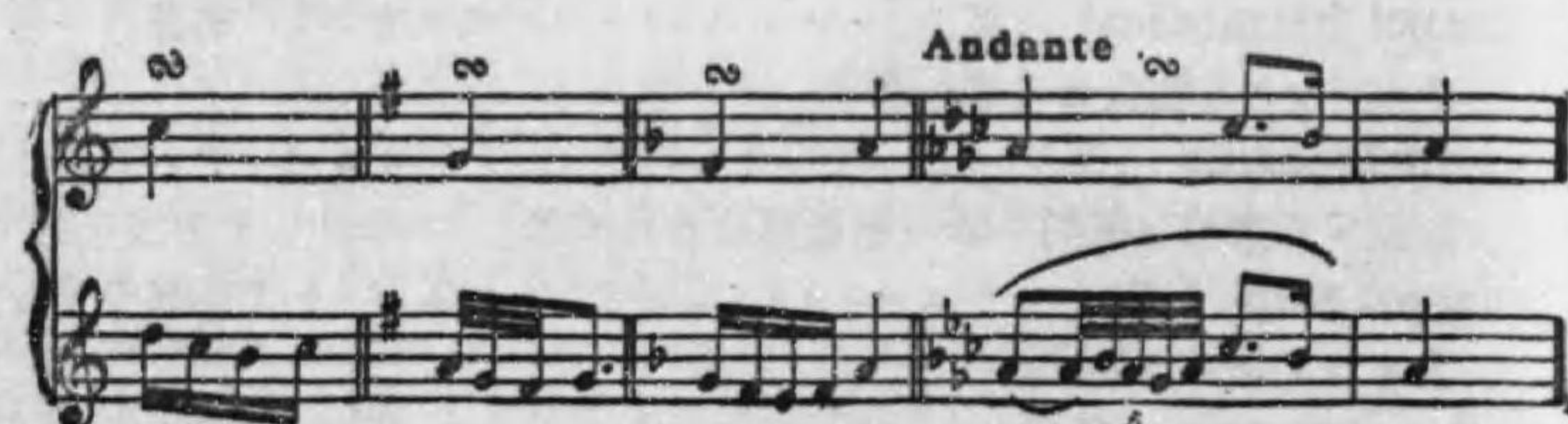
tuoco [伊] (トゥルコ) } コ音楽風の。

turkisch [獨] (トルキッシュ) 同上。

turkish-music [英] (ターキッシュ・ミュージック) Janitscharen-musik を見よ。

turn [英] (ターン) 回音、裝飾音中で最も重要なものの一である。即ち「主音の周圍を旋回する集音」といふ意味である。[伊] gruppetto; [獨] Doppelschlag; [佛] groupe 略號 ~

1. 普通の turn



2. 反對の回音、轉回の回音 inverted turn



3. 複音の回音 double turn. 4. 裝飾回音 graced turn.



Tusch [獨] (トゥシュ) トラムベツト及太鼓の急奏。三拍子的吹奏。

Tuthorn [獨] (トゥトホルン) 牛飼の角笛。

tutta [伊] (トゥッタ) } 全て。全部。全く。

tutto [伊] (トゥット) }

tutta forza [伊] (トゥッタ・フォルツァ) } 極端に強く。出来る限りの

tutta la forza [伊] (トゥッタ・ラ・フォルツァ) } 音量と力とを持つて。

tutte [伊] (トゥッテ) }

tutti [伊] (トゥッティ) } 全合唱。全合奏。

tutte corde [伊] (トゥッテ・コルデ) 全絃にて。ピアノ曲に於てはソフトペダルの使用を停止することを意味す。

tutti unisoni [伊] (トゥッテ・ウニゾーニ) 全部齊音にて。

tutto arco [伊] (トゥット・アルコ) 全弓にて。

tuyau d'orgue [佛] (トイヨウ・ドルケ) オルガンの音管。

twelfth [英] (トゥエルフス) 十二度。オクターヴと完全五度とを併せた音程。

調音より十二音高くしてあるオルガンストップ。

two-step [英] (トゥ・ステップ) 二拍子の舞踏曲。polka の類。

twenty second [英] (トゥエンティ・セコンド) 三 octaves

tymbale [英] (タイムバル) timbale に同じ。

tympani [伊] (タイムパアニ) 太鼓。

tympano [伊] (タイムパアノ) timpani に同じ。

tympanon [伊] (ティンパノン) dulcimer を見よ。

tpmpanum [羅] (タイムパヌム) timbrel, tabor に同じ。又太鼓の古名。

tyrolienne [佛] (テロリアンス) オーストリアの北方 Tyrol 地方の歌及舞曲。Jodel ある樂曲。3-4 拍子の輪舞曲。

- u [略] und (ウント) [獨]「及び」。
- über [獨] (ユーベル) ……の上に, ……しすぎる, überblasen (ユーベルブラゼン) 吹奏が強すぎる, übereilt (ユーベライルト) 急ぎすぎる, übergehend (ユーベルゲーエント) 前の, 先の, übermäßig (ユーベルメツシヒ) 増音程の, übermütig (ユーベルミュウティツヒ) 過激な, überschlagen (ユーベルシュラゲン) 手を交差して弾く, überstimmen (ユウベルステインメン) 少し高く調率する, überstürzt (ユーベルステュルツト) 急いで。
- Übung [獨] (ユウブング) 練習, Übungsstück (ユウブングス・ステュツク) 練習曲。
- U. C. [略] una corda
- udito [伊] (ウディトオ) 聴覚。
- uguale [伊] (ウガアレ) 平均に, 同等に, ugualianza (ウガリアンツァ) uguaglianza (ウガリアンツァ) 平均, 均等, 同等, ugualmente (ウガルメンテ) 平均に, 同等に。
- ultima, o [伊] (ウルティマ, ウルティモ) 最後の, volta ultima 最後の回に。
- umana, o [伊] (ウマアナ, ウマアノ) 人の, 人聲の, voce umana (ヴォチュエウマアナ) vox humana に同じ, organ の stop の名。
- Umfang [獨] (ウムファンク) 音域, 聲域。
- umkehrt [獨] (ウムケェルト) 轉回したる, 下向の。
- unheimlich [獨] (ウンハイムリッヒ) 陰鬱に, 不安に, 落付かずに。
- Umkehrung [獨] (ウムケェルンク) 轉回。
- umore [伊] (ウモアレ) 諧謔, 温味, 雅致, umoristico (ウモリスティコ) 諧謔的氣分にて, 愉快に。
- umschlagen [獨] (ウムシュラゲン) 聲が割れる, 吹奏が強過ぎる, 吹き過ぎてギイギイいぼせる。
- umstellen [獨] (ウムシュテルレン) Umstellung (ウムシュテルンク) 轉回。
- Umstimmung [獨] (ウムシュティンムンク) scordatura, 樂器の特定調率, drum 或は double bass の第四弦を特殊に調率すること。
- un, una, uno [伊] (ウン, ウナ, ウノ) ((冠詞))一。
- unbedeckt [獨] (ウンベテックト) 放管 (organ の)。
- unca [羅] (ウンカ) 八分音符。
- und [獨] (ウント) 及び。
- undecima [羅] [伊] (ウンデチマ) 十一度音程, 八度と四度とを併せた音程。 [獨] Undizime (ウンデツィメ)
- undecimole [伊] (ウンデチモウレ) 十一連音, (英) undecuplet (アンテクアップレット) 同上。
- under study [英] (アンダスタディ) 代役, 主役が事故のあるとき代理す

る爲めに練習して置く人。

- undulazione [伊] (ウンドラツィオネ) 絃樂器の vibrato
- unendlich [獨] (ウンエントリツヒ) 無限の。
- unessential note [英] (アンエツセンシャルノット) 和絃の本体にあらずる音, 経過音, 補助音, 裝飾音など。
- Ungarisch [獨] (ウングアリッシュ) ハンガリイ風, ハンガリイの。
- ungebunden [獨] (ウングブンデン) 1. 拘束なき, 2. 結音帯なき。
- ungeduldig [獨] (ウングドルティツヒ) 急躁に。
- ungefähr [獨] (ウングフェール) 殆ど, 凡そ。
- ungestüm [獨] (ウングステュム) 劇しく, 荒々しく。
- ungleich [獨] (ウングライヒ) 平均ならざる。
- unharmonisch [獨] (ウンハルモニッシュ) 不協の, 和聲的にあらずる, 錯誤關係の。
- unichord [英] (ユニコオド) monochord に同じ, 一絃琴。
- unison [英] (ユニゾン) 齊音, 齊唱, 多數聲部を以て同一音を奏すること。 [伊] unisono (ウニゾノ), all' unisono (アル・——) 齊音にて。
- unito [伊] (ユニイト) 共に, 接合して, 同音に, unitamente (ウニタメンテ) 同上。
- unmerklich [獨] (ウンメルクリッヒ) 1. 目に立たぬほどに, 僅かに, 少許り 2. 次第に, 段々に。
- uno [伊] (ウノ) 一; uno a uno 一つ一つ, 一つ宛, 段々に。
- un peu [佛] (アン・ピユウ) 少し, 少許り, 僅かに, un peu moin (——モヤン) 少し……せぬ, un peu moin vite 少し早くせぬ, (即ち少く遅くする)
- un poco [伊] (ウン・ポコ) } 少し, 僅か, poco に同じ。 [佛] un peu.
- un po' [伊] (ウン・ポ) }
- un poco meno [伊] (ウン・ポコ・メノ) poco meno と同じ, 少し……せぬ [佛] un peu moins
- unrein [獨] (ウンライン) 不完全なる, 誤の, 調子外れの, 不協の。
- unruhig [獨] (ウンルウイッヒ) 落着かぬ, 焦立つて。
- unschuldig [獨] (ウンシュルディツヒ) 無邪氣に。
- unsingbar [獨] (ウンジングバル) 旋律的でなき事, 歌ひ得ざる。
- unter [獨] (ウンテル) 下の, 下に, unter der Stimme (ウンテル・アル・シュティンメ) sotto voce; Unterdominant (ウンテル・ドミナント) subdominant に同じ, 四度; Untermediant (ウンテルメディアント) submediant, 六度; Unterhalbton (ウンテルハルプトーン) 導音, Unterleitton (ウンテルライトトオン) 五度の七の調の導音。
- unverziert [獨] (ウンフェルツィールト) 裝飾なき。
- unvocal [英] (アンヴォーカル) 歌ひ得ざる。
- unvollkommen [獨] (ウンフォルコンメン) 不完全の。



uomo [伊] (オーモ) 人, primo uomo (プリモ・オーモ) 歌劇の男主演, 即ち tenor

up-beat [英] (アップ・ビート) 上拍, 拍外, [獨] Auftakt (アウフタクト)

up-bow [英] (アップ・ボウ) 上弓, 昇弓。

upper partial [英] (アップ・パルシャル) 陪伴音, harmonics を見よ。

upright piano [英] (アップライト・ピアノ) 立形ピアノ, 堅臺ピアノ。

ursprünglich [獨] (ウルスプルンクリッヒ) 原作では, 原作の original.

u. s. f. [獨] und so fort (ウント・ゾ・フォルト) simile に同じ, 同様に。

ut [羅] (ウト) 1. Guido の階名の第一, 即ち do のことである。2. フランスでは C のことを指している。3. 「の如く」 ut sopra 上の如く。

## V

V [略] violino, volta, voce; Va [略] viola, Vc [略] violoncello Vv. [略] violini

va [伊] (ヴァ) ……を続けよ, 續けて……せよ, va crescendo (cresc. なつづけよ)

vaceto [伊] (ヴァチェト) 早く。

vacillando [伊] (ヴァチランド) } 波音を作りて, 絃楽器にては vibrato に

vacillante [伊] (ヴァチランテ) } (佛) vacillant (ヴァシラン)

vaghezza [伊] (ヴァゲツア) 典雅, 艶麗。

vago [伊] (ヴァゴ) 漠として, 夢の如く, 麗げに。

valce [伊] (ヴァルチェ) waltz

valeur [佛] (ヴァリュール) } 1. 大膽に。 2. 時長(音符の長さの價値)

valore [伊] (ヴァロレ) }

valse [佛] (ヴァルス) 三拍子舞曲, waltz を見よ, valse à deux temp (ヴァルス・ア・デュ・タン) 二拍子のワルスといふのは早い速度のワルスで, 各小節に二歩調をとるもの, valse de salon (—ド・サロン) 社交的ワルス, 或はワルス風の室内樂。

value [英] (ヴァリュウ) 價値(即ち音符の時長の)。

valve [英] (ヴァルヴ) 眞鍮樂器の管長を長く或は短かく調節する機械をいふ。即ち弁を以て風管をふさいで, 管長を短かくするのである。是を普通 piston (ピストン) といふのは, 英佛に於て此の作用を上下運動のピストンによつて爲さしめてゐるからである。ピストンは普通は三個であるが, 低音樂器には四個あるものがある。ドイツやイタリイではピストン装置でなく, 轉回作用の鍵の装置になつた樂器を用ゐてゐる方が多い, [獨] Ventil (ヴェンティール) [佛] piston (ピストン), [伊] valvola (ヴァルヴォーラ) pistone (ピストネ)

vamp [英] (ヴァンプ) 伴奏部の準備的前奏。[英] till ready (ティル・レディー)

vaporeux [佛] (ヴァポリュウ) 軽く, 爽かに。

variamente [伊] (ヴァリヤメンテ) 色々の弾き方で。

variante [伊] (ヴァリヤンテ) 或は他の弾き方で, 或は他方の譜の様に, [佛] variante (ヴァリアント)

variamento [伊] (ヴァリアメント) 1. 變化多く, 變奏的に, 2. 變奏曲。

variation [英] (ヴァリエーション) 變奏曲, 主題に裝飾的編曲を爲したる樂曲。[獨] Variation (ヴァリアティオン), [佛] variation (ヴァリアション), [伊] variazione (ヴァリアツィオーネ)。

variato [伊] (ヴァリアト) 變奏曲風に, 變奏を以て, [佛] varié (ヴァリエ)

varieren [獨] (ヴァリレン) 變奏曲にする。

- varsoviana [伊] (ヴァルソヴィアナ) ワルサウ舞曲, 3-4 拍子 (moderato) の舞曲で, 二小節毎にその弱聲部に強聲のあるもの。
- vaudeville [佛] (ヴォドヴィユ) 對話所作流行歌舞踊等を交へた喜歌劇。
- vaut [佛] (ヴォオ) ……に均し, La A vaut la B (A は B に均し)
- Vc: Vello [略] violoncello
- veemente [伊] (ヴェエメンテ) 狂熱的, con veemenzza (コン・ヴェエメンツァ) 狂熱を以て。
- veiled voice [英] (ヴェイルド・ヴォイス) 曇りたる聲, [佛], voix sombrée (ヴォワ・ソンブレエ) 同上。聲唱法上にて此の聲を必要とする場合がある。
- velata [伊] (ヴェラタ) 曇りたる, veiled
- vellutato [伊] (ヴェルタット) ピロードの如き, 滑かなる。
- veloce [伊] (ヴェロオチェ) 爽快に, 快速に, velocemente (ヴェロオチェメンテ) con velocità (コン・ヴェロオチタ) 同上。velocissimo (ヴェロチッシモ) 頗る快速に。
- velouté [佛] (ヴルウテ) velutato に同じ, 滑かに。
- veneziana [伊] (ヴェネツィアーナ) ヴェニス。
- ventage [英] (ヴェンテエジ) 笛類の押へ穴。[獨] Tonloch (トーン・ロッフ)
- ventil [英] (ヴェンティル) 1. valve に同じ。2. organ の音栓の結合されてゐる装置, [獨] Ventilhorn (ヴェンティル・ホルン) 有鍵ホルン, Ventilposaune (ヴェンティルホザウネ) 有鍵トロンボーン, [伊] ventile (ヴェンティレ) valve
- venusto [伊] (ヴェヌストオ) 高尚な, 優雅な。
- vêpres [佛] (ヴェプル) 夕の歌, vespers
- Veränderung [獨] (フェルエンデルンク) 變化, 變奏曲。
- verbindung [獨] (フェルビンドゥンク) 結合, slur, Verbindungszeichen (フェルビンドゥンクス・ツァイヘン) slur 記號, 結音帶。
- verdeckt [獨] (フェルデックト) 隠伏の。
- verdoppelt [獨] (フェルドッペルト) 重複して, Verdoppelung (フェルドッペルンク) 重複。
- Verengung [獨] (フェルエンゲンク) 短縮 (音符の時長の)
- vergellen [獨] (フェルゲレン) 次第に弱く, 次第に小さく。
- vergette [伊] (ヴェルジェツテ) 符尾, 或は verghetta (ヴェルゲッタ)
- vergnügt [獨] (フェルグニユク) 喜ばしげに。
- Vergrößerung [獨] (フェルグ्रेसルンク) 延大法, fugue などにて主題の各音を延大すること。
- verhallend [獨] (フェルハルレント) 次第に消失する, morendo
- verilay [英] (ヴェリレイ) vaudeville に同じ, [佛] virelai (ヴィルレイ)
- verismo [伊] (ヴェリスモ) 現實派, 自然派。
- veristisch [獨] (ヴェリステイツシュ) 自然描寫に。

- Verkehrung [獨] (フェルケルンク) 轉回換徵法 (fuga 作法上の語)
- Verkleinerung [獨] (フェルクライヌンク) 主題短小法 (fuga にて主題の各音を短小して再現せしむること)
- verklingend [獨] (フェルクリンゲント) 次第に弱く, 次第に聞こえぬ様に。
- Verkürzung [獨] (フェルキュルツンク) 結合部, 積疊部。stretto
- Verlängerungszeichen [獨] (フェルレンゲルンクス・ツァイヘン) 附點。
- Verlauf [獨] (フェルラウフ) 進行。
- verliebt [獨] (フェルリイブト) 柔かく, 優しく。
- verlierend [獨] (フェルリイレント)
- verlöschend [獨] (フェルレシエント) } 次第に消失する。
- vermindert [獨] (フェルミンデルト) 減音程の, verminderte Dreiklang (フェルミンデルテ・ドライクラング) 減和絃, verminderte Terz (——・テルツ) 減三度。
- Vermittlungssatz [獨] (フェルミッテルンクス・ザッツ) 中間樂章, 挿入曲, 對照曲, episode
- vernehmlich [獨] (フェルネムリッヒ) 明白に, 明瞭に。
- Vers [獨] (フェルス) } 詩句。
- verse [英] (ヴァース) }
- verschallen [獨] (フェルシヤルレン) 音を消す。
- Verschiebung [獨] (フェルシフンク) 弱音ペダル, mit —— (弱音ペダルを用ふるよ)
- verschieden [獨] (フェルシイデン) 數聲部の。
- verschwindend [獨] (フェルシュウィンデント) 次第に弱く, 次第に消ゆる様に。
- verset [英] (ヴァアセット)
- Versette [獨] (フェルセット) } 1. 詩句。2. organ の小前奏曲或は間奏曲。
- versetto [伊] (ヴェルセットオ) }
- versetzen [獨] (フェルセツゼン) 移調する, Versetzung (フェルセツツンク) 移調。
- versicle [英] (ヴァシクル) 詩句, 會衆と掛け合ひにて唱誦する聖句。
- versilare [伊] (ヴェルシラレ) 詩句を對唱する。
- versi sciolti [伊] (ヴェルシ・シヨルティ) 無韻詩。verso sciolto [單]
- verso [伊] (ヴェルソ) 1. 詩句。2. 旋律, 小謠 [複] versi
- Verspätung [獨] (フェルスペエトゥンク) 速度を遅くすること, ritardando
- verstärkt [獨] (フェルステルクト) sforzando
- verstinmen [獨] (フェルスティンメン) 調子を外ぶす。
- verte [羅] (ヴェルテ) }
- vertatur [羅] (ヴェルタトル) } 1. 譜面をめぐれ。2. 回数。

vertical slur [英] (ヴァティカル・スラア) 縦の slur  
即ち arpeggio の古式の記號法。



- verträumt [獨] (フェルトロイムト) 夢心地にて, 幻想的に, 柔かく甘く。  
 verve [佛] (ヴェルヴ) 元氣, 力, 快活。  
 verwandt [獨] (フェルワント) 關係の, 關係調の。  
 Verwechslung [獨] (フェルウエクセルンク) 變換, change  
 verweilend [獨] (フェルワイレント) 次第に遅く, 次第に弱く。  
 Verwerfung [獨] (フェルウエルフンク) 移調。  
 verziert [獨] (フェルツィールト) 裝飾の, 裝飾音の。  
 Verzierung [獨] (フィルツィイルンク) 飾裝, 飾裝音, Verzierungszeichen  
(フェルツィイルンクス・ツァイヘン) 裝飾記號。  
 Verzögerung [獨] (フェルツエゲルンク) 遅緩, 次第に遅くすること。  
 verzweifelt [獨] (フェルツワイフェルト) 失望して, 力なく。  
 vespers [英] (ヴェスパス) 夕の聖歌。[伊] vespero (ヴェスベロ)  
 vezzoso [伊] (ヴェツツォーゾ) 優雅に, 麗麗に, vezzosamente (ヴェツツォ  
メンテ) 同上。  
 via [伊] (ヴィア) 去れ, via sordino 弱音器をはづせ。  
 vibrante [伊] (ヴィブランテ) }  
 vibrate [伊] (ヴィブラテ) } 波音を以て, vibrato にて。  
 vibration [英] (ヴァブレション) 振動, [佛] vibration (ヴィブラション)  
[伊] vibrazione (ヴィブラツィオーネ)  
 vibrato [伊] (ヴィブラト) 絃楽器にて絃上を押へて指をふるはせて絃の音  
を波動せしめる事, 波音, 聲樂に於ても同様の効果をさせる事を謂ふ。  
又た或る時は sforzando と同じ意味に用ゐる事もある。  
 vibrator [英] (ヴァイブレタア) 振動辨, 開放辨, free reed (organ や  
harmonium の)  
 vicenda [伊] (ヴィチェンダ) 變換, vicendevole (ヴィチェンデヴォーレ) 變  
換すべき, 孰れにてもよき。  
 vicino [伊] (ヴィチノ) 近隣, 近側。  
 vide [佛] (ヴィド) }  
 vido [伊] (ヴィド) } 開放の, 自由の, 押へざる。  
 vide [羅] (ヴィデ) 見よ, ……を見よ。  
 Videl [獨] (フィデル) fiddle, ヴァイオリンのこぞ。  
 viel [獨] (フィール) 非常に, 更に, 甚だ, 多数の。  
 vielle [佛] (ヴィイエ) }  
 viella [伊] (ヴィエラ) } 1. hurdy-gurdy 2. viol  
 vier [獨] (フィール) 四つ, 四, 四つの, viersaitig (フィールザイティツヒ)

- 四絃の, vierstimmig (フィールスティンミツヒ) 四聲の。  
 Viertel [獨] (フィールテル) 四分の一, Viertelnote (—●ノオテ) 四分  
音符, —pause (—●パウゼ) 四分休止, Viervierteltakt (フィールフィ  
ールテルタクト) 4/4 拍子, Vierzweiteltakt (フィールツワイテルタクト)  
4/2 拍子, Vierte (フィールテ) 第四, 第四度, 四度。  
 vierzehn [獨] (フィールツェーン) 十四の; 十四, Vierzehnte (フィールツェ  
ーント) 第十四, 第十四度, 十四度。  
 vietato [伊] (ヴィエタト) 禁止の, 禁制の, intervalli vietati 禁制の音程。  
 vif [佛] (ヴィフ) 活活として, 活潑に, 快活に, 或は vive (ヴィヴ)  
 vigorosamente [伊] (ヴィゴロザメンテ) 力強く, 荒く, 勇猛に, vigoroso  
(ヴィゴロゾ) con vigore (コン・ヴィゴオレ) 同上, [佛] vigueur (ヴィ  
ギユール) 力, 努力, avec vigueur (アヴェツク・ヴィギユール) vigoroso に同じ  
 villageois [佛] (ヴィラジヨ) 田園的の。  
 villanciso [西] (ヴィランチソ) }  
 villancio [西] (ヴィランチョ) } スペインの教會の禮拜の讃歌。  
 villanella [伊] (ヴィラネラ) } madrigal 風の歌曲, 十六世紀のイタリイに  
 villanelle [佛] (ヴィラネ) } ありし民謡。  
 villanesco [伊] (ヴィラネスコ) }  
 villareccio [伊] (ヴィラレッチョ) } 田園的。  
 villota [伊] (ヴィロタ) ヴェニス民謡。  
 vilotte [伊] (ヴィロツテ) 中世の俗謡歌。  
 vina [原] (ヴィナ) 古代印度の絃楽器。  
 vinata [伊] (ヴィナタ) 酒宴歌, 酒造歌, [伊] vinetta (ヴィネッタ), [獨]  
Vinette (フィネッタ)  
 viol [英] (ヴァイオル) 古代よりあつた絃楽器で, 絃數は五乃至八絃で, 後に  
四絃の violin が作られたものである。[獨] Violen (ヴィオーレ), [佛]  
viol (ヴィオル), [伊] viola (ヴィオーラ) 音域によつて四種の大小高低が  
ある。1. viola alta (d, g, e', a', d''); (2) viola tenore (G, c, f, a, d',  
g'); (3) viola bassa (D, G, c, e, a, d') (4) violone [1 (3) の八音低に調  
率する。  
 viola [伊] (ヴィオーラ) 1. violin の大形のもの, c, g, d, a' の如く調率する。  
2. 古代樂器の viol のこと (viol の項参照)  
 viola da braccio (—ダ・ブラッチョ) 「腕の viol  
の意味, 現今の viola で, ドイツでは Bratsche  
(ブラツチェ) といふ, viola da gamba (—ダ・  
ガンバ) 「脚の viola」の意味で現今の violoncello に相當する。viola  
d'amore (—ダモオレ) 六絃或は七絃で柔かい音色のものである近世の  
始めまで存してゐた, [佛] viola d'amour (—ダムウル)。viola di



bordone (—・ダイ・ホルド・オネ) 'cello に似たる七絃楽器; viola pomposa (—・ボン・ホ・オサ) 五絃のもので cello と viola との間の音域のもの Bach が作った楽器である。

**violent** [佛] (ヴィオラン) 荒々しく, 勢強く。

**violentemente** [伊] (ヴィオレンテメンテ) 荒々しく, 勢強く, **violento** (ヴィオレント・オ) con violenza (コン・ヴィオレンツァ) 同上。

**violet** [英] (ヴァイオレット) viola d'amore に同じ。

**violetta** [伊] (ヴィオレッタ) 小型の viol [佛] violette (ヴィオレット)

**violin** [英] (ヴァイオリン) 最も代表的な絃楽器で四絃の擦絃楽器である。  
[獨] Violine (ヴィオリネ), [佛] violon (ヴィオロン), [伊] violino (ヴィオリノ)

violin の起原は或はアラビヤといひ, 或は英國といふ, いづれにしても十字軍の後東洋の擦絃楽器が西洋に紹介されたときに, 以前から西洋にあった crowth と長短相補つて rebec といふものとなつて現はれたものと見るのが一番妥當である。十七世紀になつてイタリイのクレモナに製作の名匠が輩出して violin 屬の楽器は早くも完成の域に達したのである。

**violin clef** (ヴァイオリン・クレフ) G の高音部記號, [獨] Violinzeichen (ヴァイオリンツァイヘン), French violin clef (G が第一線上にあるもの), violina [羅] (ヴィイオリイナ) organ の絃樂器的音色のストップの名。



**violinata** [伊] (ヴィオリナタ) 1. violin の爲めの曲。 2. ヴァイオリンの音色を模した楽曲。

**violincello** [伊] (ヴィオリンチェロ) violoncello の音風の綴字。

**violinette** [英] (ヴィオリネット) 小形の violin

**violino** [伊] (ヴィオリノ) violin, violino piccolo (—・ピツコロ) 普通のものより四度宛高い音の violin の小形のもの, violino primo (—・プリモ) 第一 violin, first violin; violino secondo (—・セコンド・オ) 第二 violin, second violin

**violini** [伊] (ヴィオリイニ) violin の複数, violini unisoni (—・ウニゾニ) 多数の violin の響奏。

**Violinschlüssel** [獨] (ヴィオリンシュリュツセル) G 字高音部記號。

**violinist** [英] (ヴァイオリスト) } violin 奏手, [伊] violinista (ヴィオ

**violinist** [英] (ヴァイオリニスト) } リニスタ), [佛] violiniste (ヴィオリニスト) violier (ヴィオリエ)

**violon** [佛] (ヴィオロン) 1. violin に同じ。 2. 絃樂器音色の organ stop 3. Violon [獨] double bass のこと。

**violonar** [佛] (ヴィオロナール) double bass に同じ, [伊] violonaro (ヴィオ

ロナーロ) octo bass に同じ, double bass より更に低き楽器。

**violoncello** [伊] (ヴィオロンチェロ) 略して 'cello (チェロ) といひ, 'cilo と書く。violin 屬の低音部楽器で四絃のものである。調率は viola の octave 低である。十六世紀の後半に始めて作られたものであるといふ。

**violoncellist** [英] (ヴィオロンチェリスト) チェロ奏手。或は 'cellist

**violone** [伊] (ヴィオロオネ) 1. 最低音の viol 2. 絃音の音色の organ stop [伊] violono (ヴィオロオノ) 同上。

**violoniste** [佛] (ヴィオロニスト) violin 奏手。

**virelay** [佛] (ヴィルレイ) vaudeville に同じ。

**virga** [羅] (ヴィルガ) neuma 音譜記號のうちの一。

**Virgil practice clavier** [英] (ヴァアジル・プラクティス・クラヴィーア) Virgil の創製した練習用無言ピアノ。

**virginal** [英] (ヴァアツナル) 小形の harpsichord 中世の有鍵絃樂器。

**virtuoso** [英] (ヴァチュオーソ) 演奏大家, 演奏家にて之を職業とせる達人; virtusosity 楽匠たること, 人家氣質, 大家生活。

**vis à vis** [佛] (ヴィ・ザ・ヴィ) 二列の鍵盤が對向的になつてゐる harpsichord

**vista** [伊] (ヴィスタ) 視ること. a vista (視讀) a prima vista (ア・プリマ・—) 視奏にて。

**vistamente** [伊] (ヴィスタメンテ) 快速に, visto (ヴィスト・オ) 同上。

**vitamente** [伊] (ヴィタメンテ) 快活に, 迅速に, [佛] vite (ヴィト) vitement (ヴィトマン) vitesse (ヴィテッス) 同上。

**vitula** [羅] (ヴィトゥラ) viol に同じ。

**vivace** [伊] (ヴィヴァアチェ) 快速に, 元氣よく, allegro より早く, vivacemete (ヴィヴァアチェメンテ) vivamente (ヴィヴァメンテ) con vivacezza (コン・ヴィヴァアチェツツァ) con vivacita (コン・ヴィヴァアチタ) 同上。vivacissimo (ヴィヴァアチッシモ) vivacissamente (ヴィヴァアチッサメンテ) 頗る vivace に, vivacetto (ヴィヴァアチツト・オ) やゝ vivace に, vivace ほど早くなく。

**vive** [佛] (ヴィヴ) } 快活に, 元氣に, 元氣に, [伊] con vivezza

**vivente** [伊] (ヴィヴェンテ) } (コン・ヴィヴェツァ) 同上, [佛] vivement (ヴィヴマン) vivace に。

**vivo** [伊] (ヴィヴォ) } 元氣に満ちて, 快速に, vivissimo (ヴィヴィッ

**vivido** [伊] (ヴィヴィイド・オ) } シモ) 頗る快速に。

**Vn. vn. Vno. vno.** [略] violino, violin

**vocal** [英] (ヴォーカル) 聲樂の, 聲唱曲の, 歌ふべき, vocal music (—・ミユウジツク) 聲樂, 聲唱曲, vocal cords (—・コオツ) 聲帶, vocal organs (—・オーガンス) 聲門, 發聲機關, vocal score (—・スコア) 聲唱用樂譜, 歌劇脚本。[伊] vocale (ヴォカレ) 聲唱の, vocalezzo (ヴォカレツツ・オ) 聲樂練習。

**vocalion** [英] (ヴォーケリオン) harmonium の一種。

- vocalisation } [英] (ヴォカリゼーション) 母音を延長して歌ふ發音法。  
 vocalization }  
 vocalizzare [伊] (ヴォカリアツアレ) 母音にて歌ふこと。 [佛] vocaliser (ヴォカリアイゼ)  
 voce [伊] (ヴォオチェ) 1. 聲, voice, 2. 聲部, part, [複] voci (ヴォオチ), voce angelica (ヴォチェ・アンヂェリカ) vox angelica に同じ, voce di petto (—・ディ・ペットォ) 胸聲, voce di testa (—・ディ・テスタ) 頭聲, voce umana (—・ウマナ) vox humana に同じ, a due voci (ア・ドゥエ・ヴォチ) 二聲部にて, voce sola (—・ソラ) 獨唱にて, colla voce (コルラ・) メロディに隨伴して, messa di voce (メッサ・ディ・) messa を見よ mezza voce (メツァ・) 半分の音量の聲, sotto voce (ソットォ・) 弱い音にて。  
 Vogel— [獨] (フォオゲル) 鳥, — flöte (フォオゲル・フレテ) 鳥笛, — gesang (—・ゲザング) 鳥音をまねた歌。  
 voglia [伊] (ヴォオリヤ) 憧憬, あこがれ。  
 voice [英] (ヴォイス) 1. 聲, 音聲。 2. 聲樂の部分。 3. 聲部, voice production (—・プロダクション) voice placing (プレエシヅク) 發聲, 發聲法, voice part (—・パート) 1. 聲部。 2. 聲唱の部分。  
 voité [佛] (ヴォワレ) 弱音した聲; 抑音した聲。  
 voix [佛] (ヴォワ) voice に同じ, 聲, 音聲, voix aigre (—・エイグル) 高い音聲, voix angélique (—・ザンヂェリク) vox angelica, voix céleste (—・セレスト) organ stop の名, voix de poitrine (—・ド・ポワトリン) 胸聲, voix humaine (—・ジュメエン) vox humana に同じ, a deux voix (ア・ドゥウ・) 二聲部にて。  
 Vokal [獨] (ヴォカアル) 聲樂の, 聲樂, Vokalmusik (—・ムジク) 聲樂, — still (—・スタイル) alla cappella  
 volante [伊] (ヴォランテ) 快速に, 輕妙に。  
 volata [伊] (ヴォラタ)  
 volatina [伊] (ヴォラティナ) } 樂曲中の細かい快走的部分, trillo の部分。  
 volée [佛] (ヴォレエ) }  
 Volksgesang [獨] (フォルクスゲザンク) }  
 Volkslied [獨] (—・リイド) } 民謡, volkstümlich 民謡的に。  
 Volksweise [獨] (—・ワイゼ)  
 voll [獨] (フォール) 満ちて, 満ちたる, volles Orchester (フォルレス・オルケステル) 大管絃樂, volles Werk (フォルレス・ウエルク) ストップの名, full organ; vollkommen (フォールコンメン) 完全なる; vollstimmig (フォールスティンミツヒ) 和絃の各音にて, 充足せる和絃にて, voller (フォルレル) 更に多く, 更に強く。 völlig (フェリツヒ) 充分に, 完全に, 多量に頗る。

- volonté [佛] (ヴォロンテ) 希望, a volonté 任意に。  
 volta [伊] (ヴォルタ) 同, たび(度), due volte (ドゥエ・ヴォルテ) 二回, prima volta (プリマ—) 第一回, una volta (ウナ—) 一回。  
 volta [伊] (ヴォルタ) 中世の舞曲の名。  
 volteggiando [伊] (ヴォルテッジヤンドォ) 兩方を交錯して piano を奏すること, volteggiare (ヴォルテッジヤアレ) 交錯せよ。  
 volti [伊] (ヴォルティ) 頁を繰れ, voltè subito (—・スビット) すぐに頁をくれ。 [略] V. S.  
 volubilmente [伊] (ヴォルウピルメンテ) 流暢に。  
 voluntary [英] (ヴォランタリイ) 禮拜中の organ 獨奏。  
 voluta [伊] (ヴォルウタ) violin の糸巻, [佛] volute (ヴォリュウト)  
 vom [獨] (フォム) ……より, ……から, vom Anfang (—・アンファング) 始から, vom Zeichen (—・ツァイヘン) 記號の處から, Dal Segno; von (フォン) vom と用法は同じ, (vom は von dem の結合字である)。  
 vorangehend [獨] (フォーランゲエント) 前の, 前にある處の。  
 Vorausnahme [獨] (フォーラウスナメ) 準備(不協音が協和の前にあること) 豫音。  
 Vordersatz [獨] (フォルアルザツ) 前樂句, 第一主題。  
 Vorgriff [獨] (フォオルグリフ) 豫音, Vorgreifung (フォオルグライフンク) 同上。  
 vorher [獨] (フォオルヘル) 前の, wie vorher (ワイー—) 前の通り, vorhergehend (フォオルヘルゲエント) 前に在る處の。  
 Vorspiel [獨] (フォオルシュピル) 前奏曲, 序曲。  
 Vorzeichnung [獨] (フォオルツァイヒヌンク) 1. 記號。 2. 梗概。  
 Vorhalt [獨] (フォオルハルト) 繫留音, 繫留法, suspension  
 vorige [獨] (フォオリゲ) 前の。  
 Vorschlag [獨] (フォオルシュラック) 裝飾音, 倚音。  
 Vortrag [獨] (フォオルトラック) 演奏, 解釋, Vortragszeichnung (フォオルトラックス・ツァイヒヌンク) 表情記號, 速度記號等 Vortragszeichen (フォオルトラックス・ツァイヘン) 同上。  
 vorwärts [獨] (フォオルウエルツ) 更に早く, stringendo  
 voto [伊] (ヴォオトォ) 開放。  
 vowel [英] (ヴォウエル) 母音。  
 vox [羅] (ヴォツクス) 聲, voice, voix; vox acuta (—・アクウタ) 高い音聲, vox angelica (—・アンゲリイカ) 柔かい音のする stop であるが, 今は voix céleste の一種となつてゐる, vox humana (—・フマナ) 人聲に似た音色の 8 呎の stop であるが, cabinet organ では tremolo の仕掛のある stop を謂ふ。 vox gravis (—・グラヴィス) 低い強い聲。  
 vue [佛] (ヴェウ) 見る事, a premiere vue (ア・プルミエール・ヴェウ) 初見

て奏。

**vuide** 〔佛〕(ヴユイド) 開放, corde vuide (コルド・——) 放弦, 開放弦。  
**vuota** 〔伊〕(ヴォオタ) 開放, corda vuote (コルダ・——) 開放弦, 放弦。

## W

**W** 〔略〕 往々にして VV violini の略號として用ゐられる。  
**wachsend** 〔獨〕(ワクセント) crescendo  
**Wachtel** 〔獨〕(ワハテル) 鶉笛。  
**waits** 〔英〕(ウェイツ) 民間の樂手, 或は waytes, wayghtes と綴る。  
**Waldflöte** 〔獨〕(ワルトフレイテ) organ stop の名。  
**Waldhorn** 〔獨〕(ワルトホルン) 無鍵の French horn, 角笛。  
**walnika** 〔原〕(ワルニカ) ロシアの農民用の bagpipe  
**wals** 〔原〕(ワルス) オランダ語の waltz  
**waltz** 〔英〕(ウォルツ) 1, 3・4 拍子の舞曲。元來はドイツの舞師であつたので是を Ländler といつた。是は速度の遅いものである。Vienna waltz 或は trois temps といふのはやゝ早く二分附點音符=66 の速度。quick waltz 或は deux temp といふのは最も早く 88 度である。waltz は舞曲でない極めて自由な演奏用の樂曲にも命名されてゐる。waltz song (ウォルツ・ソング) は三拍子の waltz の様なリズムの聲曲をいふ。〔獨〕Walzer (ワルツェル), 〔佛〕valse (ワルス) 〔伊〕valzer (ヴァルツェル)  
**Waltze** 〔獨〕(ワルツェ) 頗る早い経過樂句で, 音階の昇降が對照的になつてゐるものをいふ。  
**wankend** 〔獨〕(ワンクント) 拍子を不揃ひに。  
**warbler** 〔英〕(ワブラア) bagpipe 奏法上の裝飾的吹奏。  
**Wärme** 〔獨〕(ヴェルメ) 温味, mit Wärme (ミット・——) 温味を以て。  
**Wasserorgel** 〔獨〕(ワッセル・オルゲル) hydraulic organ 水壓オルガン。  
**weak** 〔英〕(ウイイク) 弱き, weak accent (——・アクセント) 弱聲部, weak beat (——・ビイト) weak pulse (——・プルス) 同上。  
**Wechsel** 〔獨〕(ヴェクセル) 變換, change; Wechselgesang (——ゲザンク) 對唱, antiphone; —note (——・ノオテ) 交替音, changing note  
**Wehmut** 〔獨〕(ヴェエムウト) 憂鬱, wehmütig (ヴェエミュウテイツヒ) 憂鬱に, 沈みて。  
**Weiberstimme** 〔獨〕(ワイベル・シュティンメ) 女聲。  
**weich** 〔獨〕(ワイヒ) 柔かく, 優しく, 靜かに。  
**weight** 〔英〕(ウエイト) 強聲, 力。  
**Weihnachtslied** 〔獨〕(ワイナハツライド) クリスマス歌。  
**weinend** 〔獨〕(ワイチント) 泣く様に。  
**Weise** 〔獨〕(ワイゼ) 1. メロディ, 歌調。2. 樂風。  
**weit** 〔獨〕(ワイト) 廣き, 擴がれる。  
**well-tempered** 〔英〕(ウエル・テンパアド) 平均率調の。  
**Welsh harp** 〔英〕(ウエルシュ・ハアプ) 三角形の harp  
**weltlich** 〔獨〕(ウエルトリッヒ) 世俗の(教會樂に非ざる)。

wenig [獨] (ウエニッヒ) 少許, 僅か, weniger (ウエニゲル) 更に少し, ……を減す。

werden [獨] (ウエルデン) ……になる。

Werk [獨] (ウエルク) 1. stop 2. action

Wettgesang [獨] (ウエツトゲザンク) 競技歌, 懸賞歌, 音楽競技。

wheel [英] (ホイール) 折返し (譯歌の)

whipping bow [英] (フィツピング・ボウ) 鞭打つ様に弓にて弦を弾くこと。

whistle [英] (フィッスル) flageolet の古楽器。口笛。

white key [英] (ホワイト・キー) 白鍵。

white note [英] (ホワイト・ノート) 白符。全音符並に二分音符。

whole note [英] (ホオル・ノート) 全音符。

whole shift [英] (ホオル・シフト) 第四 position の手移り。

whole rest [英] (ホオル・レスト) 全休止符。

whole step [英] (ホオル・ステップ) 全音程。

whole tone [英] (ホオル・トーン) 全音

wie [獨] (ワイ) ——の如くに, wie früher (——・フリユウエル) 以前の如くに, wie träumend (——・トロイメント) 夢心地の如くに。

wieder [獨] (ワイデル) 再び, 繰返し, 以前の如く, Wiederholung (ワイデルホオルンク) 繰返し, da capo, Wiederklang (——・クラック)

Widerschall (——・シヤール) 反響, Widerschlag (——・シュラック)

ribattua, wiederum (ワイデルム) 再び。

Wiegenlied [獨] (ワイゲンリイド) 眠りうた, 子守唄, 搖籃歌。

wild [獨] (ウィルト) 荒々しく, 猛く, 勢強く。

wind [英] (ウィンド) 管楽器, 送風楽器 (organ も含む) wind band (——・バンド) 吹奏樂隊, wind chest (——・チェスト) organ の風籠, wind instrument (——・インストルメント) 吹奏樂器, 送風樂器。

Windharfe [獨] (ウィント・ハルフェ) aeolian harp

Windkasten [獨] (ウィント・カステン) wind chest, 風籠。

winselig [獨] (ウィンゼリッヒ) 泣く様な, 細い弱い。

Wirbel [獨] (ウィルベル) 1. 糸巻。2. 太鼓の轟打。3. 太鼓の撥棒, Wirbelkasten (——・カステン) 糸巻の挿まれてゐる部分。糸壺。

wohl [獨] (ウォール) 十分に, 適當に, 均等に, Wohlklang (——・クラック) 和音, 協和音, Wohllaut (——・ラウト) 同上, wohltemperiert (——・テンペリルト) 平均率の。

wolf [英] (ウルフ) 1. 平均率に調音してない organ から生ずる不協和音。2. 絃樂器から生ずる不快な不協和音。3. 混濁音。

wood [英] (ウッド) 木, 木管樂器の總稱, wood wind (——・ウィンド) 同上。

wrest [英] (レスト) 調率機, 調率ハンマア。

wrist [英] (リスト) 手首。

wuchtig [獨] (ウッフティッヒ) 重々しく, 重苦しく。

Würde [獨] (ウエルデ) 威嚴, 品位, mit Würde (ミット・——) würdevoll (——・フォオル) 重々しく, 品位を以て。

Wut [獨] (ウウト) 狂激, 熱情, wütend (ウユウテント) wütig (ウユウティッヒ) 熱狂して, 激怒して。

## X

**Xänorphika** 〔獨〕(クセノオルフィイカ) piano-violin の一種, Röllig が 1797 に創製したもの。

**xyloharmonica** 〔英〕(ザイルハアモニカ) 木琴に鍵盤の打拍作用を仕掛けたもの, 〔獨〕 Xylharmonikon (クジイルハルモニコオン)。

**xylophone** 〔英〕(ザイロフォオン) 木琴, 約二 octave の音域をもつてゐるもので, 木製の細長い板が鍵盤の piano の如くに並んでゐる。それを hammer (ぶち) で打つので一種の dulcimer である。此の木板は或は葉繩の上に置いてある事がある, それ故ドイツでは之を Strohfidel (シュトロオ・フィイデル(葉のヴァイオリン)ともいふ。古代からある楽器で, 種々の名稱がある。〔佛〕 claquébois (クラックボワ), 〔獨〕 Holzharmonica (ホルツハルモニイカ) 或は Xylophon (クジイロフォン), 〔伊〕 gigelira (ジジエリイラ) 或は sticcado (スティッカアドオ)

**xylosistrion** 〔英〕(ザイロシストロン) xyloharmonica の古稱。

## Y

**yatel** 〔原〕(ヤタベル) ヘブルの喇叭吹奏のこと。

**yo** 〔原〕(ヨオ) インドの笛の名。

**yodel** 〔英〕(ヨオデル) } Jodel を見よ。 スイス或はタイロオル地方の

**yodie** 〔英〕(ヨオドル) } 農民間の俚謡の折返しの歌ひ方の一種で, 折返

**yodler** 〔英〕(ヨオドラァ) } しな地聲と裏聲 (octave 高) とで交互にうたふものである。



## Z

- za [佛] (ザア) フランスの solfa 唱法で B の音を昔し za と稱した事がある。
- zaleo [英] (ザレオ) スペインの舞曲 jaleo (ハレオ) に同じ。
- zamacuca [英] (ザマキュウカ) チリイの舞曲。
- zampogna [伊] (ザンポニヤ) }  
zampugna [伊] (ザンプグニヤ) } 1. bagpipe のこと。 2. shawm のこと。
- zaner [英] (ザネル) エジプトの bassoon 系の楽器。
- zanza [英] (ザンザ) アフリカの太鼓。
- zapateado [西] (ザパテアド) スペインの舞踊で、足を踏み鳴らしてリズムをさるもの。
- Zampfenstreich [獨] (ツァッペンストライヒ) 夜の歸營の鼓音, tattoo, 練兵の最後の鼓打。
- zarabanda [西] (ザラバンダ) sarabande に同じ。
- zeramella [伊] (ツアラメラ) イタリアの田舎の二列笛。
- Zarge [獨] (ツアルゲ) violin の胴側。
- zart [獨] (ツァルト) 柔かく、優しく, mit Zartheit (ミット・ツァアルトハイト) 同上, zärtlich (ツェルトリッヒ) 優しく、稍や。
- zarzuela [西] (ザアズエラ) 二幕の小喜歌劇。
- Zauberlied [獨] (ツァウベルリイド) 魔の歌, 妖惑の歌。
- zeffiroso [伊] (ゼッフィロオソ) 微風の如く、柔かに、静かに。
- zehn [獨] (ツェエン) 十, Zehnte (ツェンテ) 第十, 十度。
- Zeichen [獨] (ツァイヘン) 記號。
- Zeit [獨] (ツァイト) 1. 速度。 2. 拍子, Zeit lassen (ツァイト・ラッセン) 急かすに。
- Zeitmesser [獨] (ツァイト・メッセル) metronome, 拍節機。
- Zeitwert [獨] (ツァイト・ウェルト) 時速價值, 音符の長さ。
- Zeitmass [獨] (ツァイトマアス) 1. 拍子。 2. 速度。
- zelante [伊] (ゼラント) 熱心に, [佛] zèle (ゼール)
- zelo [伊] (ゼロオ) 熱心, con zelo (コン・——) zelosamente (ゼロオザメンテ) zeloso (ゼロオソ) 熱心に。
- zeng [原] (ゼング) ベルシヤの cymbal
- zerfliessend [獨] (ツェルフリイセント) 溶ける様に、消ゆる様に。
- Zergliederung [獨] (ツェルグレイテラント) 解剖, 和絃解剖。
- zerstreut [獨] (ツェルスツロイト) 密集せざる、各聲部を別にしたる。
- Ziehharmonika [獨] (ツィイハルモニイカ) 手風琴。
- ziemlich [獨] (ツィイムリッヒ) 稍や、かなり、適當に。
- zierlich [獨] (ツィイルリッヒ) 美麗に、裝飾して。

- Ziffer [獨] (ツィッフェル) 記號, 數字, 數字記號。
- Zigeuner [獨] (ツィゴイネル) シブシイ, zigeunerartig (ツィゴイネルアルテイッヒ) シブシイ音楽の, Zigeunermusik (ツィゴイネルムジック) シブシイ音楽。
- zilafone [伊] (ジラフォオオ) 木琴, xylophone
- Zimbalon [原] (ツィンバロン) ハンガリーの dulcimer
- Zimbel [獨] (ツィンベル) ドラ, cymbal
- zingana [伊] (ツィンガアナ) シブシイの歌。
- zingano [伊] (ツィンガアノ) シブシイ。
- zingaresca [伊] (ツィンガレスカ) シブシイの歌, 或は舞曲。
- zingaro [伊] (ツィンガアロ) シブシイ, alla zingara (アラ・ツィンガアラ) シブシイ風に、シブシイ音楽, alla zingarese (アラ・ツィンガレエセ) 同上, zingaresco (ツィンガレスコ) シブシイ風。
- Zinke, Zinken [獨] (ツィンケ, ツィンケン) cornet の古稱で、稍彎曲した角笛の古代楽器。
- Zirkel [獨] (ツィルケル) 環状, Zirkelcanon (ツィルケル・カノン) 圓環走法曲。
- Zisch [獨] (ツィツシュ) 口笛, hiss
- zither [英] (ジザア) キタア属の楽器の總稱, [獨] Zither (ツィイテル); [伊] zittera (ツィツテラ)
- zittino [伊] (ツィッティイノ) 休止
- zögernd [獨] (ツェエゲルント) 遅緩して。
- zolfä [伊] (ゾルファ) solfa
- zoppa [伊] (ゾッパ) 行き止まること, alla zoppa (アラ・——) 切分音的に、syncopation にて。
- zornig [獨] (ツォルニッヒ) いら立つて。
- zoulou [英] (ズウルウ) pianette に同じ。
- zu [獨] (ツウ) ……へ、……にて、……まで、頗る, zu 2 二部にて, zu sehr (ツウ・セエル) 非常に、頗る。
- Zuklang [獨] (ツウクラント) 和音, 齋音, unison
- zuerst [獨] (ツウエルスト) 最初に、まづ第一に。
- zufällige Versetzungszeichen [獨] (ツウフェリイゲ・フェルゼツツンクスタツァイヘン) 臨時記號。
- zuffolo [伊] (ズッフォロオ) 鳥を馴育する爲めの口笛或は小笛。
- Zug [獨] (ツウク) 1. organ の stop 2. pedal 3. 眞鍮楽器の滑走管 (slide) — posauene (ツウク・ボザウネ) slide trombone, — trompete (——・トロンペテ) slide trumpet
- zum [獨] (ツム) zu dem の合字。 ……へ、……にて、……まで。
- zummarah [原] (ズンマラア) エジプトの bassoon



轉調表 (MODULATOR)

		d'			
		t'			d'
	d'	ta'	le'		t
	t	l		d'	
	d'	la'	se'	t	l
	t	s'		d'	
d'	l	sa'	fe'	t	l s d'
l	l	f'			t
	s	m'		l	s d' f
	d' f	ma'	re'		t m l
	t m l	r'		s	d f
s	d' f	ra'	de'	t	m l r s
t	m l r s	d'		f	
f		t		m	l r s d f
m	l r s d f	ta	le		m
r	s d f	l		r	s d f
d	f m r	la	se		m r
m	r d	s		d	f
r	d	sa	fe	m	r d
d		f		r	d
		m			
		ma	re		
		r		d	
		ra	de		
		d			
G <sub>b</sub> D <sub>b</sub> A <sub>b</sub> E <sub>b</sub> B <sub>b</sub> F		C		G D A E B F <sup>♯</sup>	

指定語略記法

( Abbreviations )

A.	alto	Cemb.	cembalo
Accel.	accelerando	C. F.	{ canto fermo cantus firmus
Acct.	} accompagnamento	Cl. 或 Clar.)	clarinetto
Accomp.		Clarito. ✓	
Adgo. 或 Ado.	adagio	C. M.	common metre
Affetto. <sup>a</sup>	affetuoso	Col C.	col canto
Affret.	affrettando	Col Vo.,	} colla voce
Allo.	allegro	C. Voc. 或 C. V.)	
All' ott. }	} all' ottava	Con esp.	con espressione
All' 8 va. }			Cor.
Al seg.	al segno	C. P.	colla parte
Andno.	andantino	Cres. 或 Cresc.	crescendo
And.	andante.	C. S.	colla sinistra
Animo.	animato	C. S. 或 Co. So.	come sopra
Arc.	coll' arco	Co. 1 <sup>mo</sup>	canto primo
Arpo.	arpeggio	Cto.	concerto
A t.	a tempo	D.	destra, droite
Aug.	by augmentation	Decres. Decresc.	decrescendo
B.	bass	Delic.	delicatamente
Bn.	bassoon	Dest.	destra
Bl.	Bläser	Diap.	diapason
Br.	Brätsche	Dim.	diminuendo
Brill.	brillante	Div.	divisi
C.	contralto	Dol.	dolce
Cad.	cadenza	Dolcis.	dolcissimo
Cal.	calando	Dopp. Ped.	doppio pedale
Calm.	calmato	D. S.	dal segno
Cant	} cantabile	Esp. 或 Espress.	espressivo
Cantab.			
C. B.	contra basso	F.	fine
C. D.	colla destra	f.	forte
Cello	violoncello	Fag.	fagotto

abbreviations

<b>Falset.</b>	falsetto	<b>Mod. 或 Modto.</b>	moderato
<b>ff 或 fff</b>	fortissimo	<b>Mor.</b>	morendo
<b>Fl.</b>	flute, flauto	<b>mp.</b>	mezzo-piano
<b>F. O. }</b>	full organ	<b>MS.</b>	manuscript
<b>F. Org. }</b>		<b>M. S.</b>	mano sinistra
<b>fz. 或 forz.</b>	forzando	<b>Mus. B.</b>	Bachelor of Music
<b>G.</b>	gauche	<b>Mus. D.</b>	Doctor of Music
<b>G. O.</b>	great organ	<b>M. V.</b>	mezza voce
<b>G. P.</b>	general pause	<b>Ob.</b>	oboe
<b>Grando.</b>	grandioso	<b>Obb.</b>	obbligato
<b>Grazo.</b>	grazioso	<b>Oberst.</b>	Oberstimme
<b>Gr.</b>	grand	<b>Oh. Ped.</b>	ohne Pedal
<b>Haut.</b>	hautboys, oboe	<b>Op.</b>	opus 或 opera
<b>Hlzl.</b>	holzbläser	<b>Org.</b>	organ
<b>Hr. 或 Hrn.</b>	horns, Hörner	<b>Ott. 或 Ova. }</b>	ottava
<b>Intro.</b>	introduction	<b>8 va. }</b>	
<b>Inv.</b>	inversion	<b>p.</b>	piano
<b>K. B.</b>	Kontrabasse	<b>Ped.</b>	pedal
<b>K. F.</b>	Kleine Flöte	<b>Perd. Perden.</b>	perdendosi
<b>L.</b>	left, links	<b>P.F. 或 Pf.</b>	piano forte
<b>Leg.</b>	legato	<b>P. F.</b>	poco forte
<b>Leggo.</b>	leggiero	<b>Piang.</b>	piangendo
<b>L. H.</b>	light hand	<b>Pizz.</b>	pizzicato
<b>Lo.</b>	loco	<b>pp 或 ppp</b>	pianissimo
<b>Lusing</b>	lusingando	<b>Picc.</b>	piccolo
<b>M. }</b>	hand, manual	<b>1ma. 1mo.</b>	prima, primo
<b>Main. 或 mano. }</b>		<b>Ps.</b>	psalm
<b>Maesto.</b>	maestoso	<b>4tte, 5tte.</b>	quartet, quintet
<b>Magg.</b>	maggiore	<b>Rall.</b>	rallentando
<b>Man.</b>	manuals	<b>Recit.</b>	recitative
<b>Manco.</b>	mancando	<b>rf. 或 rfz.</b>	rinforzando
<b>Marc.</b>	marcato	<b>R. H.</b>	right hand
<b>M. D.</b>	mano destra	<b>Rip.</b>	ripieno
<b>M. G.</b>	main gauche	<b>Rit. 或 Ritard.</b>	ritardando
<b>Men.</b>	meno	<b>Riten.</b>	ritenuto
<b>Mez.</b>	mezzo	<b>S.</b>	senza 或 sinistra
<b>mf.</b>	mezzo-forte	<b>Scherz.</b>	scherzando
<b>M.</b>	metronome	<b>2da, 2do.</b>	secunda, secondo
<b>M. M.</b>	Maelzels's metronome	<b>Seg.</b>	segue

abbreviations

<b>Sem. 或 Semp.</b>	sempre	<b>Temp. prim. }</b>	temp primo
<b>Sen.</b>	senza	<b>Temp. 1o. }</b>	
<b>7tt. 6tt.</b>	septet, sextet	<b>Ten.</b>	tenuto
<b>sfz. 或 sf.</b>	sforzando	<b>Timp.</b>	timpani
<b>Sim.</b>	simile	<b>T. P.</b>	tempo primo
<b>Sin.</b>	sinistra 或 siao	<b>tr.</b>	trillo
<b>Sinf.</b>	sinfonia	<b>Trem.</b>	tremolando
<b>Smorz.</b>	smorzando	<b>3°</b>	trio
<b>Sost. 或 Sosten.</b>	Sostenuto	<b>Tromb.</b>	trombone
<b>S. P.</b>	senza pedale	<b>Tromp.</b>	trompete
<b>Spirit.</b>	spiritoso	<b>Unis.</b>	unison
<b>S. S. }</b>	senza sordini	<b>V.</b>	voce, volta
<b>S. Sord. }</b>		<b>Va.</b>	viola
<b>Stac. 或 Stacc.</b>	staccato	<b>Var.</b>	variation
<b>String.</b>	stringendo	<b>Vn. 或 Vno. Viol.</b>	violin
<b>S. V.</b>	sotto voce	<b>Vc., Vlo. 或 Vello.</b>	violoncollo
<b>Sw.</b>	swell organ	<b>Viv.</b>	vivace
<b>Sym.</b>	symphony	<b>V. S.</b>	volti subito
<b>T.</b>	tenor, tempo, tutti	<b>Vv. 或 Vni.</b>	violini
<b>Tem. 或 Temp.</b>	tempo	<b>Zus.</b>	zusammen

記 號

( Signs )

- open string
- harmonics
- ⌒ fermata, pause
- ♯ segno
- + or × thumb (親指記號)
- ∨ // breath-place
- >V<Λ accent mark
- ∨ up-bow
- ∨ down-bow
- ~~~~~ trillo
- ~ inverted mordent
- ~ mordent
- ※ + pedal の終點
- ♯ coda 此の點より coda へ
- ♯ cello の thumb position
- ∨ crescendo
- ∨ diminuendo
- ∨ swell
- ⋮ repeat
- ⋮ repeat を特に分り易くする爲め
- ∕ ∕ simile
- 10 10 measures' rest
- ∨ } pedal とその終點
- ped \* }  
8va..... | octave

簡 略 記 號

The right page contains six systems of musical notation, each with a treble and bass staff. The notation illustrates various signs and symbols from the left page. The first system shows a fermata over a note. The second system shows a thumb sign. The third system shows a breath-place sign. The fourth system shows an accent mark. The fifth system shows up-bow and down-bow signs. The sixth system shows a trillo. The seventh system shows inverted and mordent signs. The eighth system shows a pedal sign and a coda sign. The ninth system shows a cello thumb position sign. The tenth system shows crescendo and diminuendo signs. The eleventh system shows a swell sign. The twelfth system shows a repeat sign. The thirteenth system shows a simile sign. The fourteenth system shows a 10-measure rest sign. The fifteenth system shows a pedal sign and its ending. The sixteenth system shows an octave sign. The final system shows a rest sign labeled '八小節休止' (8-measure rest).

# 外國語發音法

はしがき。外國語の發音を、我が國の片假名にて表はす事は、雖中の難である。然し今日はその方法をとるより外はないので、本辭典もその通りにしたが、假名を頼るにしても、其の外國語を知れる者と、知らざる者との間には發音の巧拙上甚しい相違があるのは當然である。外國語を知れる者の爲めには不完全な振假名でも、完全な發音に直して讀む事が出来るが、その素養のない者には、結局いかに苦心して是を假名に表はしても、結局不完全を免れる事は出来ない。しかし編者は此の辭典の讀者が、必しも英、佛、獨、伊、羅の各或語に通じてゐるとは信じられない。佛を知るものは獨を知らず、伊に至つては知る人は甚だ少ないと思ふ。その人々の爲めに辭典中の振假名だけでは會得出来ぬ箇所もあらうから、英、佛、獨、伊、羅の順序で發音法の一般を紹介しやうと思ふ。殊に音樂の文獻としては、伊は最も大切であるが故に、併せてその語法をも記して置かう。但し、此の發音法中に説明した通りの振假名が、必しも本文の中についてゐるとは限らない。本文の振假名は簡易を旨としてあるのであるが、此處では語學的に述べるつもりであるから、本文を讀むときも、此處の發音法を參照して發音すれば、効果が多いと思ふ。

## 英語

英語は a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z の二十七文字から成つてゐる。其のうち a e i o u y の六文字は母音で、他の廿一字は子音である。y は母音と子音を兼ねてゐる。英語では子音と母音とが併合して發音される場合が多く、さもなくば a i の如く母音一字で發音する事もある。子音のみで發音する事は絶対にない。

**母音の發音法。** 母音の第一たる a は様々に發音されるので、初學者には最も困難である。普通七通りに發音する(精しくは九通りであるが)。

- (エイ) といふ場合。ate (エイト), fate (フェイト), lady (レイティ) 等。
  - (エー) といふ場合。preface (プリフェース), passionate (パッションエト) 等。
  - (オー) といふ場合。walk (ウォーク), all (オール), jaw (ジョウ) 等。
  - (アー) といふ場合。arch (アーチ), far (ファー), calm (カラム) 等。
  - (ア) といふ場合。ass (アス), dance (ダンス), attack (アタック) 等。
  - (エェ) といふ場合。air (エア), rare (レア) 等。
  - (エ) と (ア) との間の場合。at (アット), man (メン), actor (アクター) 等。
- e の發音法には五通りある。
- (イイ) といふ場合。era (イイラ) equal (イイワール) 等。

(イ) といふ場合。erase (イレイス), erupt (イラプト) equip (イクイップ) 等。

(エ) といふ場合。是は最も普通で、men (メン), empire (エムパイア) 等。

(ア) と (ウ) との中間の場合。prudent (プルウダント), payment (ペイメント) 等。

r と接続して(アル)と發音する場合。err (アル) ferment (ファルメント) 等。

i は(アイ)と(イ)との二通りである。icon (アイコン), idle (アイドル) fight (ファイト) 等及び、it (イット) ill (イル) impression (イムプレッション) 等。

y も亦 i と同様に(アイ)及び(イ)と發音する。type (タイプ) dyke (ダイク) 等。及び mystery (ミステリイ) gypsy (ジプシイ) 等。i と y とは r と結合して(アル)と發音する。girl (ガール) myrtle (マートル) 等。

o は(オー)と發音する場合。so (ソォー) royal (ロォヤル) 等。

(オ) といふ場合。atom (アトム) omit (オミット) 等。

(ア) と (オ) との間が最も普通で、on (オン) off (オフ) hot (ハット) 等。

(ア) といふ場合。son (サン)。

r と接続して(オァ)となる。organ (オァガン) fore (フォア) 等。

(ウ) といふ場合。wolf (ウルフ)。

o は時に全然發音されぬ事が多い。button (ボタン) station (ステーション) Ditson (ディトソン) 等。

u は三通りである。(ユウ)と(ユ)と(ア)とである。即ち mutual (ミュウチュアル) mud (マッド) utopia (ユトピア) s 及び r の次だけは(ユウ)を(ウー)と發音する、super (スウペア) rural (ルウラル) の如し。

**Diphthongs 二重母音。** ae (イー) Caesar (シイザア) の如し; ai (エイ) tail (ティル); au (オー) laurel (ロォレル); ay (エイ) bay (ベイ), ea (イイ) beat (ビイト), (エー) break (ブレイク), (エ) bread (ブレイド), r と接続して er の如く, heart (ハート), eau (ユウ) beautiful (ビュウティフル), (オー) bureau (ビュウロォー), ee (イー) bee (ビー), (イ) been (ピン), ei (エイ) eight (エイト), eu (ユウ) Europe (ユウロプ), ey (イー) honey (ホーニイ), (エイ) survey (サヴエイ) 等。

oa (オー) boat (ボート), oo (ウー) fool (フール), (ウ) book (ブック), (オー) door (ドォー), ou (アウ) out (アウト) 等。

**子音の發音法。** 母音は口腔の形狀を變化せしめて發音するものであるが、子音は唇、齒、喉等を動かして、母音に雜音を與ふるものである。その動かす機關により下の如く區別する。

- 唇音 (Labials) m (ム) p (プ) b (ブ) w (ウ)
- 喉音 (Gutturals) k (ク) g (グ) h (フ)

齒音 (Dentals) f (フ) s (ス) z (ズ) t (ト)

舌音 (Lingual) l (ル) n (ヌ) r (ル)

是等が母音と接合して, sa (ス—ア) サ となるのである。

語法。英語は樂譜中に用ゐられることは極めて稀であり、また用ゐられたとしても、その語法を簡単に説明する事は困難であるが、その稀に用ゐられる言葉は發想語であつて、多くは形容詞である。英語の形容詞は形は一定してゐないが、是に ly を附する事、同じ意味の副詞となる。nice (美しき) は nicely (美しく) となる。passion (は (熱情) で、passionate (は (熱情ある)、是に ly を附けると passionately (熱情的に) となる。また名詞に with (を以て) を附ければ、with passion (熱情を以て) となる。形容詞を名詞に變化するには、多く ness を附ける。sweet (優美な) を sweetness (優美) 變化させる事が出来る。sweetly といへば (優美に) である。是は with sweetness と同じ意味である。尙此の外に little by little (少しづつ)、by and by (段々に) more and more (益々) 等の副詞句が用ゐられる事がある。

## ド イ ツ 語

そのアルファベット

A (アー)	B (ベエ)	C (ツェー)	D (デエ)	E (エー)
F (エフ)	G (ゲエ)	H (ハア)	I (イイ)	J (ヨット)
K (カア)	L (エル)	M (エム)	N (エン)	O (オー)
P (ペエ)	Q (クァ)	R (エル)	S (エス)	T (テエ)
U (ウー)	V (ファウ)	W (ウエー)	X (イックス)	
Y (イプシロン)	Z (ツェット)			

ドイツ語の發音は邦人間には、一般に容易なものと思はれてゐるが、事實はその反對で、仲々むづかしいものである。第一地方地方によつて、丸で發音を異にしてゐるので、旅行者は非常な困難を感じるのである。然し就中 Hannover の發音を以て標準とするのであるが、本書に於ては、日本語の假名に於て、爲し得る限りの説明をするつもりである。然し、何れいつても英語よりは容易で、一つの母音が幾通りにも發音されるといふ事はまづないを謂つてよい。其の代り曲音 (Umlaut) といふものがある。是がドイツ語を専門に學ばない者にまつては難關である。

一般にドイツ語はローマ字を讀む如くに發音される。そして母音子音の別も英語と同じである。

a はやゝ長く (アー) と發音する。Rat (ラット)。但し次に子音が二個重つた時は短かい。Blatt (ブラット)。是は他の母音にも準ずる事が出来る。

ä 是は A Umlaut (アー・ウムラウト) といふ。ae と同じわけで、是がつまつたのである。故にごちらを書いても同じ事になる。(エ) と發音する。

Sänger (ゼンゲル)。是は Saenger と綴つても同じ意味で、且つ同じ發音である。

ai 英語ではこの二重母音は (エー) と發音するが、ドイツでは (アイ) と發音する。Mai (マイ)。

au (アウ) であつて (オー) ではない。但し田舎では (オー) と發音する處が多い。Haus (ハウス)。

äu 是は (オイ) である。Häuser (ホイセル)。

b は英語の b と同じであるが、一シラブルの終りにあるときは p の如く發音する。Baden (バアテン)。herab (ヘラップ)。abstossen (アプシュト—セン)。

c a, o, u の前には k の如く發音する。Canon (カノン) Cacao (カカオ)。a, e, i の前には (ツ) ts の如く發音する。Cäsar (ツェーザル)。Centrum (ツェントルウム)。Citron (ツイトローン)。但しドイツ語では c を k の如く發音する場合は、k の字を以て綴るのが普通である。Concert (コンツェルト) は Konzert と綴る方が現代的である。

ch は日本字に相當するものはないが、k の音と h の音とを交へた喉音である。chemie は (ヘミイ) と (ケミイ) との間を發音する。大體 h の強いのを思へばよい。是が母音の次にあるときは、前の母音の韻をさる。ich (イチヒ)、Loch (ロッホ)、ach (アッハ)、Fluch (フルッフ) 等である。ch の次に s の來るとき、即ち chs となるとときは、明瞭にクスと發音する。Sachs (ザックス) の如し。

d は母音の前にあるときは、英語の d と同じ。但しシラブルの終りにあるときは、t の如く發音する。Dach (ダッハ)。Tod (トート)。Brand (ブラント)。

e は (エー) である。Regel (レエゲル) の如く、アクセントのあるシラブルでは長く、弱聲のシラブルでは短かいのである。

ei は (アイ) と發音する。Leitmotiv (ライトモティーフ)。

eu (オイ) teuer (トイエル)。

f は英語と同じ。

g は英語に於ける give (ギヴ) gin (ジン) の如き區別はないが、母音の前にはいつも (グ) で、gut (グット)、Gatte (ガッテ)、gewiss (ゲウイス) 等であるが、語尾にあるときは、(ク) と發音する。Tag (タック) sing (シンク) 等。i の次には (ヒ) と發音する。billig (ビリッヒ)。フランス語より轉化した言葉では、(ジ) の如く發音する。Regie (レジイ) engagieren (エンガジレン)。

h 母音の前には英語と同じく、母音の後には發音しない。Mahl (マアル)。gehen (ゲエエン)。Lohengrin (ローエンゲリン)。

i (イー) である。Schmitt (シュニット)、motiv (モティーフ) の如く長短の變化はある。

外國語發音法

- ie (イー) 必ず長い(イー)である。Lied (ヴィエフ)。
  - j 英語の y と同じく發音する。Jodel (ヨートル)。Wilhelmj (ヴィルヘルミイ)。
  - k, l, m, n 英語に同じ。nd は(ント) ng は(ンク)と濁らずに發音する
  - o は Loch (ロッホ) の如く短かい時と, Not (ノート) の如く長い時とある。
  - ö } O Umlaut はドイツ語中最もむづかしい發音で, 初學者の困るものである。
  - oe } 是は oe と同じいが, (オエ) といふのではなく, 唇を圓くして(エー)と發音するので(ヨウ)といふ様な音になる。有名な Goethe を(ゲーテ)と發音し, 或は蘭外博士の如く(ギョオテ)と發音するのも, いづれもその表はし方に迷つた結果である。
  - p, q, は英語に同じ。
  - r は特に強い。er は(アー)より(エル)に近く lernen (レルネン)。
  - s は濁つて(ズ)に發音する。Saal (ザール) Sonne (ソンネ) の如し。但し語尾では(ス)に發音する。Los (ロス) の如し。ss と二つ重なる語尾は頗る多い。Schoss (シュロース) の如し。
  - sch は英語の sh で(シュ)である。Schule (シュウレ) schön (シェーン)。
  - sp, st の場合ば(スプ...) (スト...) と謂はず, (シュプ)(シュト)と發音する。Spiel (シェピール) Strauss (シュトラウス) の如し。
  - t は英語に同じ。th は凡て h を發音せず, t と同じに發音する。That (タアト), Rath (ラアト)。
  - u は(ウー)。ü はやはり Umlaut で(ユー)と(イー)との間の發音である。über は(ユウベル)より(イーベル)に近いが假名では普通(ユウ)と書いてある。
  - v は濁らず f と同じに發音する。Vogt (フォークト) Motiv (モティフ)。
  - w 軽く v (ヴ)と發音するのであるが, 英語の v 程強くないので, 假名では(ウ)で表はしてある。bewegt (ベヴェークト) 或は(ベウークト) Wein (ヴァイン)。
  - x 是は(クス)と發音するが, 英語では語頭にあるときは xylophone (ザイロフォン) の如く發音するがドイツ語ではその場合も(クシロフォン)である。
  - y (イー)。z は(ツ)で Zentrum (ツェントルム) Zitron (ツイトロン)。t と結合して tz (ツ)となる。Metz (メッツ)。
- ドイツ語に於ては, 凡て名詞は頭文字で書くのである。

フランス語

A (アー)	B (ベ)	C (セ)	D (デ)
E (エ)或は(エ)	F (フェ)	G (ジェ)	H (アッシュ)

外國語發音法

- |         |            |             |        |
|---------|------------|-------------|--------|
| I (イー)  | J (ジイ)     | K (カー)      | L (エル) |
| M (エム)  | N (エン)     | O (オー)      | P (ペー) |
| Q (クウ)  | R (エル)     | S (エス)      | T (テ)  |
| U (ウー)  | V (ヴィー)    | W (ドゥブルヴィー) |        |
| X (イクス) | Y (イーグレック) | Z (ゼツ)      |        |
- a は(ア)である。lac (ラック)。& の如く アクサン (accent) のある時は長く(アー)となる。âme (アーム)。
  - ai } (エー) faire (フェール) connai (コンネエ)。
  - ay } crayon (クレヨン)。
  - au (オー) autre (オートル)。
  - b, c は英語に同じ。但し ç は o, a, u, 等の前にも s の發音となる。garçon (ガルソン) française (フランセーズ) 等。
  - ch は英語の sh に同じく(シュ)と發音する。chacun (シャカン) chausson (ショウソン) blanche (ブランシュ)。
  - e は(ウ) leçon (ルソン) relire (ルリール)。
  - é は(エ) régner (レニエ) propriété (プロプリエテ)。
  - ê, è は(エー) être (エートル) prière (プリエール)。
  - en, em は(アン) envoi (アンヴォイ) temps (タン)。
  - ei は(エイ) veille (ヴェイユ) peine (ペイン)。
  - eu は(ユウ) peur (ペウール) feu (フェウ)。
  - eau は(オー) beau (ボウ) morceau (モルソウ)。
  - g は凡て(ジュ)であるが, (ケ)の音の場合は, 必ず u が附隨してゐる。mange (マンジュ) genre (ジャンル) général (ジェネラル) guerre (ゲル) guide (ギイド)。
  - h は多く發音されない。hôtel (オートル) の如し。habile (アビール) h の音を發するものは, hâter (ハアテ) の如し。
  - i は長く(イー)である。maître (メイートル) i は普通の(イ)であるがアクセントのシラブルの時は稍長く livre (リヴル) livide (リヴィド) となる。
  - ir, im (エン) matin (マテン) Chopin (シヨーン) Rodin (ロデン) impressioniste (エンプレッショニスト)。
  - j, k, l, m, n は英語と同じいが, k は本来のフランス語には用ゐられない。ll は(ル)よりも(ユ)に近く發音する。cheville (シュヴィユ)。
  - o はあまり長くない(オ)が普通である。mot (モト) ô は長く(オー)といふ。hôtel (オートル) の如し。
  - oi は(オイ)或は(ウ)で moins (ムン) lointain (ルワントン)。
  - oeu はやゝ變体の發音で, (ヨウ)或は(ヨイ)といふ風に發音する, boeuf (ボウフ) oeuvre (ウヰイヴル)。
  - ou (ウー) oui (ウーイ) ouverture (ウヴェルティール)。



**oy** (オヤ) moyen (ムロヤン)。  
**p** は英語と同じだが、時にサイレントになる事がある。sept (セツト)。  
**qu** は k と同じく (ク) で (クッ) ではない。quatre (カトル)。quinze (ケンズ)。  
**r** は英語よりすつと強い、且巻舌に發音する。  
**s** は母音に挿まれてゐるときは z の如く濁音になる。résolu (レゾリュイ)。oiseau (ワソウ)。シラブルの初めにある時、前後に子音あるとき、ss を重なつてゐるときは英語の s に同じ。respirer (レスピイレ)。  
**t** は英語と同様であるが、稍や柔かく、且 ti が (シ) となつて tion は (シオン) と發音する。tu は (テユ) より (チュ) 或は (チイ) に近い。  
**u** は (イー) が最も近い。然し (ユウ) といつてもよい。ui は (ユイ) である。puis (ピユイ)。un は (アン)。  
**v, w, x, y, z** v は英語と全然同じであるが、w はフランス語にはない。x は z と同じとき、ks と同じ時もあるが普通は z の如く發音する。soixante (ソクザント)。y は (イー) で、子音に用ゐられる事は最も少ない。type (タイプ)。z は英語の z と同様である。zèbre (ゼブ)。  
 フランス語はドイツ語と違つて、書いてある字の中で、發音せぬ文字が頗る多い。r, s, t, d, z, c, x 等が語尾にある時は多く發音しない、語尾の e は accent 記號あるもの以外は發音しない。是等の法則に就ては實地にフランス語を練習しなければ、能く了解する事はむづかしいのである。premier (プルミエ)。franc (フラン)。onze (オンズ)。vingt (ヴァン)。trois (トルワ)。deux (デュ) lourd (ルウル) 等。  
 尚、サイレントになつた言葉の次に、母音を以て始まる言葉が来る時は、そのサイレントが生きて、次の母音に接續して發音される。vis (ヴィ) の次に a-vis (ア・ヴィ) を持つて来ると vis-a-vis (ヴィ・ザ・ヴィ) となる如きである。是等はフランス語特有の發音法である。

## イタリイ語の變化法

**名詞。** イタリイ語では、凡ての名詞は男性か女性かであつて、中性はない。是はフランス語と同じ事である。  
 (1) 多くの男性名詞は o 或は e の語尾を有し、稀に a の語尾を有してゐる。是等を i に變化させると、其が復数を表はす。flauto (flauti) oboè (oboi), clarinetto (clarinetti), corno (corni), basso (bassi), trombone (tromboni), sordino (sordini), solo (soli)。  
 (2) 多くの女性名詞は a 或は e の語尾を有してゐる。a の語尾は e に變化せしめて復数を表はす。tromba (trombe), corda (corde), donna (donne), nota (note), viola (viole)。e の語尾を有するものは i に變化させる。madre

(madri) の如し。  
**形容詞。** (1) 多くの形容詞は二種の語尾を持つてゐる。即ち男性名詞の前後には o で女性名詞には a である。随つてその復数は i 及び e に變化する。bello, bella (單數)。belli, belle (復數)。  
 (2) その他の形容詞は、男女性兩詞ともに、單數のときには e で終り、復數の時には i で終る。dolce (男女とも、單數)。dolci (男女とも、復數)。soave, soavi なども此の例である。  
 (3) 形容詞はその形容詞する主體の名詞の性と數さに順應して變化する。即ち bello suono, bella nota, una corda, tre corde 等。而して英語と異り形容詞が名詞の後に來る事もある。mano (手) は o の語尾であるが、是は例外に女性名詞とされてゐるので、形容詞も女性變化を要する。故に destra mano (右手), mano sinistra (左手) といふ風に a の語尾の形容詞が附くのである。  
 (4) 形容詞には程度を示す副詞が附隨して、比較級を示す事になつてゐる。piu は積極的により大なる意味、meno は消極的により小なる意味である。piu forte といへば、「更に強く」といふ事で、meno mosso といへば、「更に遅く」といふ事である。  
 (5) 最上級を示すには、形容詞の語尾を變化せしめて issimo (男性) 或は issima (女性) とする。復数は issimi 或は issime である。かくして forte, piu forte, fortissimo となる。或は同一形容詞を二つ重ねて最上級を表はす事もある。presto presto の如し。是は prestissimo と同じ意味である。  
**形容詞の副詞化。** (1) 形容詞の殆ど全部は、その語尾に mente を附加して副詞とする事が出来る。即ち dolcemente (dolce 優しき) 「優しく」の如し。但し語幹が男性のもの allegro の如きは、豫め allegra の如く女性化して置くのである。allegrement (早く)。allegriissimamente (最も早く)。同様に largo を largamente, timido を timidamente, forte を fortemente に作る事が出来る。le の語尾は e を省略して mente を附す。facile を facilmente に cantabile を cantabilmente にするが如し。  
 (2) 形容詞も副詞も、同語幹のものは、要するに同意味である。vigorouso も vigorosamente も「力強く」といふ指定の意味に異なる處はない。また同時に con (を以て) といふ言葉をつけて、是れと同意味の名詞を用ゐても、結局同意味である。即ち con vigoro の如し。「力強さを以て」。  
**擴大法と縮小法。** (1) 名詞の語尾に one を附ける事、其の品物の擴大したものを指示する事になる。violone は viol の大なるものである。fagottone は fagotto の octave 低の contra fagotto を指す。chitarra の大形のものに chitarone である。  
 (2) 以上の反對に、其品物の小なる事を表はすには、語尾に ino, ina, etto, etta, ello, ella を附ける。clarino は clarion の小形のもの、clarinetto も亦同様の意味を表はしてゐる。andantino は andante の縮小したるもの、fughetta は fuge の小形のもの、cornetto は corno (horn) の小形のものである。violon-

cello は violone (double bass) の小さいもの, violino は viol の小形のものと  
いふ事である。

## イタリイ語發音法

**概則。** イタリイ語は大体ローマ字の様に發音する。さうでない場合は次に  
説明する處によつて了解せられよ。凡て音は明るく軽らく典雅に、且つ英語  
ほどアクセントを強調しないのが特色である。随つて振假名を以て表はし易  
いのである。

**母音** (1) 母音はアクセントのあるシラブルは長く、アクセントのないシラ  
ブルは短かい。(2) シラブルの語尾にある母音は長く、次に子音があつて又長  
い母音があるときは、その母音は短かい。(3) 母音が二つづいてゐるとき  
Diphthong とならず、別々に發音する。piano (ピアーノ) の如し。

**A** は概ね(ア)と長く發音する。但しアクセントのあるシラブルの前には  
短かく anima'to (アニマアト) の如く、始めの(ア)は短かい。

**E** は長短の二様あるが、語尾の e は凡て長い。oboe (オボオエエ), che(ケエ)  
またアクセントのある e は長い, lesto (レスト) 。アクセントがなく  
とも r の前は必ず長い。Pergolesi (ペエルゴレエジイ) 。また gl 及 gn  
の前の e は長い。 svegliato (ズヴェリアアト) segno (セニヨウ) の  
如し。短くなるときは、子音が重なるつてゐるときで, ecco (エッコ) ello  
(エロ) 等。

**I** も亦長短があるが、その法則は e と大略同様である。 fine (フィーネ),  
Verdi (ヴェエルディー), sordini (ソルディーニ), di (ディー), inno (イン  
ノ) 等。

i が他の母音の前にある時は英語の iy の如くつまつて發音される。 accia-  
cca.ura (アッチャカトゥラ) Giovanni (ジョヴァンニ) の如くで、アッチャカ  
トゥラでもジョヴァンニでもない。 giusto (ジュスト) Giapone (ジャポ  
ネ) である。

**O** は子音が二つある前には短かく, forte (フォルテ) の如し。一韻のときは  
また短かく col (コル) con (コン) の如く、アクセントある綴りは長く  
solo (ソロ) の如く引張る。そして語尾の o はやはり長いのである。  
obbligato (オブリガト) 。

**U** は(ウ)であるが、長い場合が多い。また g と共に gu となるときは(グ)  
となり Guido (ギイド) の如く發音される。

**子音** b, d, f, l, m, n, d, qu, t, v 等は英語と同じ發音である。同じ子音が  
二つ重るときは、重ねて發音する nello は(ネロ)で(ネロ)ではない。

**c** は (1) a, o, u の前では k の如く(ク)に發音する。 capo (カポ),  
corno (コルノ), cupo (クポ)。他の子音の前にも同様で, clarinetto

(クラリネット) の如くに發音する。(2) c, i の前にあるときは英語の  
ch の如く cello (チェルロ) voci (ヴォーチ) cembalo (チェンバロ) と  
發音する。(3) h が加はつて ch となると e, i の前でも k の如く  
chitarra (キタルラ), che (ケエ) となる。(4) cc の如く二つ重つたとき、  
次の母音が e, i だと accento (アッチェント) の如くなり, a, o, u だと  
ecco (エッコ) の如く硬くなる。

**g** は英語の如く a, o, u の前には(グ)で, e, i の前には(ジ)である。 gamba  
(ガンバ), largo (ラルゴ) 。 gentile (ジェンティーレ) giro (ジロ)  
是に h が附加されると, e, i の前でも硬く(グ)になる。 larghetto (ラル  
ゲット) larghissimo (ラルギッシモ) 。 gg と重なつて而もその次に e,  
i が來るときは, leggenda (レッゲンダ) の如くなる。

**gl** は言葉の最初は(ゲル)であるが、中途に母音に挿まれたときは、鼻音の  
(リ)になる。 glissando (グリッサンド) 。 doglia (ドリア) , svegliato  
(ズヴェリアアト) 。

**gn** は(ニユ)と發音する。 sdegno (ズデニョ) の如し。

**h** は多く c, g と接合して用ゐられ、單獨に子音として用ゐられる事はない  
と謂つてよい。

**r** は多く巻舌で用ゐられる。

**s** は(ズ)と(ス)と二た通りである。概して言葉の初めは母音と共にあるとき  
は清澄音で, sono (ソノ) の如く、母音に挿まれた時は濁る事が多い。  
doloroso (ドロロソ) の如し。 b, d, g, l, m, n, r, v の前にあるときは  
(ズ)となる。 sdegno (ズデニョ) sradicare (ズラティカレ) の如し。

**sc** は英語の sh で crescendo は(クレスチェンド)ではなく(クレシェンド)  
である。 scialumo (シャルウモ) siolto (シオルト) の如し。

**z** は(ツ)と(ズ)と兩方ある。 sforzando (スフォルツァンド) の如く、或は  
mezzo (メゾ) の如くである。母音に挿まれたときは(ズ)になる事が多  
い。 Donizetti (ドニゼッティ) 。

## ラテン語の發音法

ラテン語は死語であるから、その發音の標準は區々としてゐる。英國人は英  
國流に、ドイツ人はドイツ流にやつてゐるが、

(1) イギリス流は, Veni, vidi, vici を ヴァイナイ, ヴァイダイ, ヴァイサイ と  
發音する。 cruce[m] は クルウセム である。 Caesar は シイザア。

(2) ドイツでは Veni, vidi, vici を フェニ, ファイ, フィツィ と發音する。  
cruce[m] は クルウツェム である。 Caesar ツェエザル。

(3) 改正發音法或は大陸讀みによれば, c や g は常に硬く(ク)(グ)と讀  
み, v は w の如く, s は(ズ)となる事は多い。故に Veni, vidi, vici は

## 外國語發音法

ウェニ、ウイディ、ウイキイ となる。cruce[m] はクルウケムである。Caesar (ケエサル)。

但し、聲樂の際には、語音の美を保たしめる爲めに、既記のイタリイ語的發音法によるのが普通である。随つて ヴィニイ、ヴィディ、ヴィチイ となり、cruce[m] はクルウチェム となるわけである。

## 樂器音域表

### 樂器音域表

絃樂器 (1) Violin 四絃で最低絃 g 以上 e'' 絃上で圖の如き處まで音を出し得る。



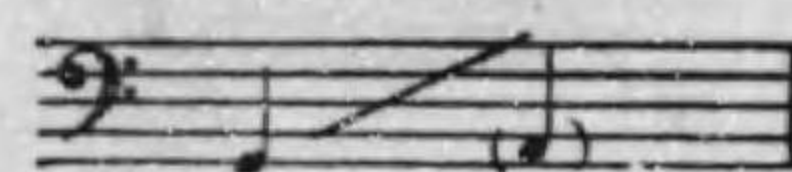
(2) Viola violin より五度低く、最低絃は c である。譜表は alto 譜表を用ゐる。



(3) Violoncello は viola よりも各絃が octave 低く調絃する。



(4) Double (Contra) Bass は絃數が區々である。



a. 三絃のものは稍舊式で低音の音域は狭い。

b. 四絃のものは最も普通で c が最低音である。

是は四度に調絃するので、g, d, a, e といふ順序

で、violin とは全然逆になるのである。c. 五絃のものが近來 orchestra に用ゐ



られる。是は c が最低音であつ

て、最も便利であるさされてゐる

總じて Double Bass は書いてあ

る譜よりも octave 低い音に鳴るのである。



(5) Harp は C $\flat$  調に調率してあるので、最低音は C $\flat$  である。

木管樂器 (1) Flute は調が種々あるけ

れども、orchestra に普通に用ゐられるのは D

調のものでその音域は三 octave である。

Piccolo は octave 高い音を發する。



楽器音域表



(2) Oboè の音域。

その alto 楽器は Cor Anglais 即ち English Horn で此の譜よりも五度低く鳴るので、音域の

廣さは同様である。

(3) Clarinet は一番普通には B $\flat$  と A とを用ゐ、時に C を用ゐる。その音域は此の通りである。E $\flat$  調の小形の Clarinet は軍楽隊で用ゐるがやはり同音域で、音が短三度高く鳴る。Basset-Horn も同様で是は譜より五度低く鳴る。即ち Alto Clarinet と稱せられる所以である。



(4) Bass Clarinet B $\flat$  調で譜よりも九度低い音を發する。

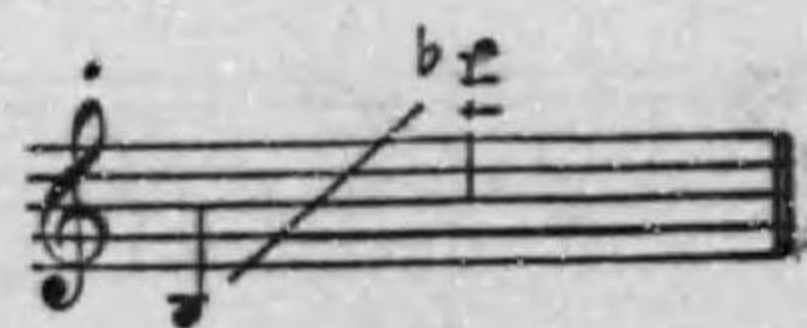
(5) Bassoon (Fagotto)

(6) Contra-fagotto (Double Bassoon)



Contrafagotto は譜よりも octave 低い音を發する。

木管楽器ではないが、木管と同様の形状で、且つ同じ理窟で音を發する Saxo-horn は、C 調の Soprano は譜の通りの音を發する。猶 B $\flat$  のものもある。Alto 楽器は F 調のは五度低く、E $\flat$  のは六度低い。Tenor は C 調で譜より octave 低く、Bass は同じく C 調で更に octave 低い。



眞鍮楽器

(1) Horn は orchestra に普通に用ゐられるのは F 調のもので、



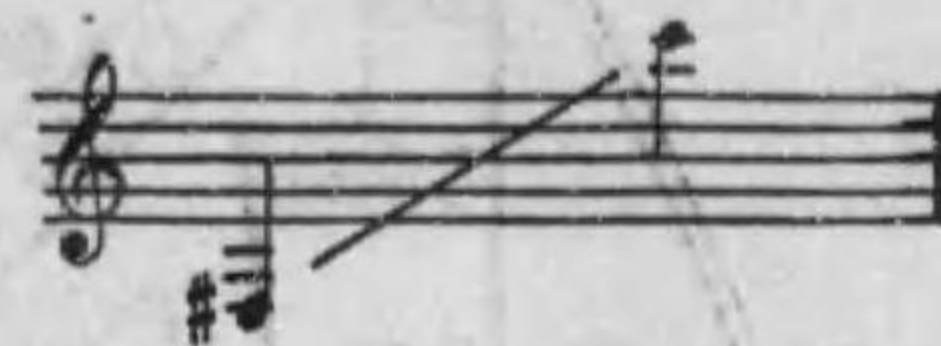
此の譜より五度低く鳴るのである。是を orchestra Horn といふ。

(2) Trumpet は普通のもの F 調で譜より四度高く鳴るのである。F 調の外に E $\flat$  調があり、是は譜より短三度高く、D 調のは二度高く鳴る。



楽器音域表

(3) Cornet B $\flat$  は Sax-Horn 屬の高音楽器である。E $\flat$  は更に高い聲部を持つてゐる。但し此の譜の兩極端の音はうまく鳴らないのである。尙挿管を以て A 調にして鳴らす事が出来る。(4) Tenor Horn は五度低い。



(5) Euphonium 或は Baritone は B $\flat$  調である。低音は効果が悪い。是は三辨であるが四辨の (6) Bass Euphonium は音域が廣い。是も B $\flat$  調である。尙此の屬の最低楽器、(7) Bombardon は Baritone 譜の



octave 低に鳴るので、E $\flat$  調、F 調、B $\flat$  調等がある。



Trombone 屬では (8) Alto Trombone は最高音の楽器であるが、今は殆ど用ゐられない。最も多く用ゐられるのは (9) Tenor Trombone で

用ゐるやうで此の音域より少しく廣く用ゐる事も出来る。

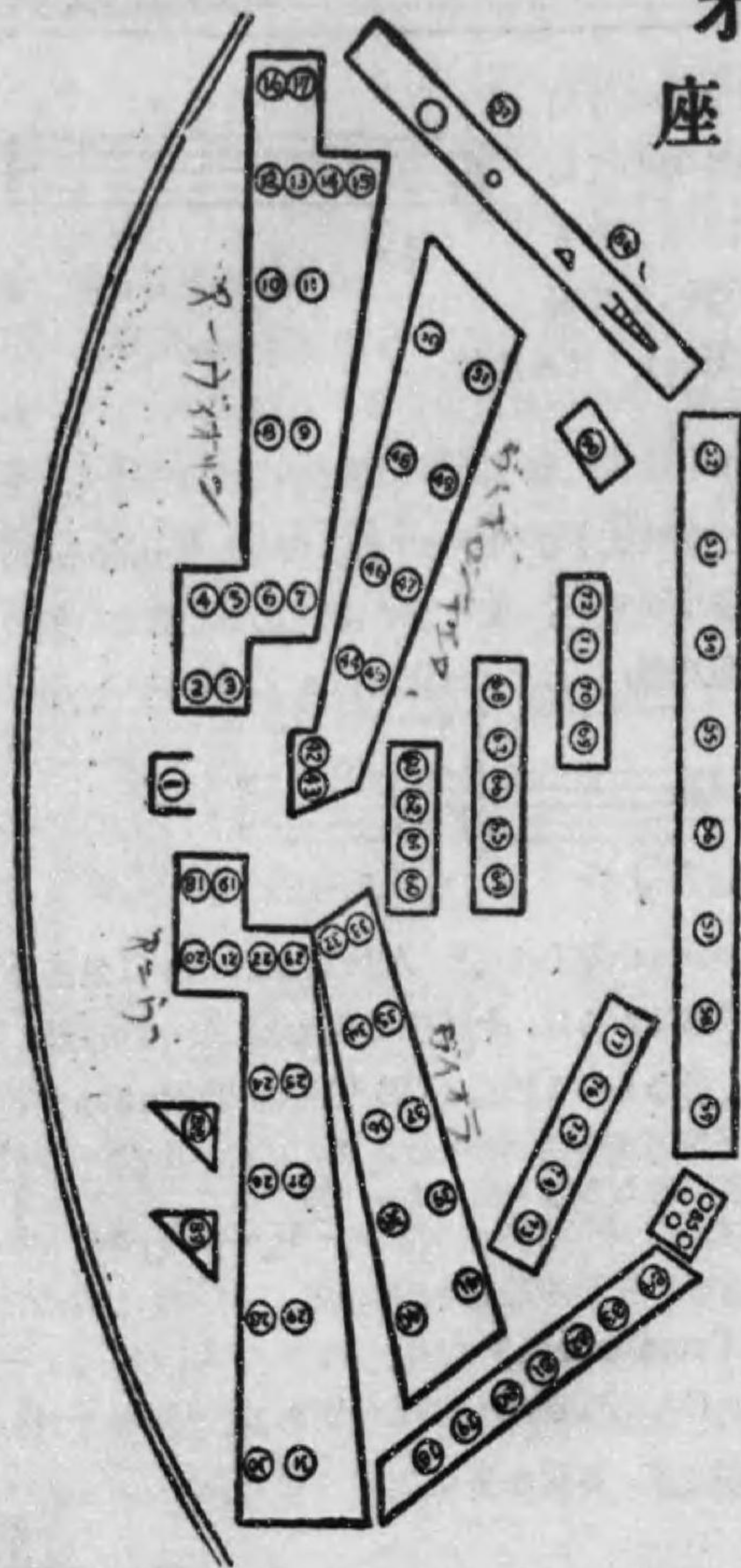


(10) Bass Trombone

此の下に尙 Contrabass Trombone がある。Wagner は此の楽器を愛して、各種を用ゐた。

(巻頭の管楽器圖及び辭典本文) 中の各項につき参照せられよ

# オーケストラ 座席表



オーケストラの座席は、指揮者により、又奏せられる楽曲の編制により、一様のもではないが、大オーケストラの模範として下に示すものは Cleveland Symphony Orchestra の座席のプランで、指揮者は Nikolai Sokoloff である。此の配置は過去百年間の経験によつて最も効果ありと信ぜられたものゝ一である。

- |       |                |       |   |
|-------|----------------|-------|---|
| 1     | Conductor      | 72    | Contra-bassoon  |
| 2—17  | First Violins  | 73—77 | French-horns  |
| 18—31 | Second Violins | 78—80 | Trumpets  |
| 32—41 | Violas         | 81—83 | Trombones   |
| 42—51 | Violoncellos   | 84    | Tuba  |
| 52—59 | Contra-basses  | 85    | Kettledrums   |
| 60—62 | Flutes         | 86—87 | Instruments of percussion<br>(Bass-drum, Snare-drum, Cymbals, triangle, xylophone, bells, etc.) |
| 63    | Piccolo        | 88—89 | Harps   |
| 64    | English Horn   | 90    | Celesta   |
| 65—66 | Oboes          |       |   |
| 67—68 | Clarinets      |       |   |
| 69    | Bass-Clarinet  |       |   |
| 70—71 | Bassoons       |       |   |

## 音楽巨匠名録

### 音楽巨匠名録

本稿は主として固有名詞の發音を明示する目的で作られたものである故、傳記的意味はないものである。發音法は正確を期したるため一見甚だ煩はしき振假名を用ゐた様な觀があつて、あるものは實用には却つて不便な事もあるであらう。編者自身も必ずしも本篇中の振假名を日常用ゐてゐるとは斷言し得ない。さにかく参考のためにと思つて、稍や工夫を凝らしたものである。

- Aaron, Pietro (アーロン) フロレンスの音楽著述家。1480—1545  
 Abbey, John (アベイ) フランスのオルガン製造家。1785—1859  
 Abt, Franz (アプト) ドイツの歌謠作曲家。1819—1885  
 Adam, Adolph Charles (アダム) フランスの喜歌劇作家。1805—56  
 Adam de la Hale (アダム・ド・ラ・ハール) 喜歌劇の始祖と稱せらる。1240—87?  
 Alard, Jean Delphin (アラール) violinist, Sarasate の師。1815—88  
 Albani, Madame (アルパニ) soprano 1852—  
 Albeniz, Isaac (アルベニツ) スペインの作曲家。1861—1909  
 Alboni, Marietta (アルボニ) イタリアの contralto 1823—94  
 Albrechtsberger, J. G. (アルブレヒツベルグ) 樂理家。1736—1809  
 Allegri, Gregorio (アレグリア) 有名な Miserere の作曲者。1584—1662  
 Amati, Nicolo (アマッティ) 有名な violin 製造家。1596—1684  
 Amato, Pasquale (アマット) 現存のバリトン歌手。ナポリの人。1878—  
 Ambrosius, St. (アマプロオシウス) 教會音樂の祖。333—397  
 Animuccia, Giovanni (アニムッチャ) 教會音樂作曲家。1500—70  
 Arditi, Luigi (アルディーティ) 指揮者、作曲家。1822—1903  
 Arensky, Anton Stepanovitch (アレンシュキ) ロシアの作曲家。1862—1906  
 Arne, Thomas A. (アーン) “Rule Britania” の作曲者。1710—78  
 Ascher, Joseph (アッシャア) イギリスの作曲家。1831—69  
 Auber, Daniel F. E. (オーベル) オペラ作曲家。1782—1871  
 Audran, Edmond (オードラン) 喜歌劇作曲家。1842—1901 リヨンの人。  
 Auer, Leopold (アウエル) violin 教師。1845—現存 ハンガリーの人。  
 d’Auvergne, Antonio (ドオヴヱルニユ) フランスの violist, 作曲家。1713—97  
 Bach, Johann Sebastian (バハ) 近世音樂の始祖。「對位法及通走曲の父」1685—1750  
 Bach, K. Philipp Emanuel (同上) pianist, 「近世ピアノ奏法の父」1714—88  
 Bickhaus, Wilhelm (バックハウス) ドイツの pianist. 1884—現存

音楽巨匠名録

- Baker, Benjamin F. (ベエカア) アメリカの音楽教育家。1811—  
 Balakirev, Milly A (バラキイレフ) ロシアの作曲家。1830—1910  
 Balfe, Michael Wm. (マイケル・バルフ) オペラ作曲家。1808—70  
 Bantock, Granville (バントック) イギリスの作曲家。1868—現存  
 Barbier, Jules P. (バルビエ) オペラ作詞家。1825—1901  
 Bardi, Giovanni (バルディ) 1600年 オペラの創始を助成した フロレンスの  
 貴族。  
 Barnby, Sir Joseph (バアンバイ) イギリスの指揮者、作曲家。1838—97  
 Baumgarten, Karl F. (バウムガルテン) ドイツの作曲家。1736—1824  
 Bazzini, Antonio (バツィーニ) イタリアの violist, 作曲家。1818—97  
 Beach, Mrs. H.H.A. (ビーチ) アメリカの女流作曲家。1867—現存  
 Beethoven, Ludwig van (ベイトホヴン) 「作曲者の王」1770—1827  
 Bellini, Vincenzo (ベルリオーニ) イタリアの歌劇作曲家。1802—35  
 Bennet, Sir Wm. S. (ベネット) イギリスの作曲家。1816—75  
 Benoit, Pierre (ブノイイ) オランダの作曲家。1834—1901  
 Bériot, Charles Auguste de (ベリヨ) フランスの violinist, 作曲家。  
 1802—70  
 Berlioz, Hector (ベルリイオズ) 作曲家、指揮者。(ベルリオ)と讀むのでは  
 ない。1803—69  
 Best, Wm. Thos. (ベスト) イギリスの organist, 作曲家。1827—97  
 Bianchi, Francesco (ビアンキ) organist, オペラ作曲家。1752—1810  
 Binchoi (ベンショイ) ベルジウムの對位法作曲家。1400—60  
 Bishop, Sir H. Rowley (ビショップ) 'Sweet Home' の作曲者。1786—1855  
 Bizet, George (ビゼエ) カルメンの作曲者。1838—75  
 Blumenthal, Joseph von (ブルウメンタル) ベルジウムの violist, 作曲家。  
 1782—1850  
 Boccherini, Luigi (ボッケリイニ) 作曲家。多作を以て有名。1743—1805  
 Bochsa, Robert (ボクサ) ホエミヤ系のハープ名手。1789—1856  
 Bodanzky, Artur (ボダンツキイ) ウィンナ生れの指揮者。1877—現存  
 Boetius, Amicus (ボエティウス) ロマの音楽歴史家。475—524  
 Böhm, Karl (ボウム) ピアノ小曲作家。1844—  
 Böhm, Theobald (テオバルト・ボウム) 'Bohm Flute' の創製者。1794  
 —1881  
 Boildieu, Francois A (ブワールディユ) フランスのオペラ作曲家。1775—  
 1834  
 Boito, Arrigo (ボイト) イタリアの作曲家兼に劇作家。文名は Tobio  
 Gorria 1842—1918  
 Bonawiz, Joh. H. (ボナウィッツ) 指揮者。1839—  
 Bonci, Alessandro (ボーンチイ) Tenor 歌手。1874—現存

音楽巨匠名録

- Bononcini, Giovanni Batista (ボノンチニ) オペラ作曲家。Händel と競争  
 して敗走した人。1660—1750頃  
 Bordogni, Giulio Marco (ボオルドオニ) 歌手。聲樂教師。1788—1856  
 Borodin, Alex. P. (ボロディーン) ロシアの作曲家。1834—87  
 Bortniansky, Dimitri (ボルトニアンスキイ) 聖唱樂の作曲家。ロシアの  
 Palestrina と稱せらる。1752—1825  
 Boschi Giuseppe (ボスキイ) 「十八世紀最大のバス歌手」1730 頃の人。  
 Bossi, Marco (ボッシ) organist, 作曲家 1861—  
 Braga, Gaetano (ブラガア) cello 奏手。作曲家。1829—1907  
 Brahms, Johannes (ブラムス) 「最後の古典的作曲家」1833—97  
 Brandt, Marianne (ブランド) alto 歌手。Parsifal 初演に出演。1842—  
 Brassin, Louis (ルイ・ブラッセン) pianist, 作曲家。1840—  
 Brendel, Karl F. (ブレンデル) ドイツの音楽批評家。1811—68  
 Bridge, Sir John (ブリッジ) organist, 指揮者。1844—  
 Brown, Jas. D (ブラウン) 音楽傳記家。1862—  
 Bruch, Max (ブルッフ) 作曲家。1838—  
 Bruckner, Anton (ブルックネル) オースタリイの作曲家。1824—96  
 Brüll, Ignaz (ブリュイル) ホエミアの作曲家。1846—1907  
 Bruneau, Alfred (ブリュノー) フランスのオペラ作曲家。1857—  
 Buck, Dudley (バック) アメリカの作曲家。1839—1909  
 Bull, Ole (オーレ・ブール) ノルウエイの violist 及作曲家。1810—86  
 Bülow, Hans von (ビュロー) pianist, 指揮者。1830—94  
 Buonamici, Giuseppe (ジューセッペ・ボナミチイ) pianist 1846—1914  
 Burmester, Willy (ブルメステル) violist 1869—現存  
 Burney, Dr. Ch. (バーニイ) 音楽歴史家。1726—1814  
 Busoni, Ferruccio (ブゾーニイ) イタリアの pianist. 1866—1924  
 Buxtehude, Dietrich (ブクステフデ) organist 1639—1707  
 Byrd, (Byrde, Bird, Byred) William (バード) イギリスの作曲家。1543—  
 1623  
 Caccini, Giulio (カッチイニ) Peri と合作したる最初の opera 作曲家。  
 1558—1615  
 Cadman, Chas. Wakefield (キアッドマン) アメリカの現存作曲家。1881—  
 Caffarelli (カファレリイ) イタリアの男性ソプラノ歌手。1703—83  
 Calvé, Emma (カルヴェ) Carmen を以て著名な歌手。1866—  
 Campagnoli, Bartolomew (カムパニョリ) violin 奏手。1751—1827  
 Campanini, Cleofante (カムパニニ) 指揮者。1860—  
 Cannabich, Christian (カンナピッチ) volin 奏手, 指揮者。1731—98  
 Carissimi, Giacomo (カリッシイミ) オペラ作曲家。1876—  
 Carpenter, J. Alden (カアペンタア) アメリカの未來派的作曲家。1876—

音楽巨匠名録

- Carreno, Teresa (カレンニョ) スペイン生れの女流 pianist 1853—1917  
 Caruso, Enrico (カルッソー) opera 歌手。1873—1920  
 Catalani, Angelica (カタラアニ) soprano 歌手。1780—1849  
 Cavallé-Coll, Aristide (カヴァイユエ・コル) フランスの organ 製造家。  
 1811—99  
 Cavalleri, Emilio del (カヴァリエーリ) ロマの貴族にて oratorio の創始者。  
 1550—99  
 Chabrier, Alexis E (シャアブリエーエ) フランスの作曲家。1842—94  
 Chadwick, G. Whitefield (チャドウィック) アメリカの現存作曲家。1854—  
 Chaliapine, Feodor (シャリアーヒン) ロシアの Bass 歌手。1866—  
 Chaminade, Cicile L. S (シャミナド) フランスの女流作曲家。1861—  
 Charpentier, Gustave (シヤールバンティエーエ) フランスの作曲家。1860—  
 Chausson, Ernest (ショウソン) フランスの作曲家。1855—99  
 Cherubini, Maria Luigi (ケルビニ) イタリア生れの作曲家。理論家。  
 1760—1842  
 Chladni, E. F. F. (クラッドニイ) 科学者, 音響学者。1756—1827  
 Chopin, Frederic (ショウペン) ポーランドの作曲家。1809—49  
 Chorin, Alex Etienne (シヨールン) 音楽理論家。1772—1834  
 Chrysander, Friedrich (クリザンデル) 音楽歴史家。1826—1901  
 Cimarosa, Domenico (チマローザ) イタリアのオペラ作曲家 1744—1301  
 Clemente, Muzio (クレメンティ) pianist, 作曲家。1752—1832  
 Coates, Albert (コーツ) 現存の指揮者。1882—  
 Coleridge-Taylor, Samuel (コールリッジ・テュラア) 半黒人の作曲家。  
 1875—1612  
 Concone, Ginseppe (コンコーネ) 作曲家, 音楽教科書著者。1810—61  
 Converse, Chas. C (コンヴァース) アメリカの作曲家。1832—  
 Corelli, Arcangelo (コレルリイ) イタリアの violin 奏手。1653—1713  
 Cornelli, Peter (コルネリウス) ドイツの opera 作曲家。1824—74  
 Cortot, Alfred (コルトオ) フランスの piano 奏手。現存。  
 Couperin, Francois (クウアレン) フランスのハープシコード大家, 作曲家。  
 1668—1733  
 Coussemaker, Chas. (クウスメエカア) フランスの音楽歴史家。1805—76  
 Cowen, Frederic (カウエン) イギリスの作曲家。1952—  
 Cramer, Joh. Baptist (クラメル) piano 奏手。作曲家。1771—1858  
 Cristofori, Bartolommeo (クリストフォーリ) piano 製造家。1653—1731  
 Cui, César (クイー) ロシアの作曲家。1835—1918  
 Curwen, John (カウエン) solfa の唱道者。1847—1916  
 Czerny, Karl (チェルニイ) オーストリアの作曲家。piano 奏手。  
 1791—1857

音楽巨匠名録

- Czibulka, Alphons (チアウルカ) ハンガリーの舞踏曲作曲家。1842—94  
 D'Albert, Eugéne (ダルベール) pianist, 作曲家。1864—  
 Damrosch, Frank (ダムロオシュ) 指揮者。1859—現存。  
 Dancla, Chas. (ダンクラ) violist 作曲家。1818—1907  
 Dannreuther, Georg (ダンロイタア) 音楽教師。1844—1905  
 Dargomijsky, Alex. (ダルゴミスキイ) ロシアの pianist 作曲家。1813—69  
 David, Ferdinand (ダヴィーアード) ドイツの violist, 作曲家。1810—73  
 David, Félicien (ダヴィエート) フランスのオペラ作曲家。1810—76  
 Davidoff, Karl (ダヴィドフ) セロ奏手。1838—1889  
 Debussy, Achille Claude (ドビュッサイ) フランスの作曲家。1862—1915  
 Dehn, S. Wilhelm (デーン) 楽理家。教師。1796—1858  
 Delibes, Léo (デリイア) フランスの作曲家。1836—1891  
 Denza, Luigi (デンツァ) イタリア生れの作曲家。1846—現存  
 Deprès, Josquin (アプレエ) ネザランド対位法家の巨頭。1450—1521  
 De Reszké, Jean (デ・レシュケ) テノル歌手。1852—1917  
 Destin, Emmy (デスティン) soprano 歌手。Prague の人。1878—現存  
 Dohnanyi, Ernst von (ドナアニイ) ハンガリー生れの pianist, 作曲家。  
 1877—  
 Donizetti, Gaetano (ドニゼッティ) オペラ作曲家。Belgamo の人。1797—  
 1848  
 Dont, Jacob (ドント) violist, 作曲家。ウィーンの人。1815—88  
 Dotzauer, Justus (ドッツアウエル) cellist, 作曲家。1783—1860  
 Draeseke, Felix (ドレーセケ) 作曲家。1835—1913  
 Dubois, Theodore (デュイブリア) 楽理家, 作曲家。マルヌの人。1837—1913  
 Dufay, Guillaume (デュイフェイ) オランダの対位法家。1391—1474  
 Dukas, Paul (デュイカ) 現代フランスの作曲家。1865—  
 Dunstable, John (ダンステュブル) 中世のイギリスの対位法家。1380—1453  
 Duparc, Henri (デュイバルク) 現代のフランスの作曲家。1848—  
 Durante, Francesco (デュランテ) ニアポリタン楽派の建設者の一人。1684—  
 1755  
 Dussek, Johann (ドゥシク) ホエミアの作曲家, pianist。1761—1812  
 Duvernoy, Jean (デュヴェルノーイ) pianist, 教師。パリの人。1797—1880  
 Dvorak, Antonin (ドヴォールシャーク) ホエミアの作曲家。1841—1904  
 Eames, Emma (エイムズ) アメリカの soprano 歌手。1867—  
 Eccard, Johannes (エッカルト) 聖楽作曲家。Thuringen の人。1553—1611  
 Eibenschütz, Ilona (アイベンシュッツ) 女流 pianist。ベストの人。1872—  
 Eichberg, Julius (アイヒベルク) operetta 作曲家。1824—93  
 Elgar, Edward (エルガア) 現存のイギリスの作曲家。1857—  
 Elman, Mischa (エルマン) 現存の violist 1891—

音楽巨匠名録

- Elsner, Jos. (エルスナー) Chopin の教師。1769—1854  
 Elson, Chas. (エルソン) アメリカの音楽著述家。1848—  
 Engel, Karl (エンゲル) ドイツの音楽歴史家。1818—82  
 Erard, Sébastien (エラール) harp 製作家。1752—1831  
 Faisst, Immanuel (ファイスト) organist, 作曲家。1823—94  
 Farinelli, (ファリネェリイ) 男性 soprano 歌手。1705—82  
 Farrar, Geraldine (ファラア) soprano 歌手。1882  
 Farwell, Arthur (ファーウェル) アメリカの作曲家。1872—現存  
 Fauré, Gabriel (フォーレ) 作曲家。1845—  
 Fétis, François (フューティス) 音楽歴史家。1784—1871  
 Fibich, Zdenko (フィーテツニ) 「チェッコ作曲家の巨頭」 1850—1900  
 Field, John (フィールド) pianist; nocturne の創始者。1782—1837  
 Flotow, Friedrich von (フロトオ) オペラ作曲家。1812—83  
 Foote, Arthur (フット) アメリカの作曲家。1853—  
 Forkel, Johann (フォーケル) 音楽歴史家。1749—1818  
 Foster, Stephen C. (フォスター) アメリカの民謡作家。1826—64  
 Franchetti, Alberto (フランケティ) オペラ作曲家。1860—  
 Frank, César (フランク) 「フランスのパッサ」 1822—90  
 Franco, (フランコ) ケルンのフランコ。中世の楽理家。1260頃。  
 Franz, Robert (フランツ) 作曲家。1815—92  
 Frescobaldi Girolamo (フレスコバルディ) 中世の作曲家。1583—1644  
 Froberger, Johann (フロベルゲル) organist 1605—67  
 Gabrieli, Giovanni (ガブリエーリ) organist. Venice の人。1557—1612  
 Gade, Niels (ガアデ) 作曲家。「スカンディナヴィア音楽の建設者」 1817—90  
 Gadski, Johanna (ガドスキ) soprano 歌手。1871—現存  
 Galli-Curci, Amelita (ガリ・クウルチ) soprano 歌手。1880—現存  
 Galei-Marié, Céléstine (ガリ・マリエ) mezzo 歌手。カルメンの初演者。1840—1905  
 Galuppi, Baldasare (ガルッピ) 喜歌劇作曲家。1706—85  
 Ganne, Louis (ガンヌ) 作曲家。パリの人。1862—  
 Garcia, Manuel (ガアルチア) テノール歌手, 聲楽教師。1775—1832 その子。同名。Jenny Lind の師。1805—1906  
 Gericke, Wilhelm (ゲリッケ) 指揮者。1845—  
 German, Edward (ジヤアマン) イギリスの作曲家。1862—現存  
 Gevaert, Francois (ゲヴァール) 指揮者。1828—1908  
 Ghislanzoni Antonio (ギスランツォーニ) オペラの歌詞作家。1824—93  
 Gilmore, Patrick (ギルモア) 指揮者。アメリカの人。1892—92  
 Glazounow, Alex. (グラツァノフ) ロシアの作曲家。1865—現存。

音楽巨匠名録

- Glinka, Michail I. (グリムカ) 新ロシア音楽の樹立者。1804—57  
 Gluck, Alma. (グルック) soprano 歌手。現存。1884—  
 Gluck, Ch. Willibald (グルック) オペラの中興の人。1714—87  
 Godard, Benjamin (ゴダール) 作曲家。1849—95  
 Godowsky, Leopold (ゴドフスキ) 現存の pianist。1870—  
 Goetschius, Percy (ゲッチャス) アメリカの楽理家。1853—現存。  
 Goetz, Hermann (ゲッツ) ドイツの作曲家。1840—76  
 Goldmark, Karl (ゴールドマルク) オペラ作曲家。ハンガリーの人。1830—1914  
 Goltermann Georg (ゴルタマン) ドイツの cello 奏手, 作曲家。1824—98  
 Gomes, Antonio (ゴオメス) ブラジルのオペラ作曲家。1839—96  
 Goosens, Engène (グウセン) 指揮者。1867—現存。  
 Gossec, Francois (ゴセック) ベルジウムの作曲家。1734—1829  
 Goudimel, Claude (グウディメル) 対位法家。1505—72  
 Gounod, Charles (グウノ) オペラ作曲家。1818—93  
 Grainger, Percy (グレンツジャア) イギリスの pianist, 作曲家。1883—  
 Granados, Enrique (グラナドス) スペインの作曲家。1867—1616  
 Graun, Karl Heinrich (グラウン) ドイツの作曲家。1701—59  
 Grétry, André (グレットリイ) 「音楽のモリエール」フランス喜歌劇の祖。1741—1813  
 Grieg, Edvard (グリーク) ノルウェーの作曲家。1843—1907  
 Grisi, Giulia (グリース) soprano 歌手。1811—69  
 Grove, Sir George (グローヴ) 音楽辞典著者。1820—1900  
 Guarneri, Giuseppe (ガルネリイ) violin 製造家。1683—1745  
 Guido d' Arezzo (ギイド・ダレツツオ) 音階の命名者。995—1050?  
 Guilman, Alexandre (ギイルマン) organist 1837—1911  
 Habeneck, Francois (ハベネック) 指揮者。フランスの人。1781—1849  
 Halévy, Jacques F (アレヴィ) フランスのオペラ作曲家。1799—1862  
 Hallé, Charles (ハレ) pianist; Hallé orchestra 樹立者。1819—95  
 Handel, George (ヘンデル) 作曲家。1685—1759  
 Hanslick, Eduard (ハンスリック) 音楽學者。1825—1904  
 Harty, Hamilton (ハアティ) イギリスの指揮者。1886—現存  
 Hasse, Johann A (ハッセ) 作曲家。1699—1783  
 Hauptmann, Moritz (ハウプトマン) 楽理家。1792—1868  
 Haydn, Franz J. (ハイドン) 「近世器楽の父」 1732—1809  
 Heifetz, Jascha (ハイフェツ) 現代の violist。  
 Helmholtz, Hermann (ヘルムホルツ) 近世音響學の鼻祖。1821—94  
 Henselt, Adolf von (ヘンセルト) pianist, 1814—89



音楽巨匠名録

- Herbert, Victor (ハアバート) イギリス生れの cellist; アメリカの指揮者。作曲家。1859—1924
- Hérolde, Louis J. F (エロールド) オペラ作曲家。1761—1833
- Hofmann, Joseph (ホーフマン) 現代の pianist, 1877—
- Hollmann, Jos (ホルマン) cello 奏手, 作曲家。1852—現存
- Holmès Augusta Mary (ホルメス) 女流作曲家。1847—1903
- Holst, Gustav (ホルスト) イギリスの作曲家, 指揮者 1874—現存
- Homer, Louise (ホーマア) Contralto 歌手。1874—現存
- Hubay, Jenő (フッバイ) ハンガリーの作曲家。1858—
- Hubermann, Bronislaw (フウベルマン) 現存の violist. 1882—
- Hucbald (フクバルド) 中世の作曲家。840年頃。
- Hummel, Johann N. (フンメル) pianist, 作曲家。1778—1832
- Humperdink, Engelbert (フンパーディンク) ドイツの作曲家。1854—
- Huneker, James (ハネカー) 音楽著作家。1860—現存
- Ilynski, Alex. A. (イリンスキイ) ロシアの作曲家。1859—
- d'Indy, Vincent (デンディ) 現存のフランスの作曲家。1851—
- Ippolitov-Ivanov, Michail (イッポリトフ・イヴァノフ) ロシアの作曲家。1859—現存
- Ivanov, Michail M. (イヴァノフ) ロシアの作曲家。1849—現存
- Ivanovici (イヴァノヴィッチ) ルーマニア生れの waltz 作曲家。—1902
- Jadassohn, Salomon (ヤダスゾーン) 楽理教師。1831—1902
- Jaell, Alfred (イェル) pianist, 作曲家。1832—82
- Janko, Paul (ヤンコー) janko-keyboard の創始者。1856—
- Jensen, Adolf (イェンゼン) 歌謡作曲家。1837—79
- Joachim, Joseph (ヨアヒム) violist 1831—1906
- Jommelli, Nicola (ヨンメルリイ) 「イタリアのグルック」オペラ作曲家。1714—74
- Joseffy, Rafael (ヨセフィー) pianist, ハンガリーの人。1879—1915
- Journet, Marcel (ジュウルネエ) bass 歌手。1869—現存
- Kaiser, Emil (カイゼル) 作曲家, 指揮者。1850—
- Kallinnikov, Basil (カリンニコフ) ロシアの作曲家。1866—1901
- Keiser, Reinhard (カイゼル) 作曲家。1674—1739
- Kienzl, Wilhelm (キインツル) 作曲家。1857—
- Kirchner, Theodor (キルヒナー) 作曲家。1824—1903
- Kjerulf, Halfdan (キェルウル) ノルウェーの作曲家。1818—68
- Klengel, Julius (クレンゲル) cello 奏手。1859—現存
- Klindworth, Karl (クリントウォルト) pianist 1830—1916
- Kneisel, Franz (クナイゼル) ルーマニア生れの violist. 1865—
- Köhler, Ludwig (キョウラー) pianist, 教師。1820—86

音楽巨匠名録

- Kopecky, Ottokar (コベツキイ) ボヘミアの violist 1850—
- Krehbiel, Ed. (クレビール) アメリカの音楽批評家。1854—1923
- Kreisler, Fritz (クライスラー) 現代の violist 1875—
- Kreutzer, Rodolphe (クロイツェル) フランスの violist. 1766—1831
- Kubelik, Johann (クベリック) ボヘミアの violist 1880—現存
- Kuhlau, Friedrich (クウラウ) 作曲家, flautist. 1786—1832
- Kuhnau, Johann (クウナウ) organist 1667—1722
- Kullak, Theodor (クルラック) pianist 1818—82
- Lachner, Franz (ラッハナー) 作曲家。1803—1890
- Lalo, Ed. (ラァロ) 作曲家。1823—92
- Lange, Gustav (ランゲ) 作曲家。1830—89
- Lassen, Edward (ラッセン) 北欧の作曲家。1830—1904
- Lasso, Orlando di (ラッソ) 中世の對位法家。1532—94
- Lebert, Siegmund (レベルト) pianist, 教師。1822—84
- Lecoq, Charles (レコック) 喜歌劇作曲家。1832—1918
- Leher, Franz (レハール) 現存の喜歌劇作曲家。1870—
- Lehmann, Lilli (レエマン) soprano 歌手。1848—
- Lehmann, Liza (レエマン) 女流作曲家。1862—1918
- Leoncavallo, Ruggiero (レオンカヴァッロ) オペラ作曲家。1858—1919
- Leschetizky, Theodor (レシェティツキイ) ピアノ教師。1830—1915
- Liadoff (Liadow) Anatol (ライアドフ) ロシアの作曲家。1855—1914
- Lind, Jenny (リン) 「スウェーデンの鶯」soprano 歌手。1820—87
- Liszt, Franz (リスト) pianist, 作曲家。1811—86
- Leoffler, Charles M. Tornov (レッフラー) 作曲家。1861—現存
- Loewe, Karl (ロエウエ) 歌謡作曲家。1796—1869
- Lortzing, Albert (ロルツィング) オペラ作家。1803—51
- Lully, Jean Baptiste de (リュリイ) 「フランスオペラの建設者」1633—87
- Macbeth, Allan (マックベス) organist, 作曲家。イギリスの人。1856—1910
- McCormack, John (マッコマック) tenor 歌手。現存。1884—
- MacCunn, Hamish (マックアン) イギリスの作曲家。1868—1916
- MacDowell, Edward (マックダウエル) アメリカの作曲家。1861—1908
- Macfarren, Geo. Alex. (マックファーレン) イギリスの作曲家。1813—87
- Mackenzie, Alex. (マッケンジー) イギリスの作曲家。1847—
- Mahler, Gustav (マハラア) ボヘミアの作曲家。1860—1911
- Malibran, Maria (マリブラアン) contralto 歌手。パリの人。1808—36
- V. Garcia の娘。
- Mälzel, Johann (メルツェル) メトロノーム完成家。1772—1838
- Marchesi, Mathilde (マルケイジイ) 聲楽教師。1852—1913

音楽巨匠名録

- Marpurg, Friedrich (マアルプサルク) 楽理家。1718—95  
 Marschner, Heinrich (マルシュナー) ドイツのオペラ作曲家。1795—1861  
 Martini, Giambattista (マルティーニ) 楽理家。1706—84  
 Marx, Adolf (マールクス) 楽理家。1799—1866  
 Mascagni, Pietro (マスカガニ) イタリアのオペラ作曲家。1863—現存  
 Mason, Lowell (メスジ) アメリカの音楽教育家。1792—1872  
 Mason, Luther (メスン) 同上。1828—96  
 Massenet, Jule (マッセネ) フランスの作曲家。1842—1912  
 Mattei, Abbate (マッテイ) 楽理家。イタリアの人。1750—1825  
 Méhul, Etienne (メウール) フランスのオペラ作曲家。1763—1817  
 Melba, Nellie (メルバ) メルボーン生れの mezzo soprano 歌手。1859—現存  
 Mendelssohn, Felix (メンデルスゾーン) 作曲家。1809—47  
 Messenger, André (メッサージュ) フランスのオペラ作曲家。1855—  
 Meyerbeer, Giacomo (マイエルベール) 本名は Jacob Liebmann Beer ベル  
 リーン生れのオペラ作曲家。1791—1864  
 Monsigny, Pierre (モンシーニ) フランス喜歌劇の創始者の一人。1729—1817  
 Monteverde, Claudio (モンテヴェルデ) クレモナの人。オーケストラ編成の祖。1567—1643  
 Moscheles, Ignaz (モシェレス) pianist, 作曲家。ホエミアの人。1794—1870  
 Moszkowski, Moritz (モシュコフスキ) ポーランドの pianist 作曲家。1854—  
 Mottl, Felix (モットル) ウィーン生れの指揮者。1859—1911  
 Mozart, Wolfgang Amadeus (アマデウス・モツァールト) 作曲家。「音楽のシエイクスピアア」1756—91  
 Muck, Karl (ムック) ドイツの指揮者。1859—現存  
 Mussorgski, Modest (ムソールグスキ) ロシアの近代的作曲家。1839—81  
 Mysliweszeck, Joseph (ミスリウエツェック) ホエミアの作曲家。1737—81  
 Nachez, Tivadar (ナツェツ) violinist ベストの人。1859—  
 Neruda, Franz (ネルウダ) cellist 作曲家。1843—1915  
 Neumann, Angelo (ノイマン) ログナア歌手。1838—1910  
 Nicodé, Jean-Louis (ニコオデ) pianist 作曲家, 指揮者。ホーゼンの人。1853—  
 Nicolai, Otto (ニコライ) ドイツのオペラ作曲家。1810—49  
 Niemann, Albert (ニイマン) tenor 歌手, ログナア歌手。1831—  
 Nikisch, Arthur (ニキッシュ) 指揮者。ハンガリーの人。1855—1921  
 Nordica, (ノルディーカ) アメリカの soprano 歌手。1859—1914  
 Nottebohm, Martin (ノッテボーム) Beethoven 研究者。1817—82

音楽巨匠名録

- Novello, Vincent (ノヴェロ) イギリスの音楽書出版家。1781—1861  
 Oettingen, Arthur (エッティンゲン) ドイツの音響学者。1836—  
 Offenbach, Jacques (オッフエンバッハ) 「フランス諷刺歌劇の鼻祖」1819—80  
 Okeghem, Jeande (オケゲム) 中世の対位法家。1430—95?  
 Ornstein, Leo (オルンスタイン) アメリカの未来派作曲家。1895—現存。  
 Onseley, Frederick (ウースレイ) イギリスの作曲家。1825—89  
 Pachmann, Vladimir de (パアフマン) オデッサの人。Chopin 演奏家。1848—現存。  
 Paderewski, Ignace Jan (パデレフスキ) pianist; 作曲家。1859—現存。Poland の人。  
 Paganini, Nicolo (パガニーニ) ヴァイオリン奏手, 作曲家。1782—1840  
 Palestrina, Giovanni Pierluigi (パレストリナー) 1515—94 教會音楽の大成者。  
 Parry, Charles Hubert (パリー) イギリスの作曲家。音楽著述家。1848—1918  
 Patti, Adelina (パッタティ) soprano 歌手。マトリッドの人。1843—1919  
 Paur, Emil (パウール) 指揮者。ホエミアの人。1855—  
 Pepusch, John Christopher (ペプツッシュ) 作曲家。1667—1752  
 Pergolesi, Giovanni Baptisto (ペルゴレージ) イタリアの作曲家。1710—36  
 Peri, Jacopo (ペリ) 「最初のオペラの作曲家」1560—1633  
 Perosi, Don Lorenzo (ペロオジ) イタリアのオラトリオ作曲家。1872—  
 Philipp, Isidor (フィリップ) ベストの人。pianist 1863—  
 Pierné, Gabriel (ピエルネ) フランスの近代作曲家。1863—  
 Plançon, Pal (プラアンソン) フランスの basso 歌手。1854—1914  
 Planquette, Robert (プラアンケット) フランスの喜歌劇作家。1850—1903  
 Ponchielli, Amilcare (ボンキエリ) クレモナの人。オペラ作曲家。1834—86  
 Prout, Ebenezer (プラウト) イギリスの楽理家。1835—1909  
 Puccini, Giacomo (プッチーニ) イタリア・オペラ作曲家。1858—1924  
 Purcell, Henry (パーセル) 中世のイギリスの作曲家。1658—95  
 Rachmaninoff, Sergei (ラフマニノフ) 現代ロシアの作曲家, pianist 1873—  
 Raff, Joachim (ラフ) スイスの人。作曲家。1822—82  
 Rameau, Philippe (ラモア) フランスのオペラ作曲家。和聲学の鼻祖。1683—1764  
 Reger, Max (レゲル) ババリアの人。近代的作曲家。1873—1916  
 Reinecke, Carl (ライネッケ) ドイツの pianist 作曲教授。1824—1910  
 Reisenauer, Alfred (ライセンアウア) ドイツの pianist 1863—1907  
 Rheinberger, Joseph (ラインベルゲル) organist, 作曲家。1839—1901

音楽巨匠名録

- Richter, Ernst Friedlich (リヒター) 楽理家。1808—79  
 Richter, Hans (リヒター) 指揮者。1843—1916  
 Riemann, Hugo (ライマン) ドイツの音楽学者。1849—1919  
 Rimsky-Korsakow, Nikolas A (リムシュキイ・コオルサコフ) ロシアの近代作曲家。1844—1908  
 Rode, Pierre (ロード) フランスの violist。1774—1830  
 Rosenthal, Moritz (ロゼンタール) ドイツの pianist。1862—  
 Rossini, Giachino (ロッシーニ) イタリアのオペラ作曲家。1792—1868  
 Rubinstein, Anton (ルビンスタイン) ロシアの作曲家。1830—94  
 Sacchini, Antonio (サッキーニ) ナポリ派のオペラ作曲家。1734—86  
 Sachs, Hans (ザックス) Meistersinger の棟梁。1464—1576  
 Saint-Saens, Camille (セーン・サーン) フランスの近代作曲家。1835—1921  
 Sarasate, Pablo de (サラサテ) スペインの violist 作曲家。1844—1908  
 Scarlatti, Alessandro (スカラルラティ) ナポリ派の巨匠。1659—1725  
 Scarlatti, Domenico (スカラルラティ) Alessandro の息。1683—1725  
 Scharwenka, Xaver (シヤアルヴェンカ) pianist 作曲家。ポーセンの人。1856  
 Schröder-Devrient, Wilhelmine (シュロエデル・ドヴリアン) ドイツの soprano 歌手。1804—60  
 Schubert, Franz (シュウベールト) ドイツの歌謡作曲家。1797—1828  
 Schumann, Robert (シュウマン) 作曲家。1810—56  
 Schumann-Heink, Ernestine (シュウマン・ハイック) contralto 歌手。1861—現存  
 Schütt, Eduard (シュイツト) ロシア生れの pianist, 指揮者。1856—  
 Schütz, Heinrich (シュイツツ) ドイツ歌劇の祖。1585—1672  
 Schytte, Ludwig (シットテ) デンマークの pianist, 作曲家。1850—1909  
 Scott, Cyril (スコット) イギリスの近代作曲家。1879—現存  
 Scriabine, Alex. (スクリアピーン) ロシアの近代作曲家。1872—1915  
 Scribe, Eugene (スクリアブ) フランスの劇作家。オペラ作詞家。1791—1861  
 Seidl, Anton (ザイドル) ベストの人, 指揮者。1850—98  
 Sembrich, Marcella (センブリッヒ) ガリシア生れの soprano 歌手。1858—現存  
 Sevcik, Otakar (セグチク) ボヘミアの violist, violin 教師。1852  
 Sgambati, Giovanni (スガマンパティ) pianist, 指揮者。1843—1914  
 Sibelius, Jan (シベリウス) フィンランドの作曲家。1865—  
 Sinding, Christian (シンディング) ノルウェーの作曲家。1856—  
 Sitt, Hans (シット) ボヘミアの violist。1850—

音楽巨匠名録

- Sjögren, Emil (ショウグレン) ノルウェーの作曲家。1853—  
 Smetana, Friedrich (スメタナ) ボヘミアの代表的作曲家。1824—84  
 Spohr, Louis (シュポール) ドイツの作曲家, 指揮法の祖。1784—1859  
 Spontini, Gasparo (スポンティーニ) イタリアのオペラ作曲家。1774—1851  
 Stainer, John (ステイナア) イギリスの作曲家。1840—1901  
 Stanford, Chas. Villiers (スタンフォード) イギリスの作曲家。1852—1923  
 Stradivarius, Antonio (ストラディヴァリウス) クレモナの violin 製作名匠。1649—1737  
 Strauss, Johann (シュトラウス) ウィーンのワルツ作曲家。「ワルツ王」1825—99  
 Strauss, Richard (シュトラウス) ドイツの現代作曲家。1864—  
 Stravinsky, Igor (ストラヴィンスキ) 現代のロシア作曲家。1882—  
 Sullivan, Arthur (サリヴァン) イギリスの喜歌劇作曲家。1842—1900  
 Suppé, Franz von (スッペ) イタリア生れの喜歌劇作曲家。1820—95  
 Svendsen, Johann (スヴェンセン) スウェーデンの violist, 作曲家。1840—1911  
 Sweelink, Jan (スウィーリンク) organist。1562—1621  
 Tamagno, Francesco (タマニョ) tenor 歌手。1820—89  
 Tartini, Giuseppe (タルティーニ) イタリアの violinist。1692—1770  
 Taneieff, Sergei (タネイエフ) ロシアの作曲家。1856—1915  
 Tausig, Carl (タウジツヒ) pianist, ポーランドの人。1841—71  
 Tchaikowsky, Peter Iljitch (チャイコフスキ) ロシアの近代の作曲家。1840—93  
 Tetrizzini, (テトラツィーニ) high soprano 歌手。1875—現存  
 Thalberg, Sigismund (タアルベルク) pianist。1812—71  
 Thomas, Ambroise (トオマス) フランスのオペラ作曲家。1811—96  
 Thomas, Theodroe (トオマス) 指揮者。1835—1905  
 Tinel, Edgar (ティーネル) ベルジウムの作曲家。pianist。1854—1912  
 Vaccai, Nicole (ヴァッカァイ) イタリアのオペラ作曲家。1790—1848  
 Verdi, Giuseppe (ヴェルディ) イタリアのオペラ作曲家。1813—1901  
 Vieuxtemp, Henri (ヴィヨタン) フランスの violist 作曲家。1820—81  
 Volkmann, Robert (フォルクマン) ドイツの作曲家。1815—83  
 Viardot-Garcia, (ヴィアルド・ガアレスシア) mezzo soprano 歌手。1821—1910  
 Viotti, Giovanni Baptista (ヴィオッティ) イタリアの violinist。1753—1824  
 Wagner, Richard (ヴァーグネル) ドイツの劃世的の作曲家。1813—83  
 Wallace, Vincent (ウォレス) アイルランド生れの作曲家。1814—65  
 Weber, Carl Maria von (ヴェーベル) ドイツの歌劇作曲家。1786—1826

## 音楽巨匠名録

- Weingartner, Felix** (フイנגルトネル) ドイツの作曲家、指揮者。1863—  
**Widor, Charles Marie** (ヴィードル) フランスの organist, 作曲家。1845—  
**Wieniawski, Henri** (ヴィエニャフスキ) ホーランド生れの violinist, 作曲家。1835—80  
**Wolf, Hugo** (ヴォールフ) ウィーンナの作曲家。1860—1902  
**Wood, Henry** (ウッド) イギリスの指揮者。1869—現存  
**Ysaye, Eugène** (イザアエ) リエージュ生れの violist 1858—現存  
**Zichy, Geza** (ツイイシイ) 左手の pianist, ハンガリーの貴族。1849—  
**Zimbalist, Efrem** (ツィンバリスト) 現代の violinist, 1889—

## 御注文に就ての御注意

- 御注文書は御住所御氏名御注文品名を精しく御記載下さい不明瞭の點がありますと自然後廻しとなり發送が遅れます。
- 御送金は振替貯金口座へ拂込になれば途中紛失等の憂は絶対にありませんから可成右の方法で御送金下さい。
- 弊社口座東京五四五九八番専用の振替拂込用紙は御請求次第 差上げます此の用紙を御使用下されば拂込手数料は當方で負擔致します。拂込通知票は手紙より三日位遅れて當方に到着致しますから御急ぎの場合は拂込後貴方に残存せる受領票を御送り下されば早速御送品致します。
- 小爲替、切手代用等で御送金の場合は途中紛失の虞れがありますからなるべく書留郵便で御送り下さい。
- 代金引換は多額の送料を要し且つ手数料がかかりますから弊社を御信頼の上是非前金御拂込下さい。

大正十三年十二月十七日印刷

大正十三年十二月二十日發行

〔定價金貳圓八拾錢〕

監修者 伊 庭 孝

印刷者 岸 本 福 太 郎  
發行者 東京市外下目黒町四六八

東京市外下目黒町四六八

發行所 白 眉 出 版 社

振替東京五四五九八

伊庭孝編著

音樂講話叢書

		定價	郵税
1	樂譜の知識	.50	4
2	聲樂研究法	.80	4
3	オペラの話	.80	4
7	ピアノの習ひ方	.80	4
5	オーケストラの話	.80	4
6	音樂解説辭典	1.30	6
7	音樂人名辭典	1.30	6
8	音樂の聴き方	.80	4
9	ヴァイオリンの習ひ方	.80	4
10	セロの弾き方	.80	4
11	歌劇名作物語	.80	4
12	小説作曲法	.80	4
13	音樂の話	.80	4
14	マンドリン、ギターの弾き方	.80	4
15	音響學の話	.80	4
16	音樂指揮法	.80	4
17	喜歌劇物語	.80	4
18	西洋音樂小史(近世)	.80	4
19	簡易和聲學	.80	4
20	對位法概論	1.30	6
21	名曲解題	.80	4
23	西洋音樂小史(中世・古代)	.80	4
23	近代音樂講話	.80	4
24	不協和絃の解決法	.80	4
25	音樂形式原論	.80	4
26	音樂形式各論	.80	4
27	和聲實習法	1.30	6
28	カノンとフウガ	1.30	6
29	オーケストラ編曲法	.80	4
30	音樂美學	1.30	6

音樂者傳記としての二名著

東京女子音樂學校教授

小泉治先生新著

グリークとその音樂

四六判二百五十頁 定價一圓五十錢

肖像其他四葉 送料 十八錢

音樂學者中の碩學たる小泉先生が、平生最も傾倒せらるゝグリークを傳し、且つ論せられたるものです。翻譯的の書籍と異なり、本當のオリジナルな研究です。白眉音樂家傳記叢書の第一編として、この良著を得た事を出版者は喜んで居ります。

マスター・オブ サイエンス 堀内敬三先生著

ワグナーとその音樂

体裁 價格共「グリーク」に同じ。

ワグナーは、その名のみ傳へられて、その藝術の内容を玩味する事のない我が國の現状に對して、堀内先生の此の著は眞に權威あるものです。親しくワグナー劇の演出を觀、そのフルスコアの全部を研究された著者は、ワグナー學者としては、本邦の唯一人と稱して差支ありませんまい。

■ 樂壇の一名物 ■

# 白眉月報

毎月一回不定期刊行

常に樂界に有益なる新刊を提供し、凡ての先鞭をつける白眉社の奉仕的機關雜誌です。白眉社の新刊物の内容は本紙によりて巨細にお分りになります。尙毎號伊庭孝小泉洽堀内敬三春柳振作諸氏の有益な隨筆が掲載されます。

御申越次第 毎月

無代送呈

528  
162

終